取扱説明書

（保証書別添）

CASIO

カシオ電子レジスター

TK-5500/TK-6500



写真は TK-5500-4S（本体色：白）です

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、本書をひととおりお読みください。
特に「安全上のご注意」をご熟読の上、正しくお使いください。
本書は、取り出しやすいところに大切に保管してください。

SIAA
ISO22196
for KOHKIN
無機抗菌剤・練込
置数キー・キーキャップ
SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

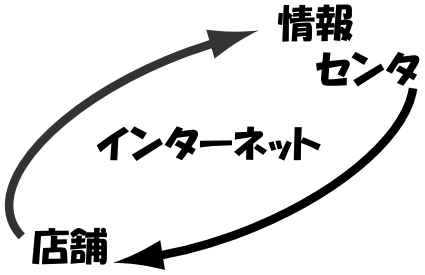
レジスターを初めてお使いになる場合は、

設置手順（16 ページ）と

用語集（135 ページ）をご覧ください。

特長

● インターネットで情報センタに接続し売上分析を受けることができます。（別途契約が必要です）



● インターネットで情報センタに接続し、クレジットカード / iD のリアルタイム決済ができます。（KT-10 および契約が必要）

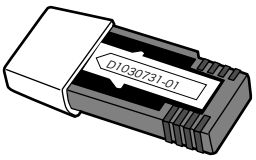


（KT-10: マルチ決済端末）

● 「客用回転表示器」が付いているため、お客様が簡単にお買い上げ金額を確認することができます。

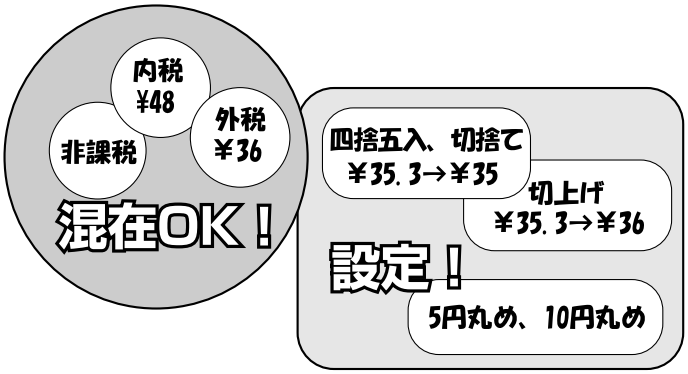


● 別売の電子店名スタンプを使うと、レシート上の店名ロゴスタンプや領収書上の社名ロゴ、住所をいちいち設定せずに印字できます。



(RAC-13：オレンジ色のスティック）

● 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切上げ、切捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5 円丸め、10 円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



「おサイフケータイ」「iD」および「iD」ロゴは株式会社 NTT ドコモの登録商標または商標です。

もくじ

ページ

○安全上のご注意 4
○知りたいことは？ 6
○各部のなまえと働き 8
○お使いになる前に 16

○基本的なレジの操作 21
○操作をまちがえたとき 28
○閉店後の操作 32

○便利な使い方 34
○売上を見るとき 56
○電卓として使うとき 62

○時刻や日付を設定する 64
○単価や割引き率を設定する 65
○消費税を設定する 68
○商品名やメッセージの設定 73
○その他の設定 90
○設定内容を確認するとき 115

○故障かなと思ったら 121
○キー表面に商品名を記入する 125
○ロールペーパーのセットと交換 126
○ドロアをレジと分けて置く 132
○仕様 133
○用語集 135

安全上のご注意

● ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

● ⚠ 警告と ⚠ 注意の意味は以下のとおりです。

⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

●本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。 左の例は「手挟み注意」です。  は「指ケガ注意」です。
	⃠ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。  は「接触禁止」です。 なお、「絵に表わしにくい禁止」は ⃠ で表わします。
	● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。 左の例は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」です。 なお、「絵に表わしにくい指示」は ❗ で表わします。

⚠ 警 告

電源コードや差し込みプラグについて



◆ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。

◆ 電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を乗せたりしないでください。また、電源コードが本機の引き出し（ドロア）の下を通るような配線はしないでください。
電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。

◆ 濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

内部に異物や水などを入れないでください



◆ 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となることがあります。

◆ 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

キャビネットは開けないでください



◆ 本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分がありますので、感電をしたり、ケガをするおそれがあります。

◆ 本機を改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

電源・電圧について



◆ 表示された電源電圧（交流 100 V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
火災や感電の原因となることがあります。

本機を落としたり、破損したときは



◆ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

異臭や煙などの異常状態には



◆万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 注 意

設置場所について

◆ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

◆ 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

◆ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください

◆ 本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。

◆ 本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

移動する場合は

◆ 本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは

◆ 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ドロア（引き出し）の注意

◆ ドロア（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。

◆ ドロア（引き出し）が開いているときに、ドロアに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

差し込みプラグはいつもきれいに

◆ 差し込みプラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。

電源コードの清掃は

◆ 電源コード（特にプラグ部分）の清掃には、洗剤を使用しないでください。

消耗品交換時の注意

◆ 記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。

◆ プリンタのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になることがあります。

本体表示画面の取り扱いについて

◆ 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因になることがあります。

◆ 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因になることがあります。

・ 万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。

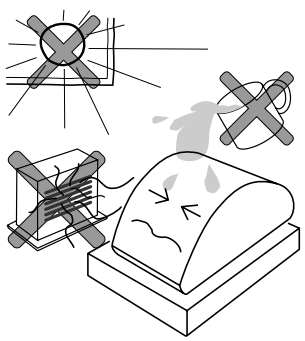
・ 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

長期間ご使用にならないときは

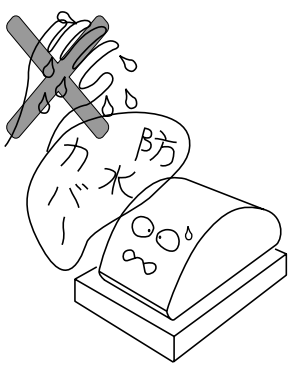
◆ 連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

お願い（必ず守ってください）

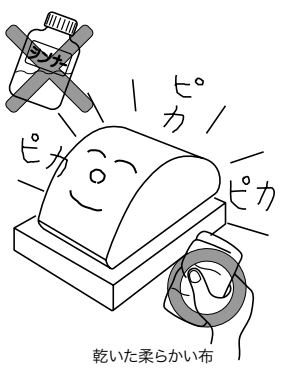
●温度が高くなる所や、ホコリの多い所、油煙や水がかかる所には置かないでください。



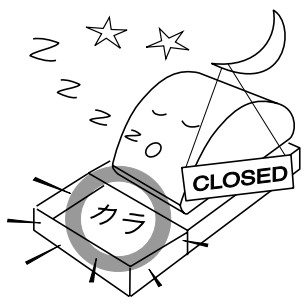
●ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



● シンナーやアルコール、ベンジンなどの揮発性の液体で拭かないでください。



●１日の終わりには、精算をしてドロア（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアは金庫ではありません。

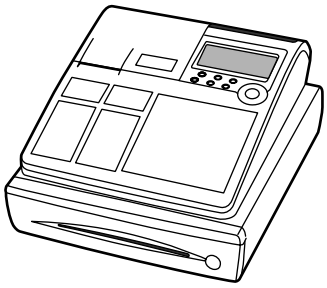


知りたいことは？

知りたい項目の参照ページをご覧ください。

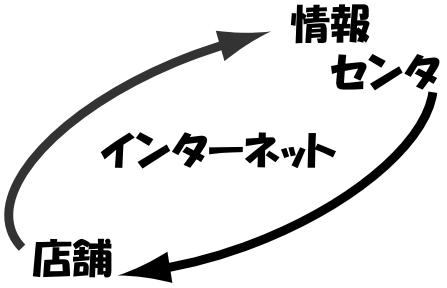
●レジスターを設置する。

参照 16 ページ



●レジスターを情報センタに接続する。

参照 17 ページ



●基本的な操作とは？

参照 21 ページ



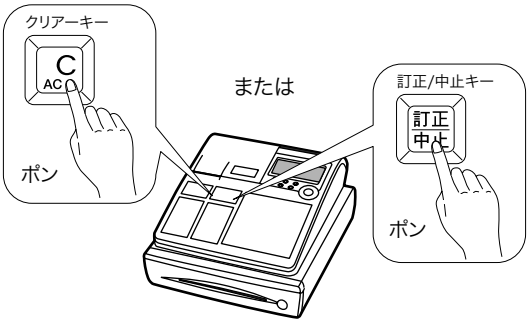
●クレジット決済を行なう。

参照 50 ページ



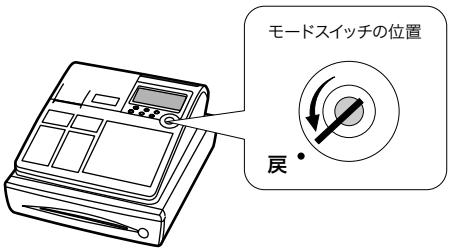
●キー操作をまちがえた。

参照 28 ページ



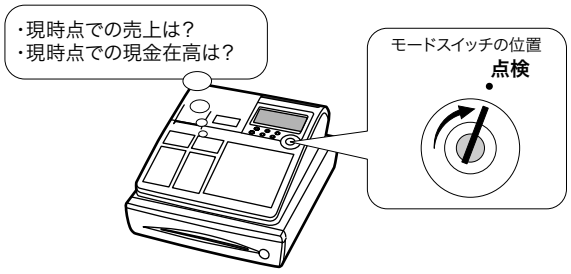
●返品があった。

参照 30 ページ



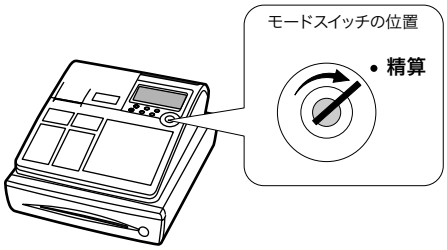
●売上を確認する。

参照 56 ページ



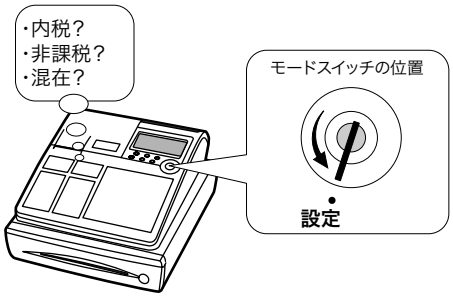
●閉店後の操作は？

参照 32 ページ



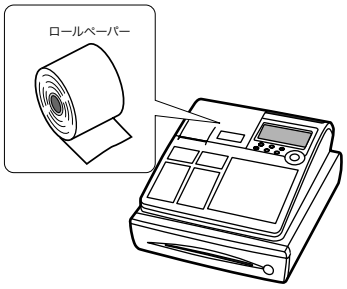
●消費税を設定する。

参照 68 ページ



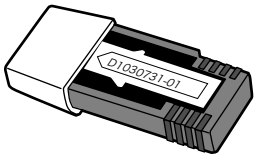
●ロールペーパーがなくなった。

参照 126 ページ



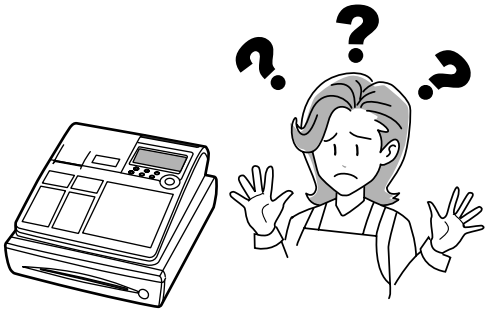
●電子店名スタンプを受け取った。

参照 130 ページ



●エラーが出た。

参照 121 ページ



●レシートの内容は？

参照 20 ページ

●値引きや割引きをする。

参照 46 ～ 47 ページ

●単価・割引き率・丸めの設定をする。

参照 65 ～ 66 ページ

●レシートにメッセージを印字する。

参照 84 ～ 87 ページ

●レシートに分類や商品名を印字する。

参照 73 ページ

各部のなまえと働き（1 / 3）

各部のなまえ



写真は TK-5500-4S モデル（本体色：白）です

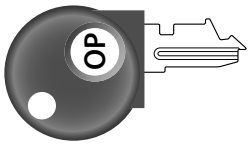
① レシート、ジャーナル用紙
（126, 127 ページ参照）
② ジャーナル巻き取りホルダ
③ ジャーナル
売上記録としてお店で保管します。
④ 紙押さえ
確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。
⑤ プリンタカバー
⑥ ジャーナル印字確認窓
印字内容の確認と用紙への書き込みができます。この窓に用紙の赤い線が見えてきたらペーパーの交換をしてください。
⑦ レシート発行窓
⑧ 札押さえ
⑨ ドロア（引き出し）
⑩ 客用表示窓
お客様用の表示です。見やすい角度に回してください（15 ページ参照）
⑪ 本体表示窓
⑫ モードスイッチ
⑬ キーボード
⑭ タッチキーボード
⑮ 差し込みプラグ / 電源コード
⑯ コネクタカバー
この中のコネクタにマルチ決済端末や磁気カードリーダを接続します。
⑰ RAC スロットカバー
この中に電子店名スタンプを差し込みます。
⑱ 紙幣入れ
⑲ 硬貨入れ（6 カ所）
⑳ コイントレー
仕切り板は、取り外したり、位置を移動することができます。
㉑ ドロアロック錠
㉒ ドロアスリット部
小切手や商品券を、ドロアを開けずに入れることができます。

付属品一覧表

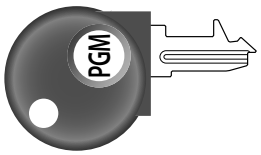
本機には、以下の付属品があります。ご確認ください。

● モード鍵（2種類 各 2 本） 参照 モードスイッチとモード鍵 (11 ページ)

❶オペレーター用鍵（OP）

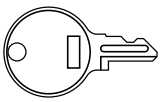


❷精算・設定（オーナー）用鍵（PGM）



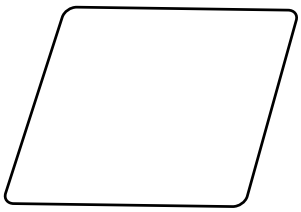
● ドロアロック鍵 2 本

ドロアを開かなくする鍵です。ドロア正面の鍵穴にこの鍵を差し込み、時計回りにまわすとドロアが開かなくなります。ドロアが開けられるようにするには反時計回りにまわします。



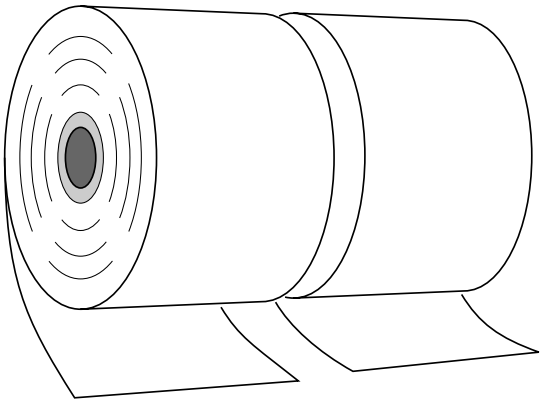
● 検銭板

接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼付けてください。



● ロールペーパー（2つ）

参照 「ロールペーパーのセットと交換」 (126 ページ)



● レジスター固定用ゴム足 4本

レジスターをドロアから外して設置するときにレジスター底面にはめ込みます。ドロアを本体から外さない場合は使用しません。

参照 **「ドロアと分離して設置するときには」(132 ページ)**



● ドロア延長用ケーブル

レジスターをドロアから外して設置するときに使用します。（ドロアを本体から外さない場合は使用しません）

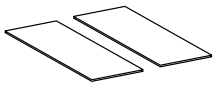
参照 **「ドロアと分離して設置するときには」(132 ページ)**



● ドロア上面穴塞ぎ用シート 2個

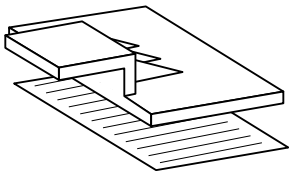
レジスターをドロアから外して設置するときに、ドロア上面の穴の上にシート裏面の紙をはがして貼付けます。（ドロアを本体から外さない場合は使用しません）

参照 **「ドロアと分離して設置するときには」(132 ページ)**



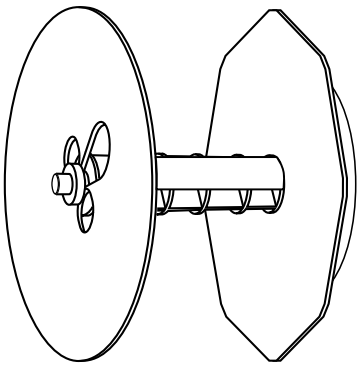
● 落下防止用フックおよび貼付用両面テープ（S モデルのみ）

ドロアが開いたときに、レジスターが設置した机の上などから落ちるのを防ぐためのフックとフックを貼付するための両面テープです。

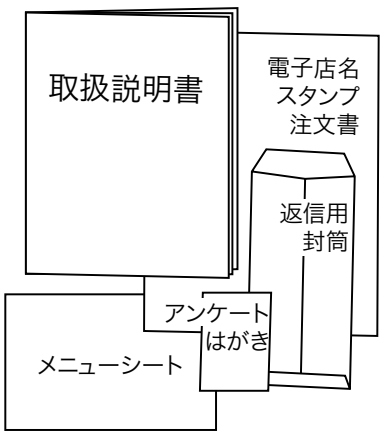


● ジャーナル巻き取りホルダ

参照 **「ロールペーパーのセットと交換」(126 ページ)**



● 取扱説明書類

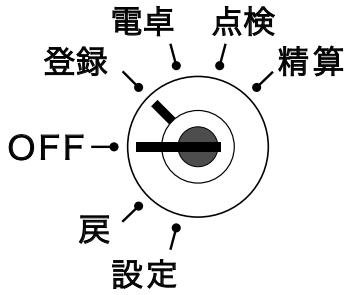


モードスイッチとモード鍵

モードスイッチの位置を切り替えると、レジスターの働きが変わります。位置を切り替えるにはモード鍵を使います。

モードスイッチ

レジスターには以下の７つのモードがあります。

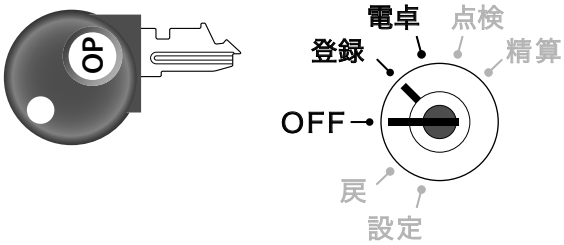


モードの名称	モードの機能
精　算	売上げの精算を行なうとき
点　検	売上げの点検を行なうとき
電　卓	電卓計算を行なうとき
登　録	売上げの登録を行なうとき
ＯＦＦ	レジを使用しないとき
戻	返品（戻し）を行なうとき
設　定	お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

モード鍵

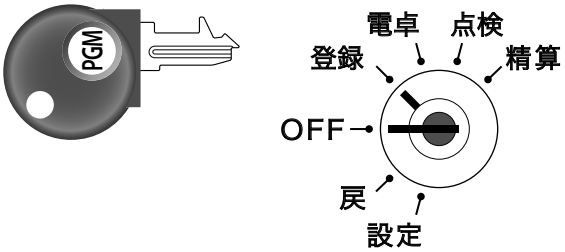
モード鍵には以下の２種類があります。

① オペレータ用
（OP と刻印）



回せる範囲

② 精算・設定（オーナー）用
(PGM と刻印)

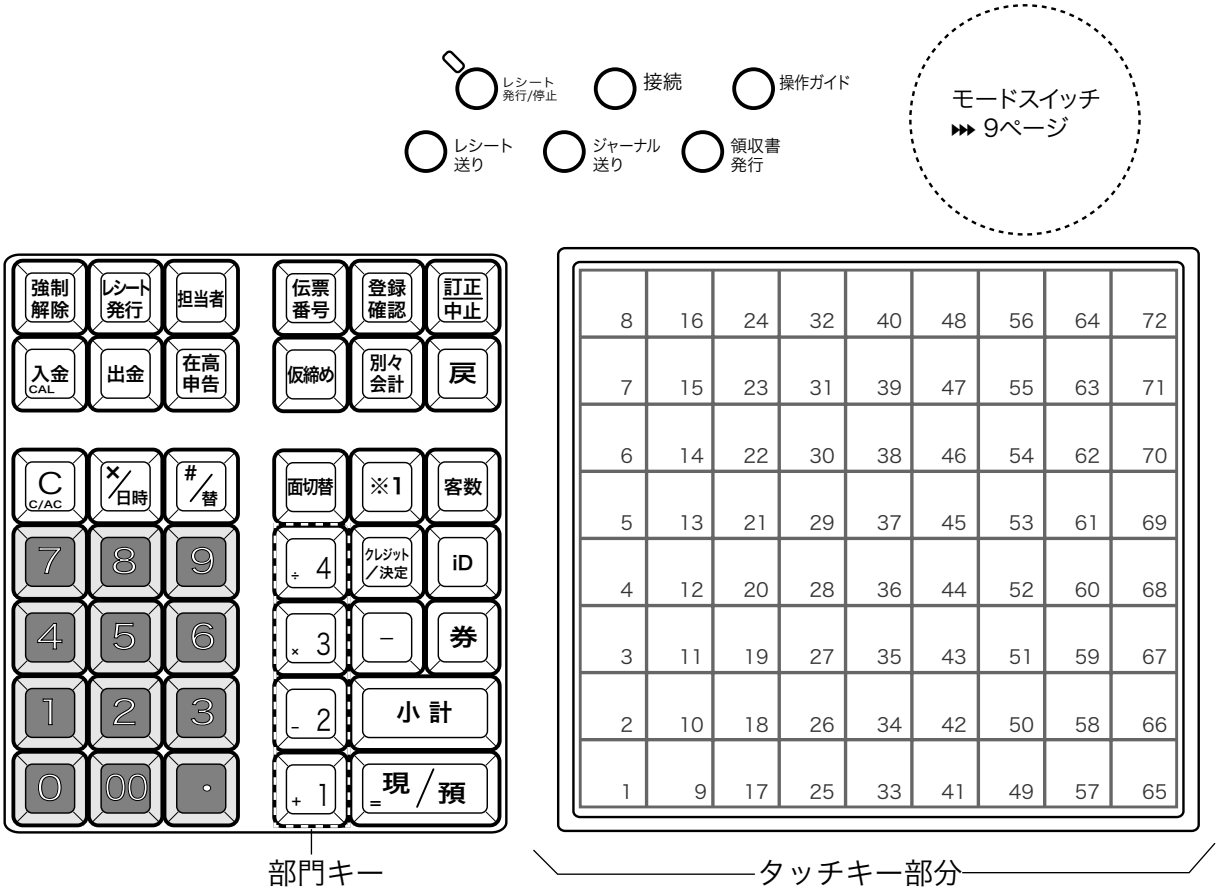


回せる範囲

濃い字で示したモードにまわすことができます。
さらに OFF と登録モードで、モード鍵をレジスターに付けたり外したりできます。

各部のなまえと働き（2/ 3）

キーボード



レシート発行/停止　レシート発行 / 停止スイッチ……レシートを発行したり、止めたりするスイッチです。登録と戻のモードで使えます。但し、クレジット伝票はこのスイッチの状態によらず、常に発行します。

キー上部のランプが消えているときは、レシートを常に「発行」します。

このときにスイッチを押すと、赤いランプが点灯してレシートを発行しなくなります。お客様にレシートを要求された場合は、レシート発行 キーを押してください。

このスイッチは押すたびに「レシートを発行する」→「レシートを発行しない」→「レシートを発行する」という状態を繰り返します。

接続　接続キー……レジスターを開設するときに押します。（情報センタ接続時に使用）⋙ 21 ページ

操作ガイド　操作ガイドキー……操作方法や設定方法を知りたい場合に押します。直接押すとメニュ項目を印字しますので、知りたいメニュ番号を入力してもう一度押します。

レシート送り　レシート送りキー……レシート用紙を空送りするときに押します。

ジャーナル送り　ジャーナル送りキー……ジャーナル用紙を空送りするときに押します。⋙ 126 ページ

領収書発行　領収書発行キー……領収書を発行します。⋙ 26 ページ

強制解除　強制解除キー……エラー解除のため、取引を強制的に解除します。（2回続けて押します）⋙ 121 ページ

レシート発行　レシート発行キー……後レシートを発行します。⋙ 43 ページ

担当者 担当者キー..... 担当者を指定するときに押します。⋙ 44 ページ

入金 入金キー..... 入金のときに押します。⋙ 45 ページ
電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。⋙ 63 ページ

出金 出金キー..... 出金のときに押します。⋙ 45 ページ

在高申告 在高申告キー..... 在高申告を始めるときと終わるときに押します。⋙ 53 ページ

伝票番号 伝票番号キー..... 伝票番号を指定するときに押します。⋙ 54 ページ

登録確認 登録確認キー..... 別々会計で登録内容を分けるとき押します。⋙ 55 ページ

訂正中止 訂正 / 中止キー ..... 直前訂正（⋙ 29 ページ）または取引中止（⋙ 29 ページ）のときに押します。

仮締め 仮締めキー..... 取引を仮締めするとき押します。⋙ 54 ページ

別々会計 別々会計キー..... 別々会計のとき押します。⋙ 55 ページ

戻 戻しキー..... 返品が有ったときに押します。⋙ 31 ページ

C/AC C クリアキー..... 数字を入れまちがえたときに押します。⋙ 28 ページ
電卓機能のときは、2 回続けて押すと「オールクリア」（ゴハサン）の働きになります。

×/日時 乗算 / 日時キー ..... 乗算登録（⋙ 25 ページ）、または時刻・日付を表示するとき（⋙ 44 ページ）に押します。

#/替 不加算印字 / 両替キー..... 不加算印字（⋙ 42 ページ）や両替（⋙ 25 ページ）をするときに押します。

1 ～ 9、0、00、• 置数キー。数値を入れるときに押します。

面切替 面切替キー..... タッチキー面を切り替えるとき押します。⋙ 23 ページ

※1 TK-5500 の場合

PLU PLU キー ..... PLU 機能を使用するときに PLU 番号を入れてから押します。⋙36 ページ

※1 TK-6500 の場合

PASMO PASMO キー ..... PASMO での売り上げのとき押します。⋙134 ページ

客数 客数キー..... お客様の人数を入力するときに押します。⋙54 ページ

1 ～ 4 部門キー..... 個々の商品を登録するときに押します。⋙ 22 ページ

1 ～ 4 の部門キーは、電卓機能のときは「+」「−」「×」「÷」の計算命令キー です。⋙ 62 ページ

クレジット/決定 クレジット / 決定キー..... クレジットカードでの売上のときに押します。⋙ 50 ページ

iD iD キー..... iD での売上のときに押します（KT-10 の接続が必要です）。⋙ 50 ページ

− マイナスキー ..... 値引きのときに押します。⋙46 ページ

券 券売りキー..... 商品券での売上のとき押します。⋙ 50 ページ

小計 小計キー..... 登録金額の合計（中間合計）を見るときに押します。⋙ 22 ページ

現/預 現金売り / 預かり金キー.... 登録の完了（現金での売上）および預かり金のときに押します。⋙ 22 ページ
電卓機能のときは、「=」です。⋙ 62 ページ

1 ～ 72 ﾌﾗｯﾄPLU キー ..... タッチキー部分（⋙ 12 ページ）のキーです。
個々の商品を登録するときに押します。⋙ 23 ページ

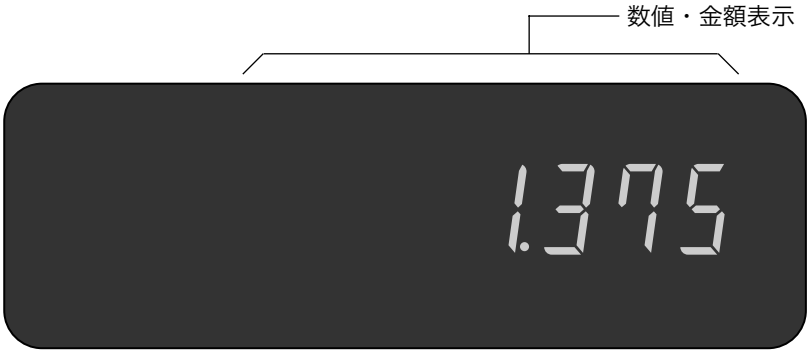
各部のなまえと働き（3/ 3）

本体表示窓 / 客用表示窓の見方

本体表示窓



客用表示窓



●キャラクタ（文字）表示

登録した品物の名前などを、文字で表示します。半角文字で最大 16 文字 × 2 行、全角文字で最大 8 文字 × 2 行を表示します。

●数値・金額表示

金額や数量などを表示します。
電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●決済、接続 状態表示

マルチ決済端末が接続しているか、インターネットに接続しているかをシンボル（▬）で表示します。

決済：マルチ決済端末が接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、電源が入っているか、レジスターと決済端末が確実に接続されているかを確認します。

接続：インターネットに接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、外部接続機器（ルータやモデム）などの電源が入っているか、レジスターと確実に接続されているかを確認します。

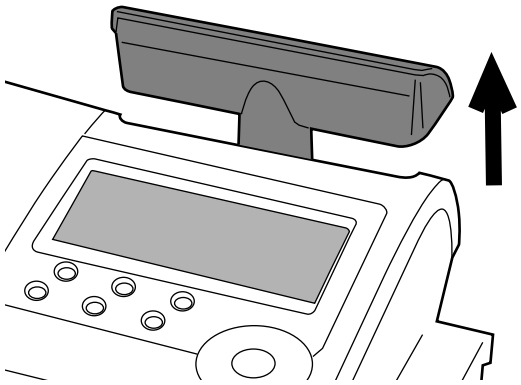
●リピート回数表示

リピート登録（⏭ 24 ページ）のとき、その回数の下 1 桁を表示します。

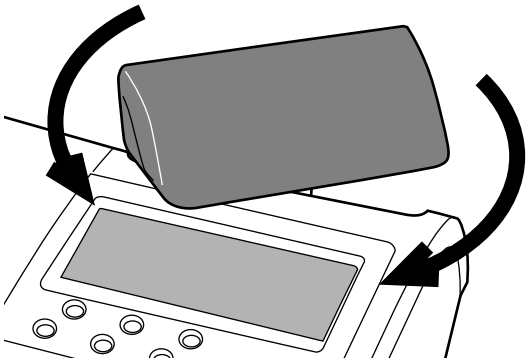
⚠注意 表示例はイメージであり、実際の表示と、行間・字間・書体が異なります。

客用表示窓の向きを変える

1 客用表示窓全体を止まるまで、上に持ち上げます。



2 見やすい方向に回します。

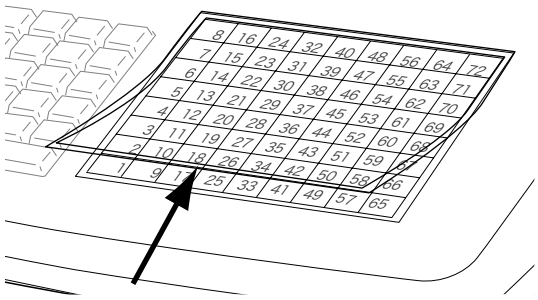


真正面には向きません。

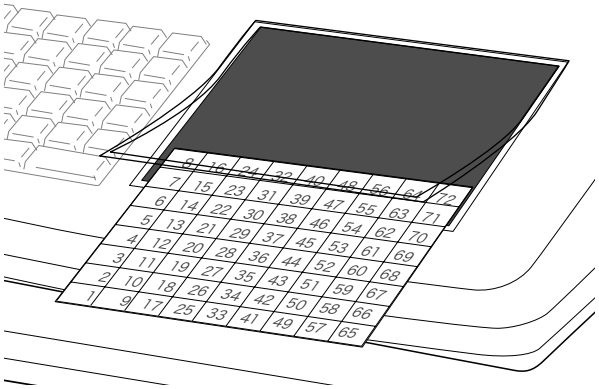
真背面にすると、レジスターの中に格納されます。

タッチキーシートを取り替える

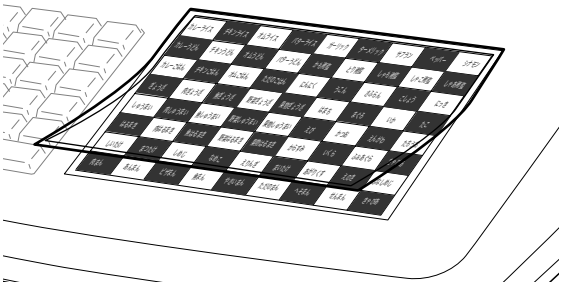
1 タッチキーのカバーの矢印部分を持ち上げます。



2 タッチキーシートを取り出します。



3 新しいタッチキーシートを入れ、タッチキーのカバーを戻します。



お使いになる前に（1 / 2）

お買い上げいただいたレジスターは，以下の手順で設置してください。

設置の手順 ①（情報センタ接続作業前）

お買い上げ直後は、以下の手順に沿って設置してください。

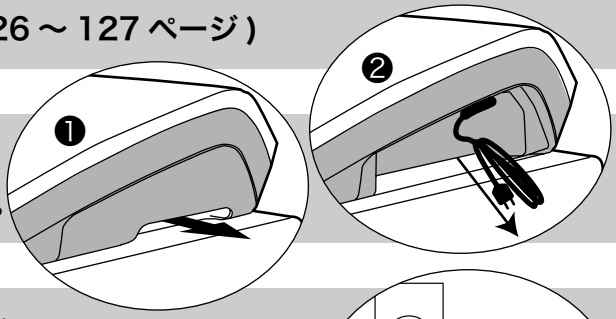
1 梱包箱の中から本体と付属品すべてを取り出し、全部そろっているか、確認します。

2 レジスターを水平な設置場所に置きます。

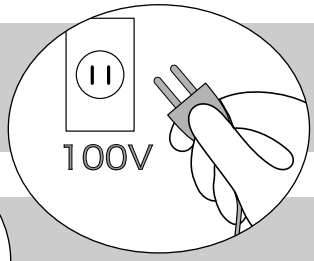
3 ロールペーパー（印字用ロール紙）を取り付けます。

参照 **ロールペーパーをセットする** (126 ～ 127 ページ)

4 レジスター右側面のコネクタカバーを開け、
❶、❷の手順で電源コードを取り出します。



5 差し込みプラグを家庭用 100V コンセントに
に確実に差し込みます。



6 モードスイッチにモード鍵を差し込み
「登録」の位置に合わせます。



7 日付と時刻を確認し、違っていたら設定します。

参照 **時刻や日付表示** (44 ページ)
参照 **日付や時刻を設定する** (64 ページ)



必要に応じて、以下の設定をします。

参照 **「消費税の計算方式」 (18 ページ)**
参照 **「単価・割引率・丸めの設定」 (65, 66 ページ)**
参照 **「商品名とメッセージの設定」 (73 ページ～)**
参照 **「その他の設定」 (90 ページ～)**

8 **これで、レジスターをお使いいただけます。**(情報センタの機能は使えません)

情報センタに接続して、マルチ決済端末を使用する場合は、次の節にお進みください。
電子店名スタンプ（RAC-13）が着きましたら、装着してください → 130 ページ

設置の手順 ②（情報センタへの接続作業の内容）

情報センタへの接続やマルチ決済端末の接続作業は専門業者が行ないます。（以下に概略を示します）

1. レジスターとマルチ決済端末を接続します。
バーコードスキャナがあれば、それも接続します。

2. レジスターに、磁気カードリーダを取り付けます。

3. レジスターを ADSL モデムとバックアップ用アナログモデムに接続します。
お客様によっては他のインターネット回線を使うこともあります。

4. インターネット接続キー（RAC-12）を装着します。

5. レジスターの差し込みプラグや ADSL, アナログモデムの AC アダプタのプラグを
家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。

6. レジスターやモデムの電源を入れ、動作試験を行ないます。
試験が完了したら次に進みます。

設置の手順 ③（情報センタ接続作業後）

情報センタ接続作業後は、以下の手順に沿って設置してください。

1. レジスターの開設を行ないます。

必要に応じて、以下の設定をします。

参照 「音量の設定」 (KT-10 取扱説明書)

2. **これで、ネットワークレジスターをお使いいただけます。**
情報センタに接続して、そのサービスを受けることができます。
（別途契約が必要なサービスもあります）

消費税の設定について

お店の課税方式に合わせて、消費税の設定を行ないます。外税 / 内税 / 非課税の違いは次節をご参照ください。

●内税方式のお店は……

このままご使用いただけます。

●非課税方式のお店は……

参照 すべての商品を非課税扱いにする （68 ページ）

●内税、外税と非課税とが混在するお店は……

参照 内税 / 外税 / 非課税を混在して設定する （70 ページ）

奉仕料を申し受けになるお店では、更に奉仕料の設定を行ないます。

参照 奉仕料率を設定する （111 ページ）

消費税の計算方式

消費税の計算には、次の３つの課税方式があります。

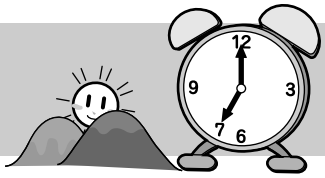
①内税方式	②外税方式	③非課税方式
商品金額に消費税が含まれているものを販売する方式 例： 価格 1,000 円 本体価格 952 円 消費税額 48 円 合計 1,000 円 受取	商品金額に消費税を付加して販売する方式 例： 価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 消費税額 50 円 合計 1,050 円 受取	消費税を徴収しない（消費税を計算しない）で販売する方式 例： 価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 消費税額 0 円 合計 1,000 円 受取

ポイント お買い上げに、内税 / 外税 / 非課税対象の商品が混在していても、消費税計算を正しく行なうことができます。
ご購入時は、消費税率５％の内税方式に設定されています。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。

一日の仕事の流れ

一日の仕事の大まかな流れを示します。

開店前



☑差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認します。

☑ロールペーパーが充分にあるか、確認します。

参照 **ロールペーパーを交換する** (128 ページ)

☑情報センタに接続して使用する場合、レジの開設操作を行ないます。

参照 **レジを開設する** (21 ページ)

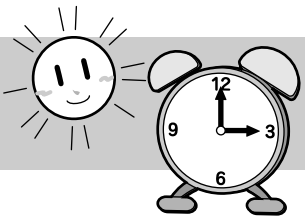
☑モードスイッチを登録にして、日付と時刻を確認します。

参照 **時刻および日付を表示する** (44 ページ)

☑釣銭用の小銭をドロアに入れ、釣銭準備金として登録します。

参照 **入金キーの使い方** (45 ページ)

営業中



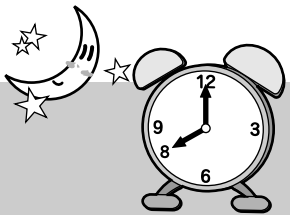
☑商品の売上を登録します。

「基本的な操作」 (22 ページ～)

☑売上の確認をします。(必要に応じて)

「売上内容の点検」 (56 ページ)

閉店後



☑ドロア内のお金を取り出し、回収金登録をします。

参照 **出金キーの使い方** (45 ページ)

☑一日の売上を打ち出します。

参照 **一日の売上を打ち出す。** (32 ページ)

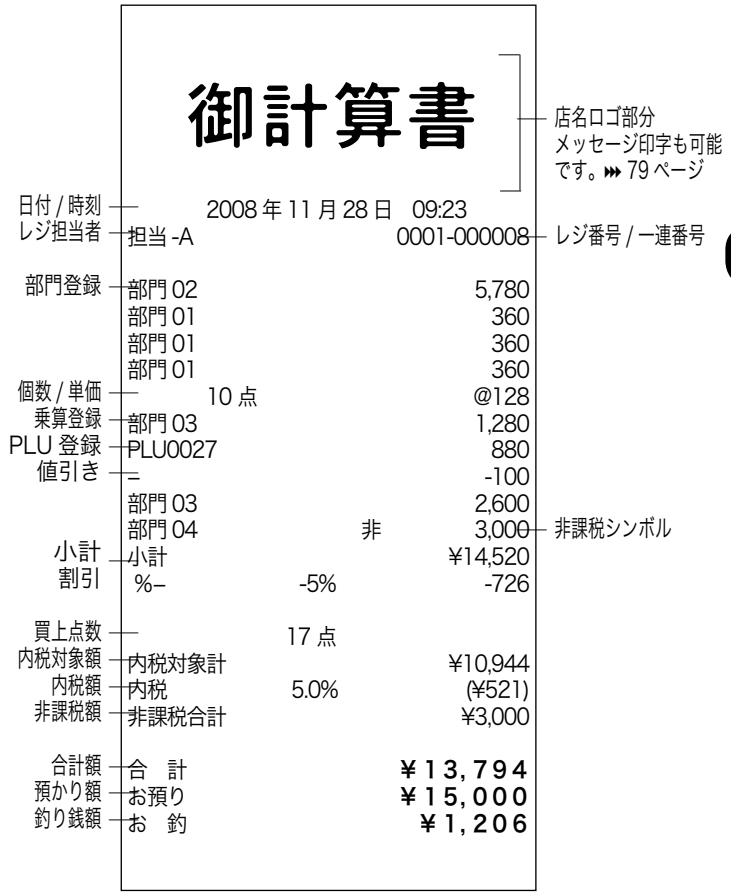
☑モードスイッチを「OFF」にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

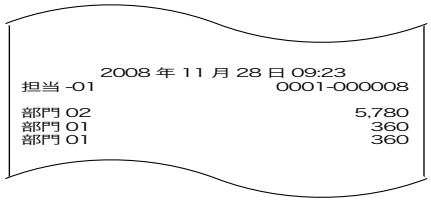
レシート / ジャーナル / 領収書の見方

- レシートとジャーナルの印字内容は、ほぼ同じです。ただし、レシートには店名ロゴが印刷されます。
- レシートを発行したくない場合、レシート発行 / 停止スイッチを押してレシート停止にします。(⏭ 12 ページ)
- ジャーナル用紙を節約するには、1. 高さが半分の文字で印字する (下記印字例参照 ⏭ 77 ページ)、2. 明細を印字しない設定をする。(⏭ 91 ページ) という２つの方法があります。

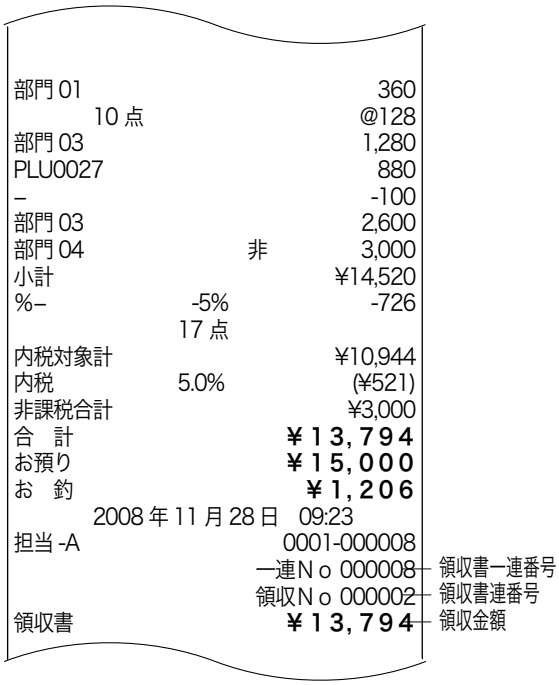
レシート



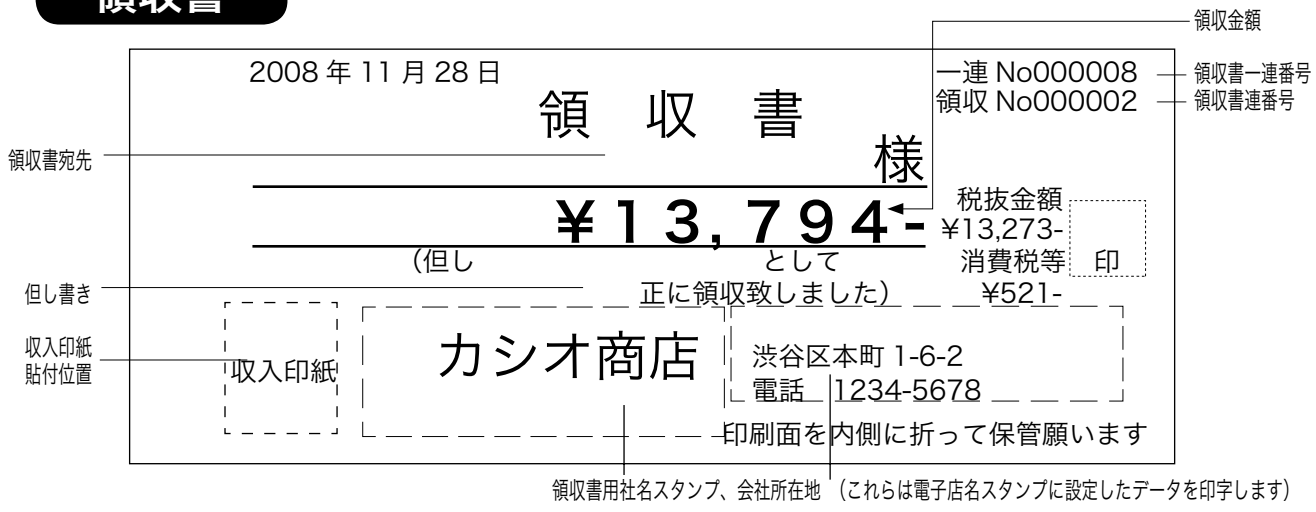
ジャーナル（圧縮印字例）



ジャーナル（通常印字例）



領収書



⚠注意 本書の印字サンプルはイメージです。実物のジャーナル / レシートと、行間・字間・書体が異なります。

基本的なレジの操作（1 / 3）

モードスイッチの位置
登録

レジスターを開設する（情報センタをお使いになる場合は必須です）

情報センタに接続して電子決済や売上分析を行なう場合は、レジスターの開設操作を営業開始時に行なわなければなりません。開設を行なわないと、ネットワークレジスターとして使用できません。

例題

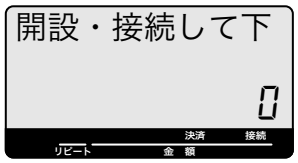
レジスターを開設する。

手順 **表示例** **印字例**

1 C/AC キーを押して表示を確認します。

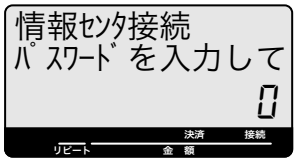
C/AC C

※「開設・接続して下さい。」と表示する場合は次のステップに進みます。出ていなければ以下の操作をする必要はありません。



2 接続 キーを押します。

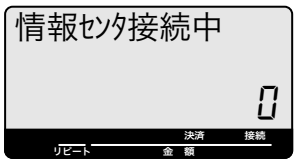
接続



3 開設パスワードを置数し、接続 キーを押します。

1 2 3 4 5 6 接続

※ パスワードが設定されていない場合はそのまま 接続 キーを押します。





ポイント **電子決済をしたり、情報センタでの売上分析を受ける場合は、必ずレジスターの開設をしなければなりません。**
また、日計精算を行なうとレジスターは閉設されます。日計精算後にクレジットの決済を行なうときは、再度レジスターを開設します。

注意 情報センタとの接続前にレジスターをお使いになっていた場合は、最初のレジ開設時は上記項目２の代わりに

2 0 0 9 2 を置数して 接続 キーを押します。

0 0 9 2 接続 と、操作してください。

参照 **開設パスワードを変更する場合、以下の操作後、ガイダンスに従って新しいパスワードを設定します。**
① 設定モードに回す
② 7 小計 8 5 2 0 小計 （表示されるガイダンスに従って、操作してください） 終了したら元のモードに戻します。

基本的なレジの操作（2/ 3）

商品を１つ、売り上げる

商品１つをお買い上げになったときの例を示します。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

ポイント　**部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 オペレータキー（  ）を使って、登録モードに合わせます。

（以下の節も、指定が無い限り同じです。）

2 商品の単価と部門キーを押します。

1 **2** **0** **0**　[1]



登録累計
登録部門名
登録金額

3 [小計] キーを押します。

[小計]



合計金額

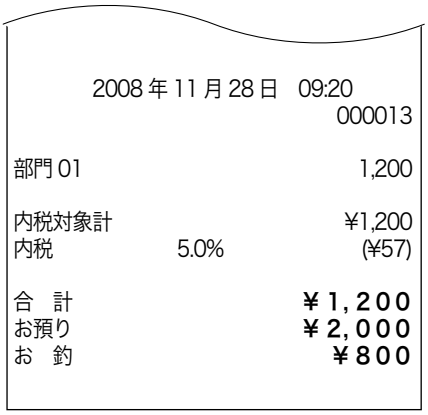
4 預かり金額を入力して [現/預] キーを押して取引を締め（終了し）ます。

2 **0** **0** **0**　[現/預]



預かり金額
お釣り金額

印字例



本書内の操作例は、「税率 5% の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）での記載です。
内税方式だけではなく、外税方式、非課税方式および内税、外税、非課税方式が混在している場合でも操作方法は同じです。（印字される内容は異なることがあります）

商品を３つ、売り上げる

商品３つをお買い上げになったときの例を示します。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥300	1	部門 1	¥2,500
¥800	1	フラット PLU 01	
¥1,000	1	フラット PLU 73	

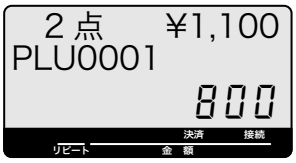
手順

1 商品の単価と部門（フラット PLU）キーを押します。
商品の数だけ繰り返します。

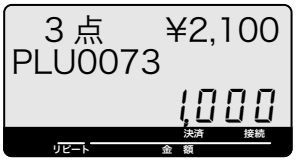
3 0 0 [1]



8 0 0 [1]
（フラット PLU0001 指定）



1 0 0 0 [面切替] [1]
（フラット PLU0073 指定）



2 商品をすべて入力したら [小計] キーを押します。

[小計]

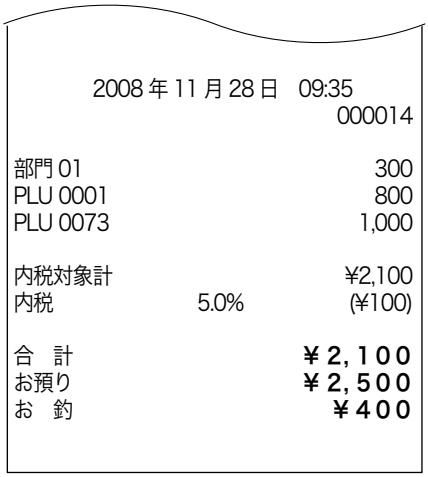


3 預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。

2 5 0 0 [現/預]



印字例



2008 年 11 月 28 日　09:35
000014

部門 01		300
PLU 0001		800
PLU 0073		1,000
内税対象計		¥2,100
内税	5.0%	(¥100)
合　計		**¥2,100**
お預り		**¥2,500**
お　釣		**¥400**

ポイント フラット PLU は、[面切替] キーを用いて、それぞれ以下のように指定できます。

操作		指定される フラット PLU
面切替キー	フラット PLU キー	
入力しない	[1]	PLU0001
	[37]	PLU0037
	[72]	PLU0072
[面切替]	[1]	PLU0073
	[37]	PLU0109
	[72]	PLU0144
[面切替] [面切替]	[1]	PLU0145
	[37]	PLU0181
	[72]	PLU0216

基本的なレジの操作（3/ 3）

同じ商品をいくつか売り上げる（リピート）

同じ商品をいくつかお買い上げになったときの例を示します。
たくさんお買い上げの場合は、次の節に示した乗算をお使いください。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥300	3	部門 2	¥2,000
¥500	2	部門 1	

ポイント　部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

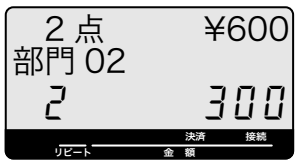
手順　表示例　印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量だけ、その部門キーを繰り返して押します。

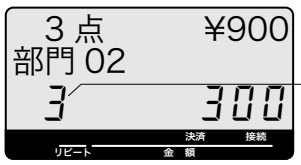
300 [2]



[2]（2個目の登録）



[2]（3個目の登録）



リピート回数

2 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量だけ、その部門キーを繰り返して押します。

500 [1]



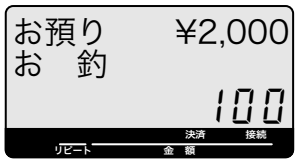
[1]（2個目の登録）



3 [小計] キーを押します。
[小計]



4 預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。
2000 [現/預]





2008 年 11 月 28 日　09:50
000017

部門 02		300
部門 02		300
部門 02		300
部門 01		500
部門 01		500
内税対象計		¥1,900
内税	5.0%	(¥90)
合　計		**¥1,900**
お預り		**¥2,000**
お　釣		**¥100**

注意　10 以上のリピート回数は、下 1 桁だけを表示します。

同じ商品をたくさん売り上げる（乗算登録）

同じ商品をたくさん（1 ダースなど）お買い上げになったときの例を示します。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000

ポイント　部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

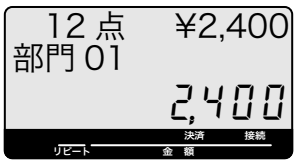
手順

1 商品の数量、[×/日時]、単価、部門キーの順に押します。

[1][2] [×/日時]

[2][0][0] [1]





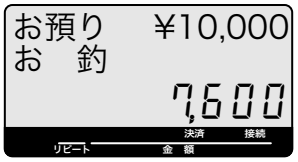
2 商品をすべて入力したら [小計] キーを押します。

[小計]

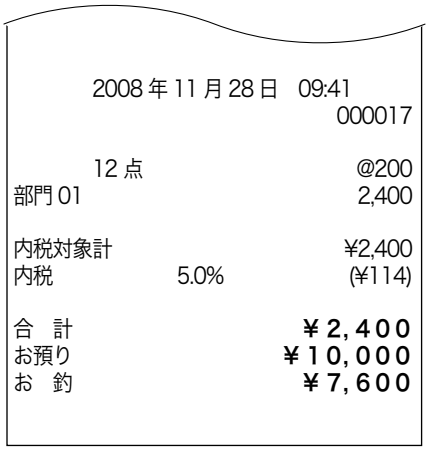


3 預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。

[1][00][00] [現/預]



印字例



ポイント　乗算登録の「数量」の範囲は「 0.001 ～ 9999.999 」です。
「数量 × 単価」という入力順番を入れ替えて、「単価 × 数量」とすることもできます。　(⋙ 35 ページ)

両替を行なう（ドロアを開ける）

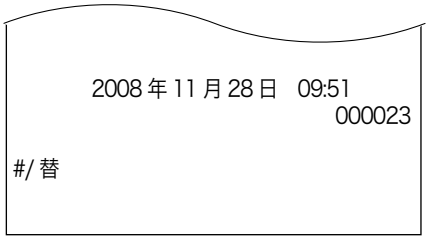
ドロアを開ける、両替するときの操作です。

手順

1 [#/替] を押します。ドロアが開きます。

[#/替]

印字例



ポイント　両替は、登録操作が完了しているときに、数値を入れないで [#/替] キーを押します。

領収書発行の操作

領収書を依頼されたときは、売上レシートを発行した後に 領収書発行 キーを押します。
なお、レシートスイッチが「停止」の場合でも領収書が発行できます。

領収書を発行する

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥500	10	部門 4	¥40,000
¥2,000	1	部門 2	
¥25,000	1	部門 1	

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

この登録の後で領収書を発行する。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

10 ×/日時 500 4
2000 2
25000 1
小計
4 00 00 現/預

2 領収書発行 キーを押します。
領収書発行

注意 領収書には、電子店名スタンプ（➠ 130 ページ）で自店専用のロゴを印字することができます。電子店名スタンプはレジスターに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご発注ください。

印字例

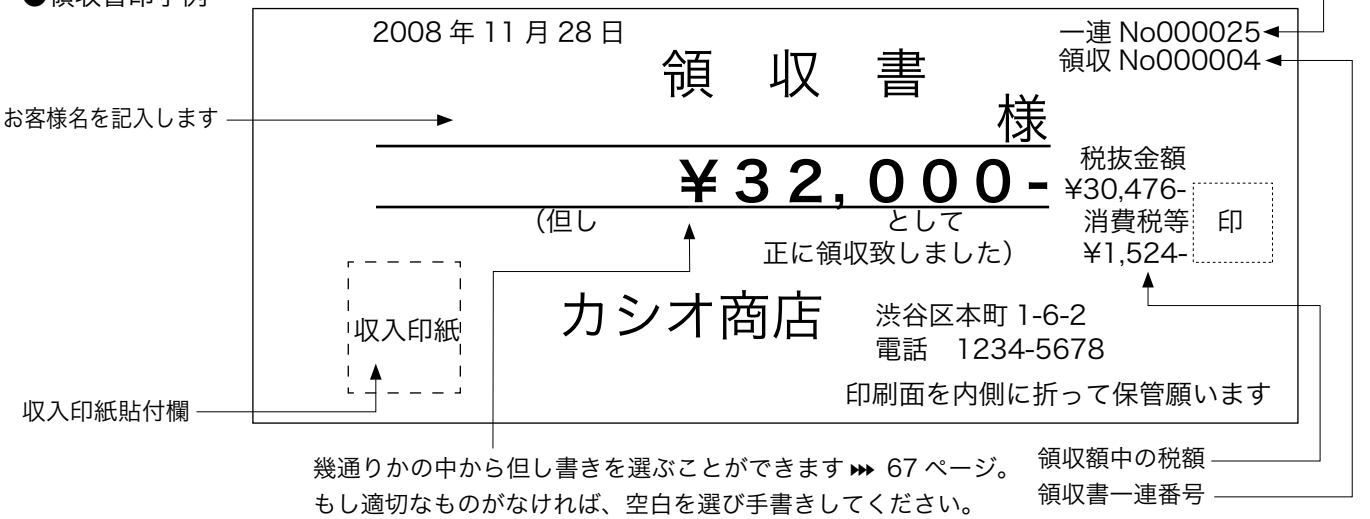
カシオ商店
渋谷区本町 1–6–2
電話 1234–5678

2008 年 11 月 28 日　10:02
000025

10 点		@500
部門 04		5,000
部門 02		2,000
部門 01		25,000
内税対象計		¥32,000
内税	5.0%	(¥1,524)
合　計		**¥32,000**
お預り		**¥40,000**
お　釣		**¥8,000**

レシート一連番号

●領収書印字例



ポイント **収入印紙を貼付欄は、合計金額が 30,000 円以上で自動的に印字されます。**
印紙の必要な金額が変わりましたらその額に変更してください。 ➠ 97 ページ
日計明細レポート上も、収入印紙貼付の有無の領収書の発行枚数 / 発行金額を分けて集計します。

金額指定の領収書を発行する

別のお客様のお買い上げ処理が終わってから前のお客様に領収書を依頼された場合は、お客様のお買い上げ金額を入力して領収書を発行します。

手順

印字例

1 領収書の額面金額を入力し 領収書発行 キーを押します。

5000 領収書発行

●領収書印字例

2008 年 11 月 28 日

一連 No000027
領収 No000006

領　収　書

様

¥5,000-

（但し　　として
正に領収致しました）

印

カシオ商店　渋谷区本町 1-6-2
電話　1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

ポイント **金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて 領収書 キーを押します。この場合、税額は印字されません。**

レシート、ジャーナル用紙について

- 領収書を発行したり、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお薦めします。
- 収入印紙貼付後や捺印後は、完全に乾くまでこすらないでください。
- 未使用の感熱紙（サーマル用紙）を保管したり、印字後のジャーナルを保存する場合は、光にさらしたままにしないように注意してください。
- お客様に領収書をお渡しするときは、変色を防ぐために印字面を内側にして 2 つ折りにしてお渡しください。

キー操作をまちがえたとき

キー操作を間違えた場合、[C/AC] キーや [訂正 中止] キーで間違えを取り消すことができます。
[C/AC] キーで取り消せるのは、[1] ～ [9]、[0] および [00] の数字キーの入力をした状態のときです。
その他の間違えには [訂正 中止] キーを使用します。[訂正 中止] キーでも直せない間違えもあります。

部門キーや取引キーを押す前の訂正

部門キーや取引キーを押す前は、すべて [C/AC] キーで訂正できます。

例題

	単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
①	¥120	1	部門 1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門 1	
③	¥105	10	部門 2	

上記①～④での登録途中の間違い。

ポイント 例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。

例①

単価を押しまちがえた

手順

1 [C/AC] キーを押します。
[1][2][00][C/AC]

2 正しく入力し、部門キーを押します。
[1][2][0][1]

例②

数量を間違えて [×/日時] キーを押してしまった
（単価を入れて [×/日時] キーを押してしまった）

手順

1 [C/AC] キーを押します。
[2][0][0][×/日時][C/AC]

2 正しく入力し、部門キーを押します。
[5][×/日時][2][0][0][1]

例③

乗算で単価をまちがえた

手順

1 [C/AC] キーを押します。
[1][0][×/日時][1][5][0][C/AC]

2 正しく入力し、部門キーを押します。
[1][0][×/日時][1][0][5][2]

例④

預かり金額をまちがえた

手順

1 [C/AC] キーを押します。
[小計][5][0][0][0][C/AC]

2 正しく入力し、[現/預] キーを押します。
[小計][3][0][0][0][現/預]

部門キーを押したあとでの訂正（直前訂正）

部門キーを押した直後は、訂正/中止 キーで訂正できます。

例題

	単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
①	¥505	1	部門 1	¥2,000
②	¥230	3	部門 3	

上記①、②での登録途中での間違い。

ポイント **例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。**

手順

①単価をまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

1 訂正/中止 キーを押します。
5 5 0 1 訂正/中止

2 正しく入力し、部門キーを押します。
5 0 5 1

②乗算時、単価をまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

1 訂正/中止 キーを押します。
3 ×/日時 2 2 0 3 訂正/中止

2 正しく入力し、部門キーを押します。
3 ×/日時 2 3 0 3

3 小計 キーを押し、預かり金を入力して 現/預 キーを押します。
小計 2 0 0 0 現/預

印字例

2008 年 11 月 28 日　10:35
000037

部門 01		505
3 点		@230
部門 03		690
内税対象計		¥1,195
内税	5.0%	(¥57)
合　計		**¥1,195**
お預り		**¥2,000**
お　釣		**¥805**

注意 レシートには訂正された商品は印字されません。（ジャーナルには訂正された商品は印字されます）

登録途中の商品すべての取り消し（取引中止）

登録をもう一度やり直す場合は、小計 訂正/中止 で一括取消を行ない、再度登録を行ないます。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥350	12	部門 4	-
¥1,280	1	部門 2	

ポイント **例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。**

手順

1 例に示した登録をします。
1 2 ×/日時 3 5 0 4
1 2 8 0 2

2 小計 キーを押してから、訂正/中止 キーを押します。
小計 訂正/中止

印字例

2008 年 11 月 28 日　10:41
000040

12 点	@350
部門 04	4,200
部門 02	1,280
取引中止	.....

注意 小計 キーは必ず押してください。押し忘れると、最終行だけの訂正になります。

返品戻しとレシート発行後の訂正

モードスイッチの位置
戻

レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などは《返品戻し処理》を行ないます。
返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の 2 種類があります。

取引終了後の返品

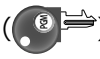
取引を終了した（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせ、その商品を売り上げたときと同じ操作を行ないます。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥780	2	部門 1	現　金
¥1,280	1	部門 3	

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 オーナーキー（  ）を使って、戻しモードに合わせます。
2 例に示した登録操作を行ないます。
[7][8][0] [1] [1]
[1][2][8][0] [3]
[小計] [現/預]
3 登録モードに合わせます。
4 オーナーキーをモードスイッチから抜きます。
（必要が有れば、オペレータキーと挿し替えます）

印字例

戻　　2008 年 11 月 28 日　10:50
000045

部門 01　780
部門 01　780
部門 03　1,280

内税対象計　¥2,840
内税　5.0%　(¥135)

現金　**¥ 2,840**

（戻しモードのしるしです）

注意 戻モードでの処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。
オーナーキーは精算操作や設定ができますので、普段から挿したままにしないでください。

取引中の返品

現在売り上げ処理中の商品の返品や訂正は、モードスイッチを「登録」のままで 戻 キーを使って行ないます。

現/預 キーを押した後で、その登録の誤りに気づいた場合は、前節の《取引後の返品》を行ないます。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥720	1	部門 4	現　金
¥1,530	2	部門 2	
返品処理→¥720	1	部門 4	

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 例に示した通常の商品登録を行ないます。

7 2 0 4 1 5 3 0 2 2

2 戻 キーを押して返品する商品を登録します。

戻

7 2 0 4

3 小計 キーと 現/預 キーを押します。

小計 現/預

印字例

2008 年 11 月 28 日　10:53
000048

部門 04		720
部門 02		1,530
部門 02		1,530
戻		・・・・・・・・・・・・
部門 04		-720
内税対象計		¥3,060
内税	5.0%	(¥146)
現金		**¥3,060**

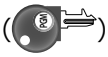
閉店後の操作

閉店後には、その日の売上の精算を行ないます。
精算後は、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除いて、印字された内容がクリアされます。

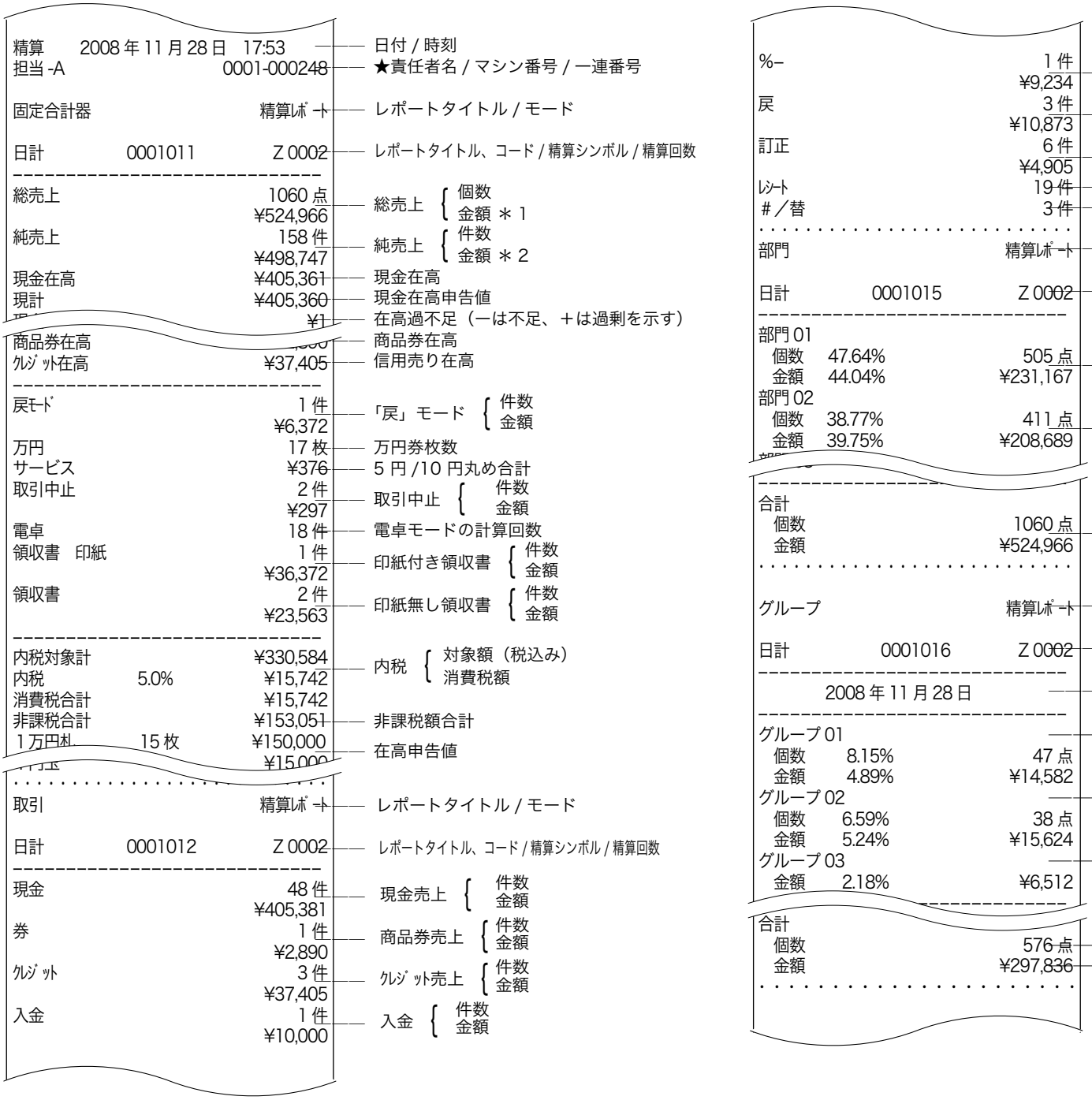
※このレジスターで発行できるレポートに付いては、56 ページ以降にも記載されています。
※マルチ決済端末をご使用の場合、このレポートの前にクレジット日計明細を印字します。

1 日の売上レポートを打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナーキー（  ）でモードスイッチを「精算」にして、現/預 キーを押します。

印字例

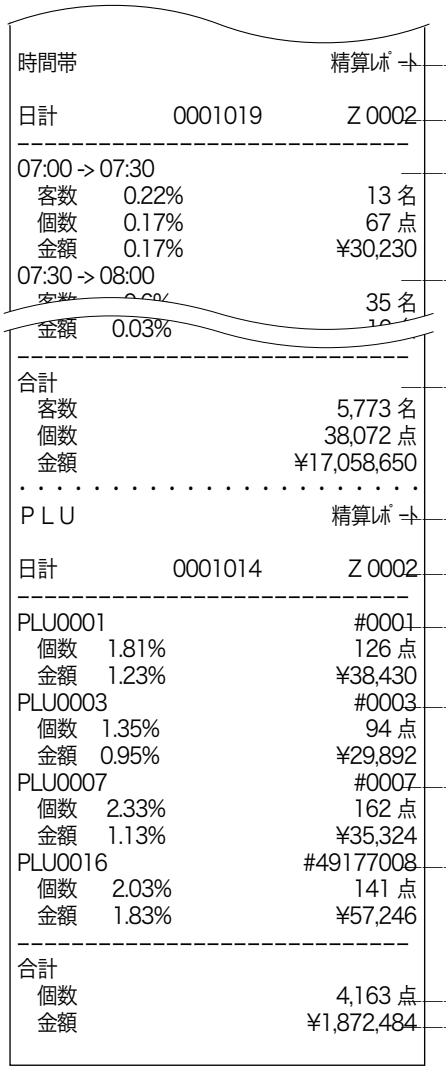


● この印字例の中をはじめ、56 ページ以降に示した点検 / 精算レポートで印字される各項目の間には、以下の関係式があります。

＊1 総 売 上 ＝ 部門合計 ＋部門リンクしていない PLU 合計 ：個数、金額とも
（部門リンク ⋙ 103 ページ ）

＊2 純 売 上 ＝ 現金売上額 ＋ 貸し売上 ＋ 商品券売上
＝ 総売上 − 値引き − 割引き −５円 /10 円丸め合計
（ ＝ お客様の支払い額の総合計 ）

＊3 現金在高 ＝ 現金売上 ＋ 入金合計 − 出金合計 （券売りでおつりがない場合）
＝ 総売上 − 値引き − 割引き ＝ 内税対象額 ＋ 非課税額合計



左側：
- 割引き { 件数 / 金額
- [戻] キー { 回数 / 金額
- 直前訂正 { 回数 / 金額
- レシート発行件数
- 両替回数
- レポートタイトル / モード
- レポートタイトル、コード / 精算シンボル / 精算回数
- 部門 [1] { ★構成比 / 個数 / ★構成比 / 金額
- 部門 [2]
- 部門合計 { 売上個数 / 売上金額
- レポートタイトル / モード
- レポートタイトル、コード / 精算シンボル / 精算回数
- 前回精算日付
- ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01 ｷｬﾗｸﾀ ★構成比 / 個数 ★構成比 / 金額
- グループ 02
- グループ 03
- 精算分の合計個数
- 精算分の合計金額

右側：
- レポートタイトル / モード
- 種別コード / 精算シンボル / 精算回数
- 時間帯 07:00 ～ 07:30 ★構成比 / 件数（客数） ★構成比 / 個数 ★構成比 / 純売上金額
- 時間帯 07:30 ～ 08:00
- 時間帯総合計 件数合計（客数合計） 売上個数合計 純売上金額合計
- レポートタイトル / モード
- 種別コード / 精算シンボル / 精算回数
- PLU0001 ｷｬﾗｸﾀ /PLU No. ★構成比 / 個数 ★構成比 / 金額
- PLU0003
- PLU0007
- スキャニング PLU/PLU code
- 合計個数
- 合計金額

※マルチ決済端末をご利用のときは、クレジットカード取引明細をこの前に印字します。

参照 KT-10 取扱説明書をご参照ください

★印の項目を印字するには、設定の変更（⋙ 91 ページ）が必要です。
※個数や件数、金額がすべて “０” だと、その部門や担当者は印字されません。

部門キー / フラット PLU キーの便利な使い方

この章では、部門キーやフラット PLU キーの便利な使い方を説明します。
（お使いになる前に、▸▸▸ で示したページに書かれた設定をしてください）

単価を設定した商品を登録する

よく使われる商品金額を部門キーやフラット PLU キーに設定することができます。設定された単価の商品を登録する場合は、単価の置数は要りません。直接そのキーを押下してください。

例題

単　価	数 量	部門またはフラット PLU キー	預かり金
¥800（キーに設定済み）	1	部門 2	¥5,000
¥1,200	1	部門 2	
¥600	1	フラット PLU 15	
¥500（キーに設定済み）	4	フラット PLU 15	

手順

1 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

[2]

2 設定された単価と異なる場合、その価格を入力して部門キーを押します。

1 2 0 0 [2]

3 フラット PLU キーも同様です。

6 0 0 [15]

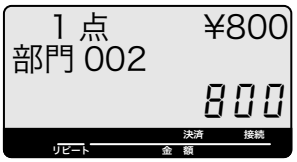
4 [×/日時] [15]

4 レシートを発行します。

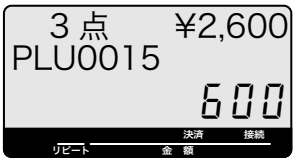
[小計]

5 0 0 0 [現/預]

表示例





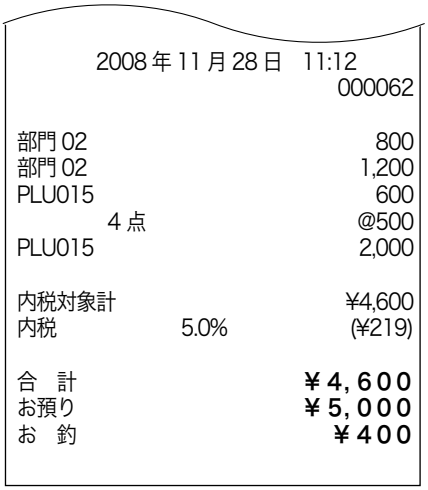








印字例



2008 年 11 月 28 日　11:12
000062

部門 02		800
部門 02		1,200
PLU015		600
4 点		@500
PLU015		2,000
内税対象計		¥4,600
内税	5.0%	(¥219)
合　計		**¥4,600**
お預り		**¥5,000**
お　釣		**¥400**

ポイント **商品が部門キーやフラット PLU キーに設定されているものと異なる単価の場合、その価格を入力してから部門キーやフラット PLU キーを押します。この場合でも設定されている単価は消えません。**

参照 単価設定の仕方（部門キー）▸▸▸ **65 ページ**
単価設定の仕方（ﾌﾗｯﾄ PLU キー）▸▸▸ **65 ページ**

単価 × 数量の順番で登録する（部門キーのみできます）

ご購入時の乗算登録は「数量」×「単価」の順に入力しますが、これを「単価」×「数量」の順で入力します。

例題

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1	¥10,000
¥160	5	部門 2	
¥500（キーに設定済み）	10	部門 3	

手順

1 単価を入力し、[×/日時] キーを押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0 [×/日時] **8** [1]

1 6 0 [×/日時] **5** [2]

2 設定単価を使用する場合は、
[×/日時] キーの前の単価入力は要りません。

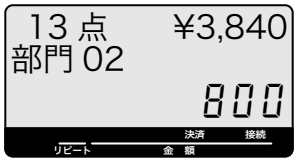
[×/日時] **1 0** [3]

3 レシートを発行します。
[小計]

1 00 00 [現/預]

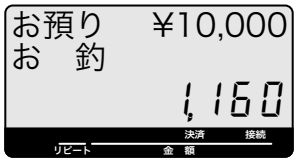
表示例



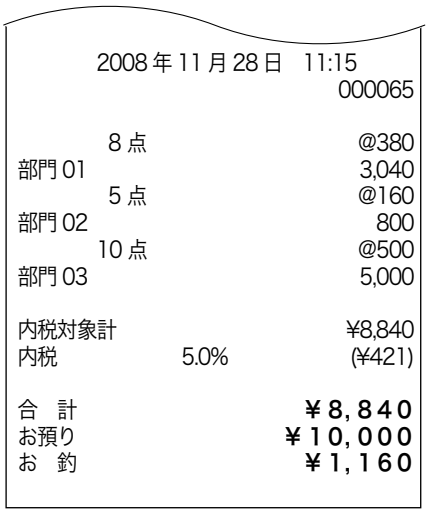








印字例



2008 年 11 月 28 日　11:15
000065

8 点		@380
部門 01		3,040
5 点		@160
部門 02		800
10 点		@500
部門 03		5,000
内税対象計		¥8,840
内税	5.0%	(¥421)
合　計		**¥8,840**
お預り		**¥10,000**
お　釣		**¥1,160**

参照 乗算の入力順番の設定 ››› 109 ページ

⚠注意 「単価」×「数量」の順番で乗算登録できるのは、部門キーだけです。
（フラット PLU キーは、「単価」×「数量」の操作はできません）
この機能を使用すると、「 PLU の乗算登録」、「スキャニング PLU の乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができません。

PLU の使い方

PLU とは？

設定されている商品単価や商品名を番号（品番など）を指定して呼出して登録する機能です。

部門登録： 商品単価を置数　⇒　該当部門キーを押すという手順　で

PLU 登録：PLU 番号を置数　⇒　PLU キーを押すという手順　　です。

PLU はプライス・ルック・アップの略で、

価格（プライス）を探して（ルック）登録する（アップ）という意味が有ります。

PLU 個々に売上金額と個数が集計されますので、商品単品の売上状況をつかむことができます。

PLU はお買い上げの状態で 2,500 本あります。このうち 2,200 本をスキャニング PLU として使用します。最初の 216 本をフラット PLU として使います。

⚠注意 各 PLU には登録に先立ち、単価を設定しておく必要があります。

参照 PLU への単価設定の仕方 ⋙ **65 ページ**
PLU への商品名の設定の仕方 ⋙ **73, 81 ページ**

PLU を使って登録する

例題

単　価	数 量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLU No. 200	¥10,000
¥150	12	PLU No. 150	
¥1,200	2	PLU No. 109	

手順

1 PLU 番号を入力し [PLU] キーを押します。設定単価を呼び出します。

2 [2][0][0] [PLU]

2 乗算登録は最初に個数を入力します。

2 [1][2] [×/日時] [1][5][0] [PLU]

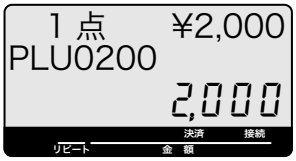
3 リピート登録は個数分 [PLU] キーを押します。

3 [1][0][9] [PLU] [PLU]

4 レシートを発行します。

4 [小計] [1][00][00] [現/預]

表示例

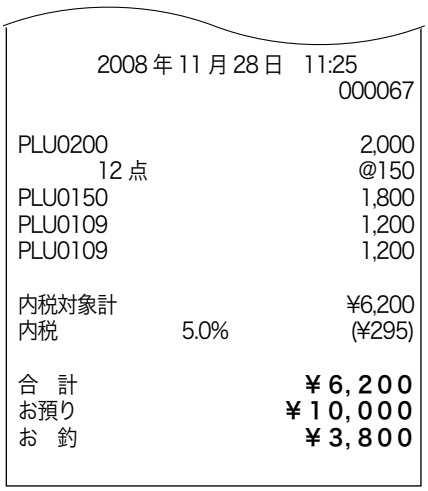








印字例



2008 年 11 月 28 日　11:25
000067

PLU0200		2,000
12 点		@150
PLU0150		1,800
PLU0109		1,200
PLU0109		1,200
内税対象計		¥6,200
内税	5.0%	(¥295)
合　計		**¥6,200**
お預り		**¥10,000**
お　釣		**¥3,800**

品番 PLU 機能とは？

品番 PLU は、同じジャンルの商品でありながらアイテムごとに異なる単価を持つもの（例えば精肉や鮮魚など、アイテムの重さで単価が異なるもの）の登録を行なうときに使用できます。
なお、品番 PLU を使うには PLU キーのほかに 金額 キーが必要です。
個々の PLU に「品番 PLU 」として使用するか / 使用しないかの設定があります。品番 PLU として使用するためには、該当 PLU は「品番 PLU として使用する」と設定していなければなりません。
登録の手順は、番号を入れて PLU キーを押し、その後に単価を入れて 金額 キーを押してはじめて登録が行なわれます。（単価を入れずに直接 金額 キーを押せば、設定されている単価で登録できます）

注意 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。
金額 キーは、お買い上げ時はキーボード上にありませんので、品番 PLU が必要な場合は設定してください。

参照 PLU への品番 PLU の設定 ››› 104 ページ
金額 キーなど、お店に必要なキーの設定 ››› 112 ページ

品番 PLU を使って登録する

例題

単　価	数 量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	PLU No. 303（品番 PLU 設定済み）	¥4,000
¥98	9	PLU No. 28（品番 PLU 設定済み）	
¥480（単価設定済み）	1	PLU No. 232（品番 PLU 設定済み）	

手順

1 品番を入力し PLU キー、単価 金額 キーを押します。

3 0 3 PLU 8 5 0 金額

2 リピート登録は個数分 金額 キーを押します。

金額

3 乗算登録では、最初に個数を入力します。

9 ×/日時 2 8 PLU 9 8 金額

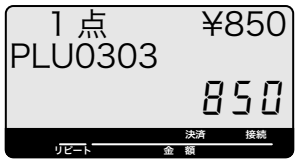
4 設定単価を使う場合は単価を入力せずに 金額 キーを押します。

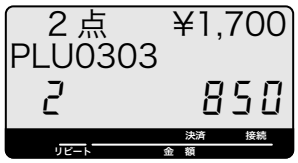
2 3 2 PLU 金額

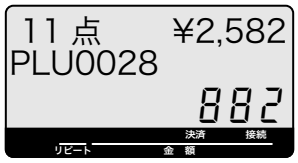
5 レシートを発行します。

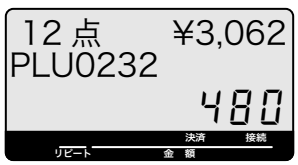
小計 4 0 0 0 現/預

表示例



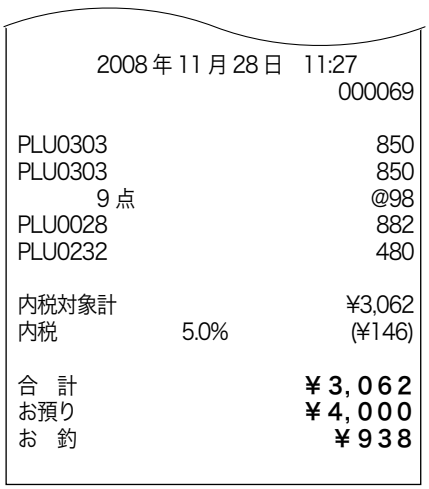








印字例



2008 年 11 月 28 日　11:27
000069

PLU0303		850
PLU0303		850
9 点		@98
PLU0028		882
PLU0232		480
内税対象計		¥3,062
内税	5.0%	(¥146)
合　計		**¥3,062**
お預り		**¥4,000**
お　釣		**¥938**

スキャニング PLU の使い方

スキャニング PLU をお使いいただくためには、バーコードスキャナの準備と情報センタとの契約（「スキャニングサービス」）が必要です。さらに「スキャニングサービス」を受けると、スキャニング PLU を自動学習したときに、その商品名称を情報センタで探して設定します。

注意 お取り扱いの商品の種類によっては、スキャニングサービスをご契約になっても、商品名を自動的に設定できないことがあります。

スキャニング PLU とは？

商品上に貼付されたバーコードラベルをスキャナで読取り、商品登録を行ないます。本機はお買い上げの状態で 2,200 本のスキャニング PLU を持っています。
スキャニング PLU を使うために、別売のスキャナを接続します。また、バーコードを読み取れなかった場合は、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入れて [PLU] キーを押します。
扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-8 PLU タイプ、JAN-13 PLU/NON-PLU タイプ、EAN-8/13 PLU タイプ、UPC-A PLU タイプ、UPC-E タイプのバーコードを扱うことができます。

ポイント **お買い上げの状態では、スキャニング PLU のバーコード情報はレシート、ジャーナル，レポートすべて印字しません。印字方法についてはお買い上げの代理店、またはお客様相談窓口までお問合せください。**

注意 スキャナの接続に関してはお買い上げの代理店、またはお客様相談窓口までお問合せください。

スキャニング PLU の自動学習機能

今までスキャニング PLU を使用する場合は、事前のスキャニング PLU マスタ登録（設定）が必要でした。しかし TK-5500/TK-6500 ではマスタ登録は不要です。設定されていないスキャニング PLU アイテムをスキャンしたときは、続けて単価と所属する部門キーを入力するだけで、その商品売上登録と同時にスキャニング PLU マスタに登録されます。
また、自動学習した商品の名前を情報センタのデータベースから探して設定します。もしデータベース上に無い場合は部門名を印字しますので、後ほどお客様ご自身で商品名の設定をしてください。

ポイント **設定されているスキャニング PLU の単価、または、部門を変更することもできます。**
スキャニング PLU の単価と部門の変更 ⋙ 65 ページ

スキャニング PLU マスタが一杯になると、最も古く登録されたスキャニング PLU を選び出して、新しく登録されたスキャニング PLU に置き換えられます。

注意 設定されていないスキャニング PLU アイテムをスキャンした場合、[C] キーを押さずに単価やリンク部門を入力してください。

スキャニング PLU 商品を売り上げる（新規登録：未学習）

例題

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A（未設定、部門 3）	¥5,000
¥760	4	商品 B（未設定、部門 3）	

手順

1 商品 A のバーコードをスキャニングします。
(スキャニング)

2 ガイダンスに従い、単価を入れて登録したい部門キーを押します。

5 7 0 [3]

3 乗算登録では、商品 B の数量を入れ [×/日時] キーを押してスキャニングします。

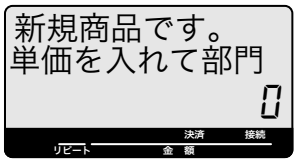
4 [×/日時] **(スキャニング)**

4 ガイダンスに従い、単価を入れて部門キーを押します。

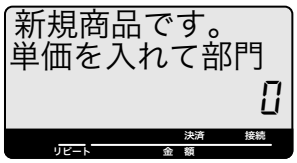
7 6 0 [3]

5 レシートを発行します。
[小計] 5 0 0 0 [現/預]

表示例



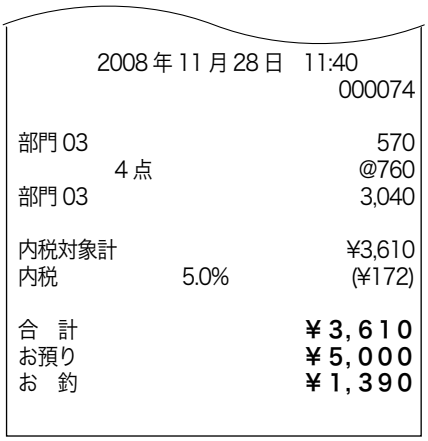








印字例



2008 年 11 月 28 日　11:40
000074

部門 03		570
4 点		@760
部門 03		3,040
内税対象計		¥3,610
内税	5.0%	(¥172)
合　計		**¥ 3,610**
お預り		**¥ 5,000**
お　釣		**¥ 1,390**

スキャニング PLU 商品を売り上げる（既存：学習済み）

例題

単　価	数 量	スキャニング登録	預かり金
¥760	1	商品 B（設定済み、部門 3）	¥3,000
¥850	2	商品 C（設定済み、部門 4） コード番号 4905360102547	

手順

1 スキャニングすると登録が行なわれます。
(スキャニング)

2 スキャナで読めない場合、バーコードを入力し [PLU] キーを押します。

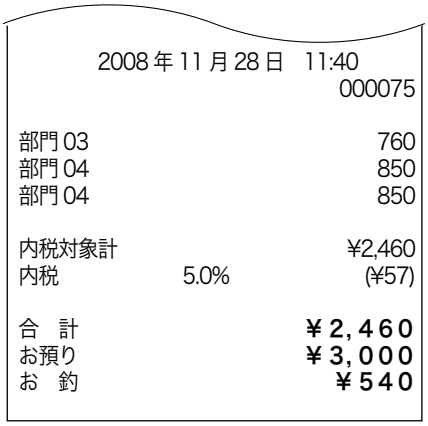
4 9 0 5 3 6 0 1 0 2 5 4 7 [PLU]

3 リピート登録は個数分、[PLU] キーを押します。

[PLU]

4 レシートを発行します。
[小計] 4 0 0 0 [現/預]

印字例



2008 年 11 月 28 日　11:40
000075

部門 03		760
部門 04		850
部門 04		850
内税対象計		¥2,460
内税	5.0%	(¥57)
合　計		**¥ 2,460**
お預り		**¥ 3,000**
お　釣		**¥ 540**

NON-PLU について

モードスイッチの位置
登録

●お買い上げ後の NON-PLU テーブルには以下の内容が設定されています。

ﾒﾓﾘ番号	ﾌｧｲﾙ番号	設定数値	備考
1	40	3013 030000 02 2100	雑誌コード（JAN-13)　頭フラグ：10　3% 税込み
2	40	2013 000000 02 2110	雑誌コード（JAN-13)　頭フラグ：11　5% 税込み
3	40	4000 000000 00 3978	書籍コード 1 段目（JAN-13)　頭フラグ：978
4	40	6005 030000 03 3191	書籍コード 2 段目（JAN-13）　頭フラグ：191　3% 税込み
5	40	5005 000000 03 3192	書籍コード 2 段目（JAN-13）　頭フラグ：192　税なし
6	40	7004 000000 03 3491	雑誌コード 価格コード付き（JAN-13)　頭フラグ：491

◆ NON-PLU のバーコードについて

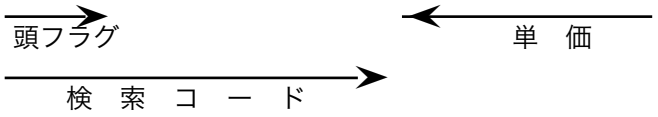
●コード内に価格情報が入っているバーコードを「NON-PLU タイプのバーコード」と言います。

● NON-PLU タイプのバーコードは、頭フラグ関連、単価関連、検索コード関連の 3 つの部分より成り立っており、それぞれの詳細を「NON-PLU テーブル」に設定します。

● NON-PLU タイプのバーコードを NON-PLU テーブルに設定する場合の情報は以下の通りです。

◇ NON-PLU タイプのバーコードの基本フォーマット

$$F_1\ F_2\ I_1\ I_2\ I_3\ I_4\ I_5\ C_P\ P_1\ P_2\ P_3\ P_4\ C$$



・頭フラグ関連 ： 頭フラグの桁数とその数値

・単　価　関　連 ： 単価の頭 1 桁目にプライスチェックデジットが有るか無いか、単価の桁数は、
単価はコード数値の何倍か（1 倍、10 倍、100 倍)、
単価が税込みの場合に、本体価格を算出するための税率、税額再計算のための端数処理方法

・検索コード関連 ： 検索コードの桁数（ここで定義された桁数分が、スキャニング PLU アイテムの固有コードとしてスキャニング PLU ファイルに覚え込まれます）

◇ 雑誌コード (価格コード付き）の場合 : 2004 年 6 月 1 日以降実施

・頭フラグ ：　3 桁で “491”

・単　価 ：　単価はアドオンコード部の情報を使用する。単価は税抜きであるので、消費税計算が必要である。また、単価エリアがオール 0 である場合は単価をレジ担当者が入力する。

・検索コード ：　検索コードの桁数は 3 桁

◇ 書籍コードの 2 段目の場合

・頭フラグ ：　3 桁で “191” か “192”

・単　価 ：　単価の桁数は 5 桁、プライスチェックデジットは無し、単価はコード数値を 1 倍にする
○ 頭フラグ “191” は、3% の税込みなので、5% に再計算するために NON-PLU のタイプを書籍の税額再計算にし、税率 3% を設定します。⇒ この商品は「外税」の部門へリンク
○ 頭フラグ “192” は、税抜き価格なので、再計算は不要。⇒ この商品は「外税」の部門へリンク

・検索コード ：　検索コードの桁数は 3 桁（書籍を細かく分類したい場合は、この桁数を増やしてください）

◇ 雑誌コードの場合

・頭フラグ ：　2 桁で “10” か “11”

・単　価 ：　単価の桁数は 3 桁、プライスチェックデジットは無し、単価はコード数値を 10 倍にする
○ 頭フラグ “10” は、3% の税込みなので、5% に再計算するために NON-PLU のタイプを雑誌の税額再計算にし、税率 3% を設定します。⇒ この商品は「外税」の部門へリンク
○ 頭フラグ “11” は、5% 税込みなので、再計算は不要。税込みの雑誌にします。
⇒ この商品は「内税」の部門へリンク

・検索コード ：　検索コードの桁数は 2 桁（雑誌を細かく分類したい場合は、この桁数を増やしてください）

コード印字（不加算印字）の使い方

不加算印字キーを使う

お買い上げ金額に関係のない伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号などの数値を印字したい場合、その数値を入れたあとで [#/替] キーを押します。
これを《不加算印字》と言います。（数値は最大 16 桁まで印字できます）

例題

お客様番号 <1001> に下記の商品を売る

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1	¥20,000
¥3,500	1	部門 3	
¥8,800（商品コード 53344830）	1	部門 2	

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1 0 0 1 [#/替]

1 2 3 0 [1]

3 5 0 0 [3]

2 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

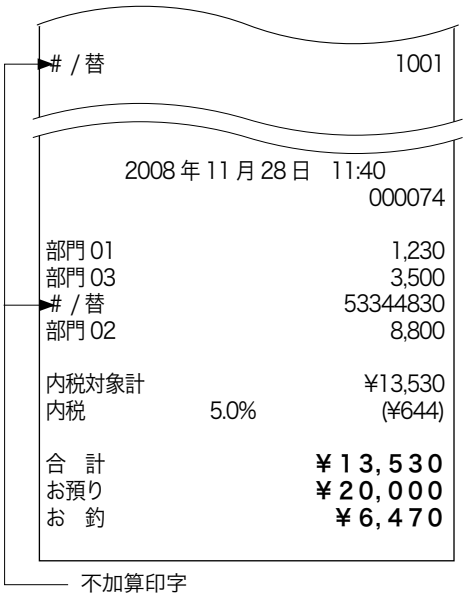
5 3 3 4 4 8 3 0 [#/替]

8 8 0 0 [2]

3 レシートを発行します。

[小計] 2 00 00 [現/預]

印字例



万円キー / レシート発行キーの使い方

モードスイッチの位置 登録

万円キーを使う

万円 キーは、1万円札のお預かりが有ったときに使用します。
何枚か1万円札を受け取った場合、その枚数を 万円 キーの前に入力します。また、1万円未満の金額は 万円 キーに続いて入力します。

例題

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門 3	¥30,600
¥20,550	1	部門 4	

ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録を行います。
1 00 00 3
2 0 5 5 0 4

2 預かり金を入力します。
小計 3 万円 6 0 0 現/預

ポイント ドロア内にあるべき1万円札の枚数を、点検 / 精算レポート上の万券枚数で示します。万円 キーを商品登録にも使用できます。

ポイント ご使用いただくためにはキーボードに 万円 キーを作成していただく必要があります。

参照 万円 キーをキーボード上に設定 ▸▸▸ 112 ページ

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:44
000176

部門 03		10,000
部門 04		20,550
内税対象計		¥30,550
内税	5.0%	(¥1,455)
合　計		**¥30,550**
お預り		**¥30,600**
お　釣		**¥50**

レシート発行キーを使う（後レシート）

お客様からレシートを要求されたときだけ、レシートを発行したい場合は、レシートスイッチを「停止」にしておき、要求されたときに レシート発行 キーを押してレシートを発行します。

例題

レシートスイッチ「停止」で、下記の登録後にレシートを発行する。

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門 2	¥1,500
¥550	1	部門 4	

ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録を行い、取引を終了します。
5 ×/日時 1 5 0 2
5 5 0 4
小計 1 5 0 0 現/預

2 レシート発行 キーを押して後レシートを発行します。
レシート発行

注意 お買い上げの状態では、レシートを発行した取引の後レシートは発行できません。発行方法についてはお買い上げの代理店、またはお客様相談窓口までお問合せください。

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:47
000178

5 点		@150
部門 02		750
部門 04		550
内税対象計		¥1,300
内税	5.0%	(¥62)
合　計		**¥1,300**
お預り		**¥1,500**
お　釣		**¥200**

時刻や日付の表示 / 担当者の指定と解除

時刻と日付を表示する

[×/日時] キーを押すと時刻と日付を表示します。（登録や戻モードでレシートを発行した状態のときに可能です）
時刻や日付を表示していて他の操作を始める場合は、まず [C/AC C] キーを押して時刻 / 日付の表示を消します。

手順

1 日付・時刻を確認します。
[×/日時]

2 日付・時刻表示を解除します。
[C/AC C]

参照 時刻・日付の修正 → 60 ページ

表示例



年 - 月 - 日
時（24 時間制）- 分
1 秒ごとの点滅



印字例

（これらの操作で印字はしません）

担当者の指定や解除をする

お買い上げの状態では、担当者の指定をする必要はありません。しかし、レシート上に担当者名を印字したい / 担当者別売上をとりたい、などの要望がある場合は「担当者を使用する」設定をしてください。この設定をすると、登録時に担当者の指定をしなければなりません。

例題

① 担当 -A を指定（サインオン）する。
② 担当 -A を解除（サインオフ）する。
③ 担当 -B を指定（サインオン）する。

手順

1 担当者 -A の番号（お買い上げ時は 0001）を入力し、担当者キーを押します。

0 0 0 1 [担当者]

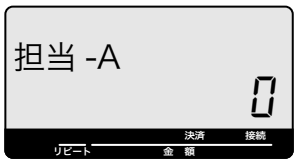
2 "0" を入力し、担当者キーを押します。

0 [担当者]

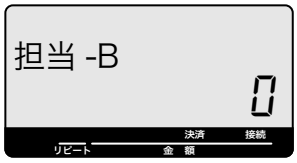
3 担当者 -B の番号（お買い上げ時は 0002）を入力し、担当者キーを押します。

0 0 0 2 [担当者]

表示例







印字例

（これらの操作では印字しません）

サインオンすると、表示窓に担当者名を表示し、商品登録ができるようになります。

サインオフすると、担当者の指定が解除されて商品登録できなくなります。

別の担当者をサインオンする前に、サインオンされていた担当者をサインオフします。

ポイント
担当者を使用する。 ››› 82 ページ
担当者番号を変更する。 ››› 110 ページ
担当者名を変更する。 ››› 82 ページ
表示窓に出てくる担当者番号を表示したくない場合は、担当者番号入力の前に担当者キーを押します。

入金キー / 出金キーの使い方

モードスイッチの位置
登録

入金キーを使う

貸し売り代金の受取や釣銭用小銭の補充などで、売上ではない現金の入金（現金をドロアに入れること）が有った場合に、入金 キーで登録を行ないます。

例題

釣り銭準備として、8000 円をドロアに入れる。

手順

1 入金額を置数して 入金 キーを押します。

8 0 0 0 入金

ポイント **入金処理をすることで、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。**

印字例

2008 年 11 月 28 日　11:52
000081
入金　**¥8,000**

出金キーを使う

集金や、ドロアが一杯になったときなどで、売上（お釣りや両替）とは関係のない現金の出金（現金をドロアから出すこと）が有った場合に、出金 キーで登録を行ないます。

例題

1 万円札を 15 枚、ドロアから金庫に移す。

手順

1 出金額を置数して 出金 キーを押します。

1 5 00 00 出金

ポイント **出金処理をすることで、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。**

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:04
000088
出金　**¥150,000**

値引きキーの使い方

値引きを行なう

商品の値引き、または合計の値引きが発生した場合は [－] キーで登録します。

例題

単　価	数 量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 商品を登録します。

1000 [1]

2500 [3]

2 値引きを行います。

500 [－]

3 レシートを発行します。

[小計] 5000 [現/預]

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:18
000093

部門 01		1,000
部門 03		2,500
–		-500
内税対象計		¥3,000
内税	5.0%	(¥143)
合　計		**¥3,000**
お預り		**¥5,000**
お　釣		**¥2,000**

ポイント **[－] キーに、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、値引き金額を入れると設定された金額によらず、その金額で値引きを行ないます。**

参照 [－] キーへの値引き金額の設定 ⋙ **66 ページ**

割引きキーの使い方

モードスイッチの位置
登録

それぞれの商品金額ごとに割引きをする

商品の割引きが発生した場合は、割引き対象商品登録のすぐ後に [%−] を操作します。

例題

単　価	数 量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5%（設定済み）	¥5,000
¥2,500	1	部門 3	7.5%	

ポイント　部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 [%−] キーを押すと直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

[1][0][0][0][1]

[%−]

2 [%−] キーの直前に割引率を入力することもできます。

[2][5][0][0][3]

[7][•][5][%−]

3 レシートを発行します。

[小計][5][0][0][0][現/預]

参照　次節「合計金額から割引きをする」のポイントや参照をお読みください。

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:20
000095

部門 01		1,000
%−	-5%	-50
部門 03		2,500
%−	-7.5%	-188
内税対象計		¥3,262
内税	5.0%	(¥155)
合　計		¥3,262
お預り		¥5,000
お　釣		¥1,738

合計金額から割引きをする

合計金額の割引きが発生した場合は、小計キーのすぐ後に [%−] を操作します。

例題

単　価	数 量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		

ポイント　部門キーの代わりにフラット PUL キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録をおこないます。

[1][0][0][0][1]

[2][5][0][0][3]

2 [小計] キーを押してから [%−] キーを押します。

[小計][1][0][%−]

3 レシートを発行します。

[小計][5][0][0][0][現/預]

参照
[%−] キーへの割引き率の設定 ▸▸▸ 66 ページ
[%−] キーの端数処理の設定 ▸▸▸ 109 ページ
[%−] キーをキーボード上に設定 ▸▸▸ 112 ページ

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:22
000096

部門 01		1,000
部門 03		2,500
小計		¥3,500
%−	-10% ＊	-350
内税対象計		¥3,150
内税	5.0%	(¥150)
合　計		¥3,150
お預り		¥5,000
お　釣		¥1,850

ポイント　[%−] キーには、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。使用例は割引ですが、[%+] キーを用いた割増しの操作もこれと同じです。

ポイント　ご使用いただくためにはキーボードに [%+] キーを作成していただく必要があります。

さかのぼり訂正の使い方

商品登録中に何行か前のまちがいを訂正する

登録の途中で、同じレシートの中の何行か前の登録を訂正する（さかのぼり訂正する）場合、戻 キーを用います。

例題

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥960	1	部門 4	¥4,000
¥2,800	1	部門 4	

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 商品登録をおこないます。

9 9 0 4

2 8 0 0 4

2 最初に登録した商品の単価の間違いに気づき、さかのぼり訂正をします。

戻 9 9 0 4

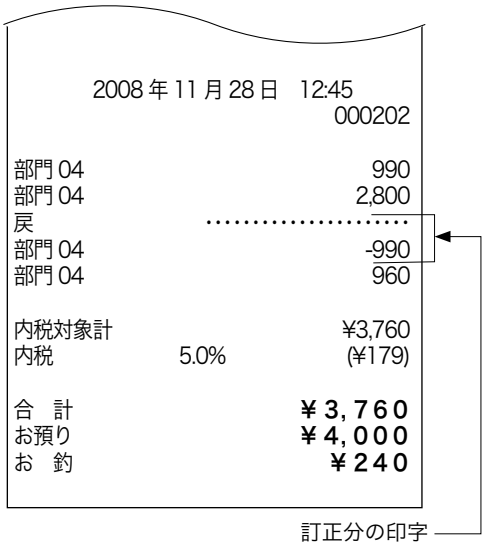
3 正しい単価で登録し直します。

9 6 0 4

4 レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 現/預

印字例



ポイント **さかのぼり訂正は、戻 キーを押したあとに、まちがえた登録内容と同じ操作をします。その後、正しい登録を行ないます。**

10 円丸め・5円丸めの使い方

10 円丸めする（合計の 10 円未満の端数を丸める）

合計金額を、「10 円単位」に丸めて《自動値引き》します。「5 円単位」の丸めも可能です。

例題

< １０円未満の端数値引き > で、下記の商品を売る

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥1,281	1	部門 4	¥10,500
¥1,502	1	部門 1	
¥2,380	1	部門 2	

ポイント　**部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 例に合わせて商品登録をおこないます。

1 2 8 1 4

1 5 0 2 1

2 3 8 0 2

2 端数を丸めて合計処理がおこなわれます。

小計 1 0 5 0 0 現/預

印字例

2008 年 11 月 28 日　12:50
000203

部門 04		1,281
部門 01		1,502
部門 02		2,380
内税対象計		¥5,163
内税	5.0%	(¥246)
丸め前の金額 → 小計		¥5,163
丸め値引き額 → サービス		-3
丸め後の金額 → 合　計		**¥ 5, 1 6 0**
お預り		**¥ 1 0, 5 0 0**
お　釣		**¥ 5, 3 4 0**

ポイント　**「10 円丸め」は、１円の位が「１～９→０円」に丸められます。**
「5円丸め」は、１円の位が「１～４→０円」に、「５～９→５円」に丸められます。
どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」され、レシートに「サービス金額」として印字されます。また点検 / 精算レポートに「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは「サービス金額」は印字しません。

参照　5円丸めまたは 10 円丸めの設定 ➠ **66 ページ**
日計明細で丸め合計の印字の設定 ➠ **93 ページ**

券売キー / 信用売キーの使い方

商品券での支払いを受けた

商品券（券売り）で売上を行なう場合は、[券] キーを押します。

例題

下記の商品を 5,000 円（500 円× 10 枚）に **< 商品券 >** の支払いがあった

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2	¥500 × 10 枚の商品券

（[券] キーには ¥500 が設定済み）

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

[2][3][8][0] [2] [小計]

2 商品券額を入力し [券] キーを押します。乗算処理もできます。

[1][0] [×/日時] [券]

ポイント **お店でよく使われる商品券の券面金額を、あらかじめ [券] キーに設定しておけば、上例のような操作ができます。**
なお、金額を入れてから [券] キーを押せば、その金額が預かり商品券の金額になります。

参照 [券] キーへ、よく使われる商品券の券面金額の設定 ▸▸▸ **66 ページ**

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:37
000208

部門 02		2,380
部門 02		2,380
内税対象計		¥4,760
内税	5.0%	(¥227)
合　計		**¥4,760**
券		**¥5,000**
お　釣		**¥240**

《券売り》の預かり額

クレジットカードまたは iD での支払いを受けた

クレジットカードで売上を行なう場合は、[クレジット/決定] キーを押します。
iD で売上を行なう場合は、[iD] キーを押します。

例題

下記の商品を **< クレジットカード >** で売る

単　価	数 量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1	なし（クレジット）

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

[3][5][0][0][0] [1] [小計]

2 [クレジット/決定] キーを押します。

[クレジット/決定]（KT-10 が接続されていなければ、これで終了です）

※　iD の場合は [クレジット/決定] キーの代わりに [iD] キーを押します。
（KT-10 が接続されていない場合、iD はお取り扱いできません）

参照 KT-10 が接続されている場合は ▸▸▸ KT-10 取扱説明書 参照

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:40
000210

部門 01		35,000
内税対象計		¥35,000
内税	5.0%	(¥1,667)
ｸﾚｼﾞｯﾄ		**¥35,000**

信用売り

注意 KT-10 が接続されていない場合は、別途インプリンタなどを用いてクレジット処理をしてください。
KT-10 の接続には、KT-10 本体およびクレジット決済に関する契約が必要です。
KT-10 が接続されている場合は、レシートの前にクレジット伝票を発行します。

組み合わせた売上のやり方

一部現金、一部商品券などでの支払いを受けた

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせが可能です。

例題

下記の商品を **< 分割処理 >** で売る

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2	商品券 ¥5,000 現　金 ¥1,500
¥3,820	1	部門 1	

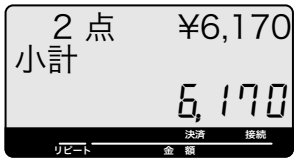
ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

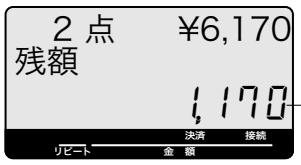
2 3 5 0 [2] 3 8 2 0 [1]

[小計]



2 商品券の預かり金額を入れて [券] キーを押します。

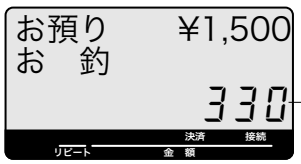
5 0 0 0 [券]



商品券分を引いた残額

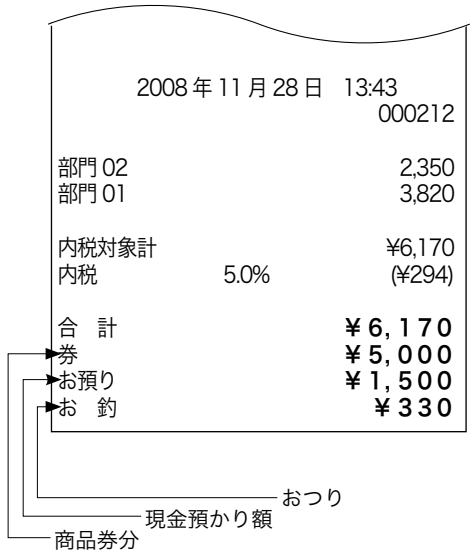
3 現金の預かり金額を入れて [現/預] キーを押します。

1 5 0 0 [現/預]



おつり

印字例



ポイント **現金払いだけのお店の場合、現金の預かり不足を知らせる設定（ ⋙ 107 ページ）をして、操作ミスを防いでください。**

奉仕料を徴収する

奉仕料を含めて計算する

奉仕料計算が必要なお店は、「奉仕料を計算する」に設定します。同時に奉仕料の料率や端数処理方法なども設定します。（お買い上げの状態では、奉仕料は計算しません）

例題

下記の商品を **奉仕料を計算して**登録する（客数を２名とする）

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門 1	10%（設定済み）	¥20,000
¥3,500	1	部門 2		

ポイント **部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。**

手順

1 客数を入力します。

2 客数

2 商品登録をおこないます。

5 5 0 0 1 1 **3 5 0 0** 2

3 奉仕料が自動的に計算されます。

小計 **2 00 00** 現/預

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:50
000215

部門 01		5,500
部門 01		5,500
部門 02		3,500
お客様		2
奉仕料		¥1,450
内税対象計		¥15,950
内税	5.0%	(¥760)
合　計		**¥15,950**
お預り		**¥20,000**
お　釣		**¥4,050**

奉仕料額
人数（客数）

注意 ここで登録された客数は、日計明細レポート上に集計されます。客数を入力しなくても、奉仕料計算を行なうことができます。

参照 奉仕料の計算の設定 ››› **111 ページ**
客数 キーをキーボード上に設定 ››› **112 ページ**
客数の入力を忘れないために、客数入力の強制の設定 ››› **92 ページ**

在高申告を行なう

在高申告とは、点検や精算の前にドロア内の金銭の合計額を勘定してレジスターに申告（登録）することです。点検や精算レポートを見る前に申告することで、ドロアにある金額とレジで登録された合計の差額をピンハネするような不正操作を防ぐことができます。

在高申告を行なう

在高申告は、現金 / 商品券 / 掛け売り伝票などの金種ごとに行ないます。それぞれの金種ごとの合計額を登録しますが、現金は、１万円札枚数、５千円札枚数、‥100 円硬貨枚数、･･･１円硬貨枚数の順に枚数で登録します。（設定によって、明細を入力せずに合計金額だけ登録することもできます）

例題

以下の在高申告を行なう

金種	数 量
現金１万円札	15
現金５千円札	4
現金２千円札	0
現金千円札	30

金種	数 量
現金 500 円硬貨	14
現金 100 円硬貨	30
現金 50 円硬貨	28
現金 10 円硬貨	53

金種	数 量
現金５円硬貨	3
現金１円硬貨	0
商品券合計 5000 円	1

手順

1 在高申告キーを押します。

[在高申告]

2 ガイダンスに従って、１万円札の枚数を入力します。

[1] [5]

3 現金キーを押します。

[現/預]

4 ステップ２と３を１円硬貨まで繰り返します。

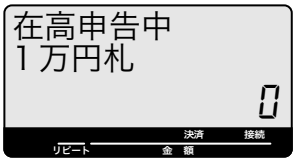
5 商品券合計金額を入力し、券キーを押します。

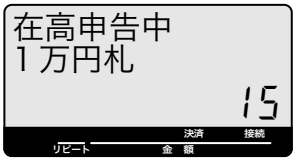
[5] [0] [0] [0] [券]

6 在高申告キーを押します。

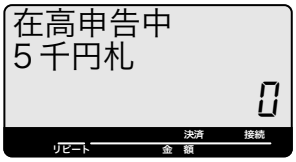
[在高申告]

表示例



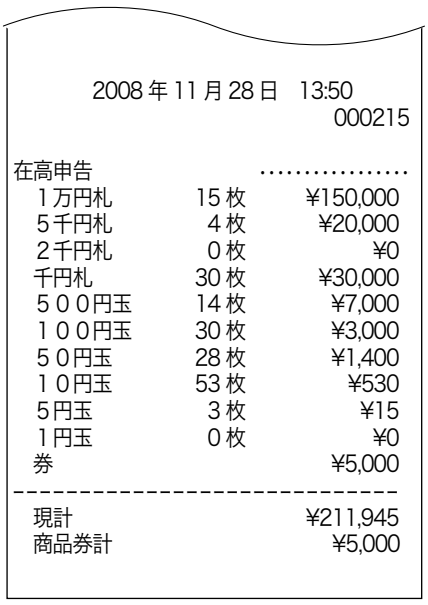








印字例



2008 年 11 月 28 日　13:50
000215

在高申告		
１万円札	15 枚	¥150,000
５千円札	4 枚	¥20,000
２千円札	0 枚	¥0
千円札	30 枚	¥30,000
５００円玉	14 枚	¥7,000
１００円玉	30 枚	¥3,000
５０円玉	28 枚	¥1,400
１０円玉	53 枚	¥530
５円玉	3 枚	¥15
１円玉	0 枚	¥0
券		¥5,000
現計		¥211,945
商品券計		¥5,000

⚠注意 在高申告の結果は、日計明細レポート上に印字されます。

飲食店向け機能の使い方

TK-5500/TK-6500 は、テーブル別売上管理機能（チェックトラッキング機能）を持っています。テーブルごとのオーダー登録や追加登録、仮締め、伝票の分割（別々会計）などを行なえます。また、取引の終了時にその取引の登録商品の食券を自動的に発行することもできます。（飲食店向けの機能を使う場合は、いろいろな設定が必要になりますので、販売店にご相談ください）

新しく伝票を登録する

新しくテーブルに着いたお客様から注文を受けた場合、伝票番号キーで新しい伝票番号を指定してから、登録を始めます。（伝票番号として、従来からお使いの紙に印刷された伝票個々の番号やお店のテーブルに振られた番号が使用できます）

例題

新規のお客様４名様を **伝票番号１２３４** でオーダーを登録した

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥10,000	1	部門 1	仮締め

手順

1 伝票番号を入力します。
1 2 3 4 [伝票番号]

2 客数を入力します。
4 [客数]

3 オーダーを登録します。
1 00 00 [1]

4 仮締めキーを押します。
[仮締め]

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:50
000215
伝票 No.:　1 2 3 4

お客様　4
部門 01　10,000

仮締め　**¥10,000**

伝票に追加登録する

お客様からの追加注文を受けた場合、伝票番号キーでお客様の伝票番号を指定して、先に登録した内容を呼出し、追加登録したり、支払いを行ないます。

例題

伝票番号 1234 のお客様の追加オーダーを登録し，取引を終了した。

単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	預かり金
¥20,000	1	部門 2	¥30,000

手順

1 伝票番号を入力します。
1 2 3 4 [伝票番号]

2 オーダーを登録します。
2 00 00 [2]

3 取引を終了します。
3 00 00 [現/預]

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:50
000215
伝票 No.:　1 2 3 4

小計　¥10,000

部門 02　20,000

内税対象計　¥30,000
内税　5.0%　(¥1,429)

合　計　**¥30,000**
お預り　**¥30,000**
お　釣　**¥0**

別々会計（伝票分割）を行なう

1 枚の伝票を複数人で支払う場合に別々会計を使います。

例題

伝票番号 4321 のお客様の登録のうち、①と③のアイテムの支払いを先に行なう。

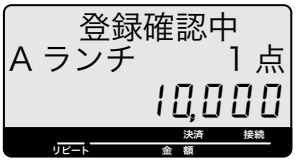
	単　価	数 量	部門キー / ﾌﾗｯﾄ PLU キー	支払い
①	¥10,000	1	A ランチ	先に支払い
②	¥20,000	1	B ランチ	仮締め
③	¥15.000	2	C ランチ	1 個だけ先に支払い
④	¥30,000	1	D ランチ	仮締め

手順

1 右の別々会計前の登録が行なわれました。

2 伝票番号を入力します。

4 3 2 1 [別々会計]



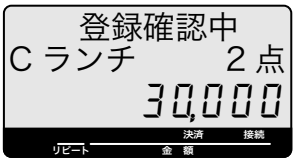
3 ①のアイテムを分割します。

[別々会計]



4 ②のアイテムを表示しているので、登録確認キーを押して、次の③アイテムを表示します。

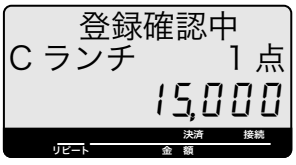
[登録確認]



5 ③のアイテムを表示しているので、別々会計キーを押して、このアイテムを分割します。

1 [別々会計]

（先の置数は分割される個数です）



6 仮締めキーを押して、別々会計から抜けます。

[仮締め]



7 分けた①と③の取引を終了します。

3 00 00 [現/預]



右の別々会計後のレシートが発行されます。

8 同じ伝票の次の支払いのために別々会計キーを押します。

[別々会計]（この場合は、伝票番号の入力は不要です）

同じ伝票のすべての支払いが済むまで、繰り返します。

印字例

2008 年 11 月 28 日　13:50
000215
伝票 No.: 4 3 2 1

A ランチ		10,000
B ランチ		20,000
	2 点	@15,000
C ランチ		30,000
D ランチ		30,000
仮締め		**¥90,000**

（別々会計前の登録）

2008 年 11 月 28 日　13:50
000215

別々会計		1234
A ランチ		10,000
	1 点	@15,000
C ランチ		15,000
内税対象計		¥25,000
内税	5.0%	(¥1,429)
合　計		**¥25,000**
お預り		**¥30,000**
お　釣		**¥5,000**

（別々会計後のレシート）

点検と精算の操作と印字例（1 / 3）

●点検

○ 点検とは、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを「確認したい」ときに行なう操作です。（点検しても合計は消えません）

○ オーナーキーをモードスイッチに挿し、モードスイッチを「点検」に回します（右図参照）。
表示窓に“点検”文字が表示されます。
以下のキー操作を行ない、レポートを発行します。
点検の印字シンボルは“ **X** ”です。

●精算

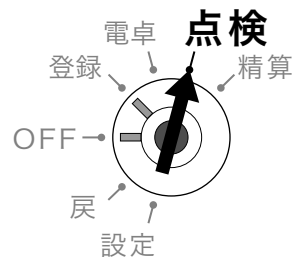
○ 精算とは、一日の終わりや期間満了日の営業終了後に、売上合計や時間帯、価格帯別などの合計を確認し、リセットする操作です。

○ オーナーキーをモードスイッチに挿し、モードスイッチを「精算」に回します（右図参照）。
表示窓に“精算”文字が表示されます。
以下のキー操作を行ない、レポートを発行します。
精算の印字シンボルは“ **Z** ”です。

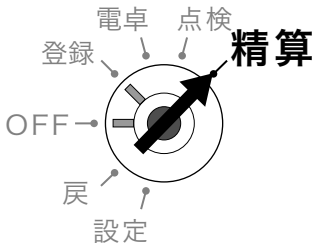
レポート発行操作について

C/AC C キーを押して、“点検”または“精算”の文字が表示されることを確認します。
以下の表から、希望するレポートのキー操作を実行します。
（日計明細の内容は、固定合計器、取引キー、部門、グループ別、時間帯、PLU が順に印字されます）

レポート名称	日計のキー操作	期間集計 1 のキー操作	
日計明細	点検 / 精算とも：現/預	1 0 0 現/預	
担当者	点検：1 7 現/預　精算：9 9 9 9 9 1 7 現/預	1 1 7 現/預	
月間日別	点検：2 0 現/預　精算：9 9 9 9 9 2 0 現/預	なし	
売上 / 在高	×/日時	なし	
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に 小計	なし	
フラット PLU 個別	点検したいフラット PLU キーを押す、、、最後に 小計	なし	
PLU 個別	点検したい PLU のコードを置数し PLU を押す、、、最後に 小計	なし	
スキャニング PLU 個別	点検したいアイテムをスキャン、、、最後に 小計	なし	
グループ別 PLU	6 6 現/預 に続いて点検したいグループ番号 現/預、、、最後に 小計	なし	



モードスイッチ



モードスイッチ

集計名称とその内容

● 日計明細
1日の最後に必ず精算します。日計明細には以下の項目が含まれています。
○ 固定合計器：売上総額やドロア内の現金在高、税額総計などを知ることができます。
○ 取引キー：現金、掛け、商品券、クレジット等や割引き、値引き、入出金などを知ることができます。
○ 部門：部門キーや数個のﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）を部門にまとめた合計を知ることができます。
○ グループ：数個の部門またはﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）をグループにまとめた合計を知ることができます。
○ 時間帯：どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。
○ PLU：PLU（ﾌﾗｯﾄ PLU キー）/ スキャニング PLU 個々の商品別の売上金額と売上数量を知ることができます。

● 月間日別
1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。

● 担当者
担当者別の売上、現金在高などを知ることができます。

● 期間集計1
ある期間分（週単位や月単位など）の売上状況がそれぞれ求められます。

● 期間集計2
期間集計1とは異なる期間（キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など）の売上状況がそれぞれ求められます。

● 個別点検
部門や PLU 個々の売上金額を印字します。個別点検できるのは、各部門キー、各 PLU アイテム、各フラット PLU キー、各スキャニング PLU アイテムです。

● グループ別 PLU 点検
PLU をあらかじめ設定したリンクグループに分けて売上金額を印字します。あるグループ（商品群）を指定して、売上動向を見ることができます。

ポイント **グループ集計は「部門」または「ﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。**
各項目の「構成比」を求める場合は、「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。

参照 部門のグループ設定 ▸▸▸ 100 ページ
ﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）のグループ設定 ▸▸▸ 103 ページ
売上構成比の印字の設定 ▸▸▸ 91 ページ

	期間集計2のキー操作	備考	参照ページ
	200 現/預		32, 60
	217 現/預		60
	なし		61
	なし	点検のみ	58
	なし		58
	なし		59
	なし		59
	なし		58
	なし	点検のみ	59

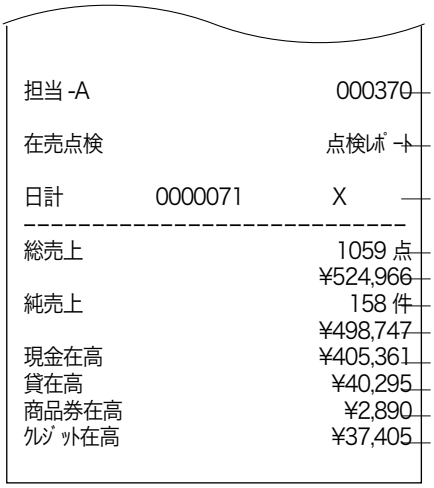
点検と精算の操作と印字例（2/ 3）

売上 / 在高の点検

手順

1 モードスイッチを点検にします。
2 [×/日時] キーを押します。
[×/日時]

印字例



スキャニング PLU 個別の点検

手順

1 モードスイッチを点検にします。
2 点検したいスキャニング PLU をスキャンし（またはコード番号を入力して [PLU] キーを押し) ます。
3 [小計] キーを押します。

部門個別の点検

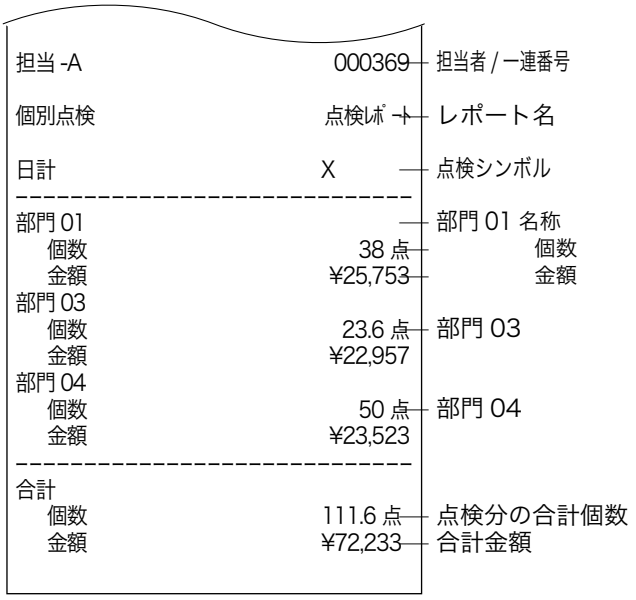
例題

部門 1 、3 、4 の売上金額を確認する

手順

1 モードスイッチを点検にします。
2 点検したい部門キーを押します。
[1] [3] [4]
3 [小計] キーを押します。
[小計]

印字例



※長いレポートを途中で
止めたい場合は……

[強制解除] キーを 2 回続けて押します。
（止まるまで数秒かかるときもあります）

ﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）個別の点検

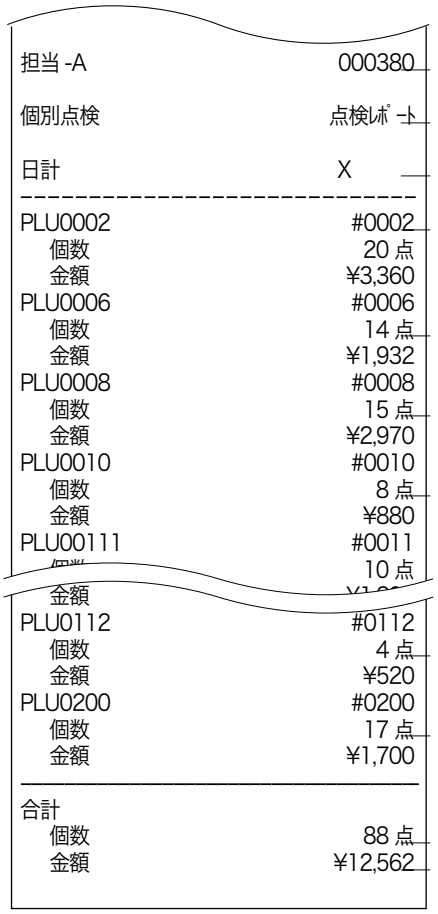
例題

ﾌﾗｯﾄ PLU キー 2、6、8、10 および PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

手順

1 モードスイッチを点検にします。
2 点検したいﾌﾗｯﾄ PLU キーを押します。
[2] [6] [8] [10]
3 PLU コードを入力して [PLU] キーを押します。次の PLU を点検するときはコードを入力せずには [PLU] キーを押します。
[1][1][1] [PLU] [PLU]
[2][0][0] [PLU]
4 [小計] キーを押します。
[小計]

印字例



※ PLU No. は、設定により印字します。印字方法についてはお買い上げの代理店、またはお客様相談窓口までお問合せください。

グループ別 PLU の点検

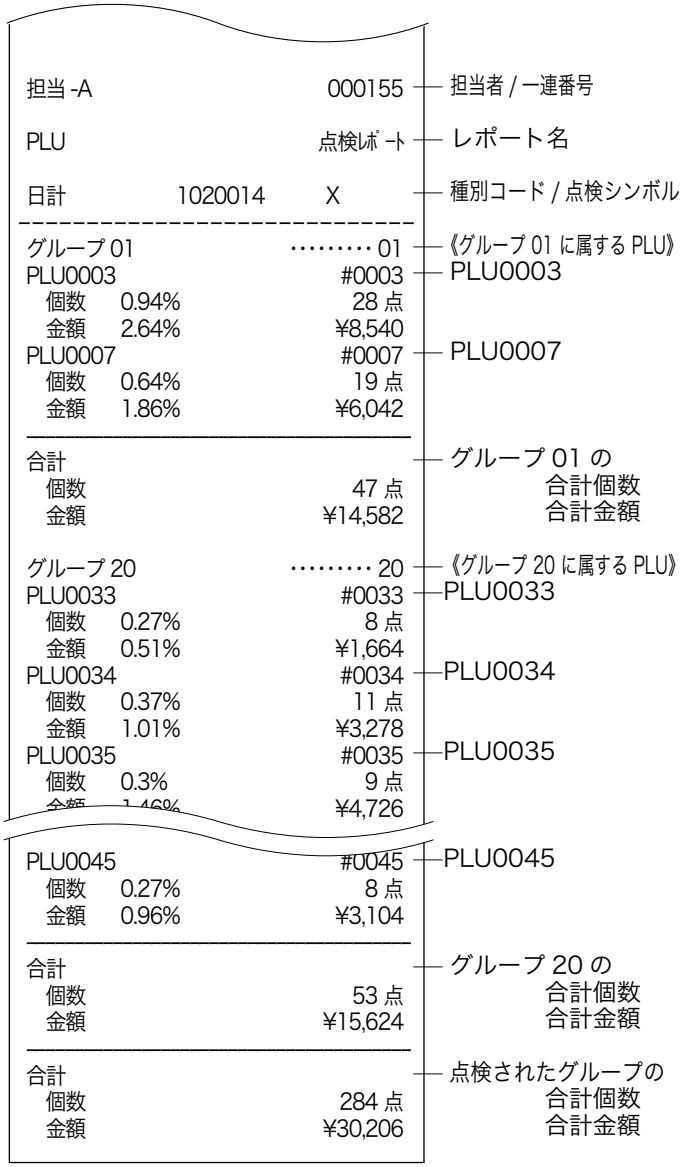
例題

グループ番号 01 、20 の売上金額を確認する

手順

1 モードスイッチを点検にします。
2 グループ別 PLU の点検コード「66」を入力し、[現/預] キーを押します。
[6][6] [現/預]
3 点検したいグループ番号を入れ、[現/預] キーを押します。
[0][1] [現/預] [2][0] [現/預]
4 [小計] キーを押します。
[小計]

印字例



点検と精算の操作と印字例（3/ 3）

日計明細の点検・精算

手順

1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。

2 以下の操作をします。

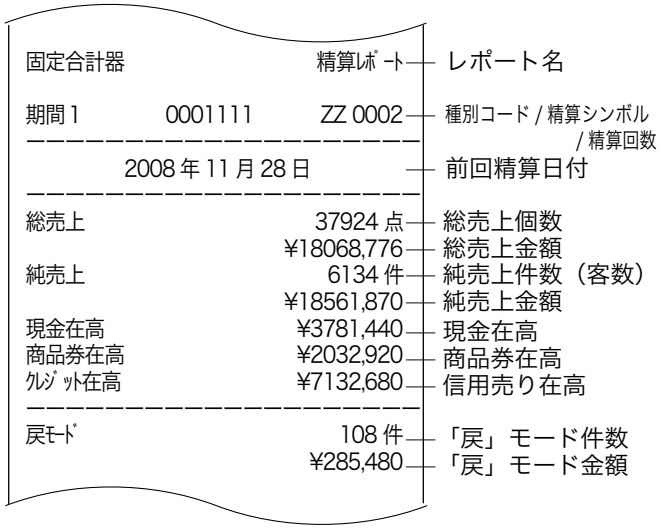
日計点検 / 精算は　現/預

期間集計１点検 / 精算は　1 0 0 現/預

期間集計２点検 / 精算は　2 0 0 現/預

印字例

（始めの部分のみ）



■日計明細の印字例 → 32 ページ

※期間集計 1 および期間集計 2 のレポートは、日計明細のレポートと殆ど同じです。違いは、点検や精算シンボルが "XX" や "ZZ" になることと前回精算日付が印字されることです。

担当者の点検・精算

手順

1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。

2 以下の操作をします。

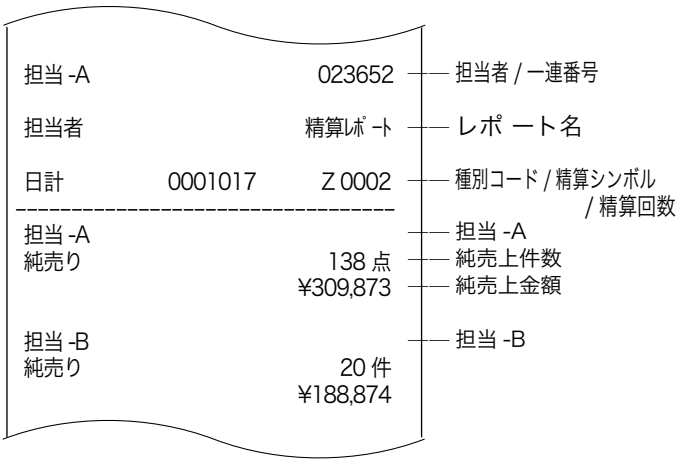
日計点検は　1 7 現/預

日計精算は　9 9 9 9 9 1 7 現/預

期間集計１点検 / 精算は　1 1 7 現/預

期間集計２点検 / 精算は　2 1 7 現/預

印字例



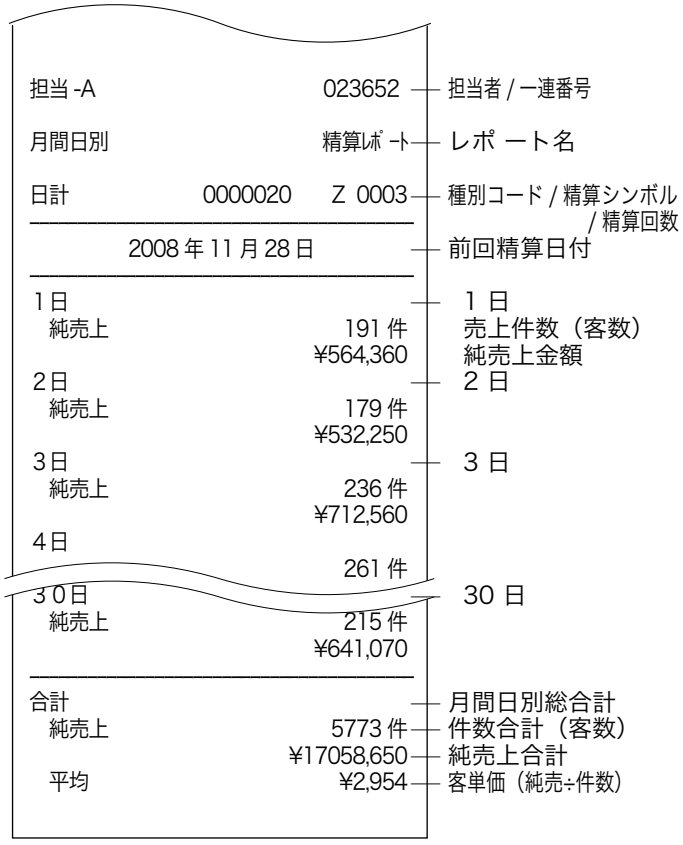
※件数や金額が０の担当者は印字をスキップします。
お買い上げの状態では担当者は使用できません。

月間日別集計の点検・精算

手順

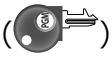
1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
2 以下の操作をします。
日計点検は 2 0 現/預
日計精算は 9 9 9 9 9 2 0 現/預

印字例



※件数や金額が０の日付は印字をスキップします。
※月間日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に印字します。

電卓機能の使い方

モードスイッチを「電卓」の位置に合わせることにより、電卓として使用することができます。
オーナーキー（  ）を使って、電卓モードに合わせてください。（計算過程や結果は、表示のみで印字されません）。

通常の電卓として使用する

例 1 123 + 456 – 78 = ?

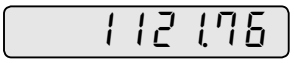
操作 1 2 3 [1] 4 5 6 [2] 7 8 [現/預]

表示例（一番下の数字表示のみ示す）



例 2 12.3 × 4.56 × 20 = ?

操作 1 2 • 3 [3] 4 • 5 6 [3] 2 0 [現/預]



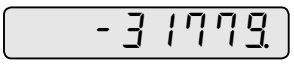
例 3 828 ÷ 36 = ?

操作 8 2 8 [4] 3 6 [現/預]



例 4 (23 – 56) × 963 = ?

操作 2 3 [2] 5 6 [3] 9 6 3 [現/預]



注意 以下の場合はエラーとなります。
- 計算の途中で 10 桁（負数のときは 9 桁）を超えた場合
- 答の整数部が 10 桁（負数のときは 9 桁）を超えた場合
- 10 桁を超えて数字キーを押した場合

この場合、表示窓に「E」と「誤操作です」が表示され、オールクリアになります。

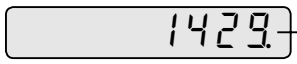
ポイント
- [－] キーが減算に、[×/自時] キーが乗算に使用できます。
- [#/替] キーを押すとドロアが開きます。

税抜き額や税額を計算する

例 1 1,500 円の税抜き金額と内税額は？（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 1 5 0 0 [クレジット/決定]

（続けて）[クレジット/決定]



税抜き金額

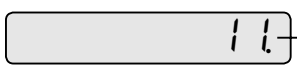


内税金額

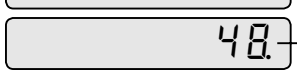
例 2 230 円、780 円のそれぞれの内税額の合計は？（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 2 3 0 [クレジット/決定] [クレジット/決定] [1]

7 8 0 [クレジット/決定] [クレジット/決定] [現/預]



内税金額



税額合計

注意 ・税金計算は、「税 1 テーブル（通常は「内税」）」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容によって求められる答が違ってきます。

呼び出し機能を使って計算する

「呼び出し機能」とは、入金 キーを押すことで、モードスイッチを電卓⇒登録、または登録⇒電卓と切り替える直前のデータを利用して計算することができる機能です。

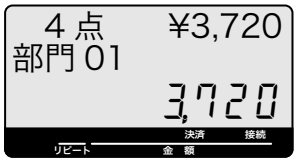
例題

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にする場合
・部門 1 キーに登録されている単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
・部門 2 キーに登録されている単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

手順 ― 表示例 ― 印字例

1 モードスイッチが「登録」になっていることを確認して、商品の登録処理をします。

4 ×/日時 **9 3 0** 1



1 2 4 0 2



2 商品をすべて入力したら、小計 キーを押します。

小計



合計金額

3 電卓モードにして、入金 キーを押します。

入金



呼び出された合計金額

4 割り勘の計算をします。

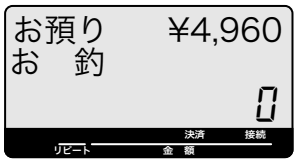
4 **4** 現/預

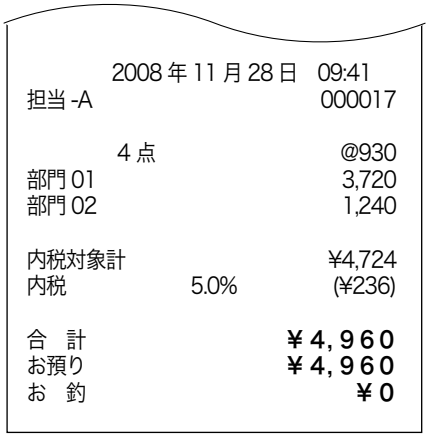


1 人当たり割り勘額

5 登録モードにして、レシートを発行します。

4 9 6 0 現/預





2008 年 11 月 28 日 09:41
担当 -A 000017

4 点		@930
部門 01		3,720
部門 02		1,240
内税対象計		¥4,724
内税	5.0%	(¥236)
合 計		**¥4,960**
お預り		**¥4,960**
お 釣		**¥0**

⚠注意 **・電卓時に呼び出せる数値は、最後のレシートの合計金額です。**
また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
・電卓時の最終の答の小数点以下の値は無視されます。また、マイナスの答は、エラーになります。

時刻や日付をセットする

時刻を直す

例題

午後 1 時 05 分に合わせる場合

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

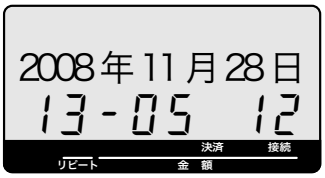
2 現時刻を 24 時制で入力し ×/日時 キーを押します。

1 3 0 5 ×/日時

3 C/AC キーを押します。

C/AC C

表示例



⚠注意 **時刻は 24 時間制で入れます。(00 ～ 23)**
時と分は必ず 2 桁ずつ入れます。(0～9 → 00 ～ 09)

日付を直す

例題

2008 年 11 月 28 日に合わせる場合

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

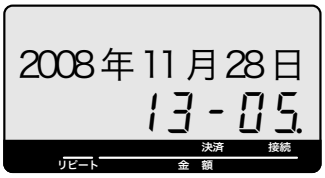
2 現日付を西暦で入力し ×/日時 キーを押します。

0 8 1 1 2 8 ×/日時

3 C/AC キーを押します。

C/AC C

表示例



⚠注意 **年は「西暦年」の下 2 桁を入れます。 (2008 → 08)**
月と日は必ず 2 桁ずつ入れます。(1～9 → 01 ～ 09)
日付を和暦にすることも可能です。和暦にするには、⏭ 67 ページを参照してください。このとき日付の入力も和暦年になります。

商品単価を設定する

モードスイッチの位置
設定

商品単価を部門キーやフラット PLU キーに設定する

例題

部門キーやフラット PLU キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 1	¥100
部門 2	¥220
部門 4	¥1,100

フラット PLU	単価
フラット PLU1	¥210
フラット PLU2	¥220

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定する単価を入力し、部門キーを押します。

100 [1] 220 [2] 1100 [4]

3 設定する単価を入力し、ﾌﾗｯﾄ PLU キーを押します。

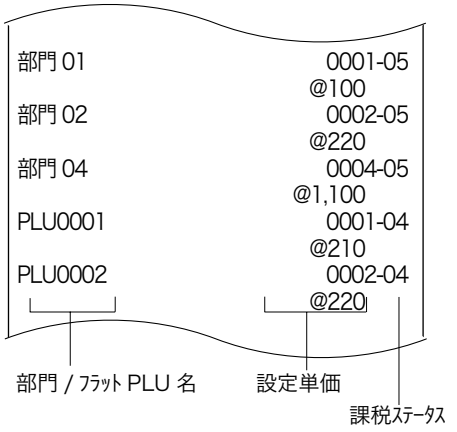
210 [1] 220 [2]

4 [小計] キーを押します。

[小計]

ポイント **単価は最大 6 桁（999,999 円）まで設定できます。**
（単価設定した場合の登録の操作例は 34 ページ）

印字例



商品単価を PLU（スキャニング PLU）に設定する

例題

PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU 番号	単価	リンク部門
PLU 番号 111	¥780	部門 1
PLU 番号 112	¥880	変更無し
PLU 番号 200	¥550	部門 2

スキャニング PLU	単価	リンク部門
スキャニング	¥123	部門 2
スキャニング	¥456	変更無し

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定する PLU コードを指定し、設定する単価を入力後、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押し [現/預] キーを押します。

111 [PLU] 780 [1] [現/預] 880 [現/預]
200 [PLU] 550 [2] [現/預]

3 スキャニングで PLU を指定後、設定する単価を入力して、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押し [現/預] キーを押します。

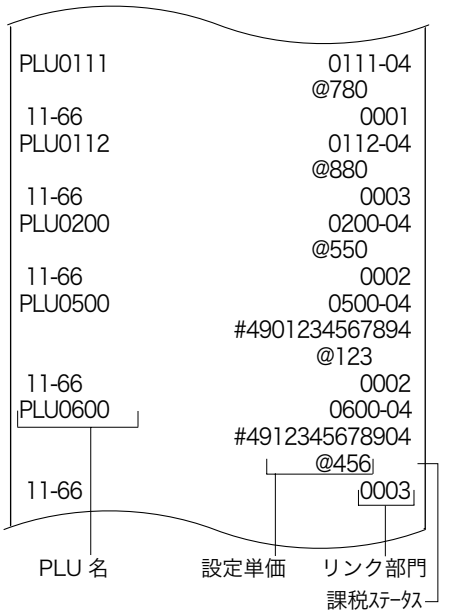
（スキャニング） 123 [2] [現/預]
（スキャニング） 456 [現/預]

4 [小計] キーを押します。

[小計]

ポイント **単価は最大 6 桁（999,999 円）まで設定できます。**
（[PLU] キーを使用した登録の操作例は 36, 37 ページ）

印字例



各種レート、丸めを設定する

割引き率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する

例題

割引き率と値引き金額、[券] キーの金額、通貨変換（[$] キー）のレートをそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
[%−] キー	割引き率５％
[−] キー	値引き金額 ¥50
[券] キー	商品券の金額 ¥500
[$] キー	１ドルの金額 ¥112.54

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

5 [%−]

5 0 [−]

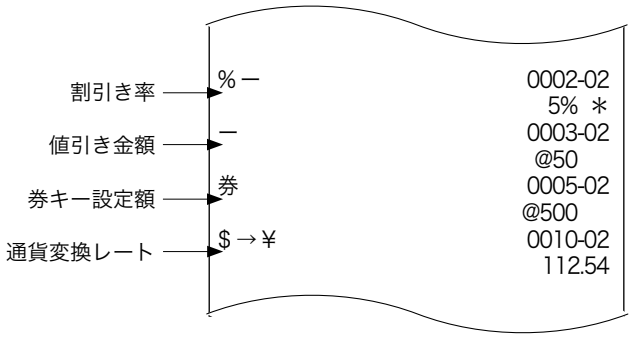
5 0 0 [券]

1 1 2 • 5 4 [$]

3 [小計] キーを押します。

[小計]

印字例



ポイント **率は 0.01% ～ 99.99%まで設定できます。小数の入力には [•] キーを使用します。（割引き率や値引き金額を設定した操作例は 46, 47 ページ）**

[券] キーには、お店で一番多く使用される「商品券」の額面を設定しておきます。[券] キーに金額を設定した操作例は 46 ページを参照してください。

参照 [%−]、[$] キーをキーボード上に設定 ⏭ **112 ページ**

５円丸めまたは 10 円丸めを設定する

合計金額の５円や 10 円未満を切り捨てて、お客様に請求しません。

例題

「10 円丸め」を設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

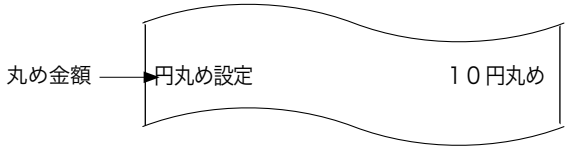
2 以下の操作をおこないます。

1 0 [レシート発行]

3 [小計] キーを押します。

[小計]

印字例



ポイント **「10 円丸め」は 10 を、「５円丸め」は５を設定します。丸めを行なわないときは０を入力します。ご購入時は “ ０ ” になっています。（５円丸め /10 円丸めの操作例は 49 ページ）**

領収書やレシートに関する設定

モードスイッチの位置
設定

但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する

例題

領収書の但し書き部に「お品代」を常に印字する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

1 0 1 0 0 小計　（ガイドが表示されますので、ガイドに従って操作します）

0 現/預　（西暦を使用するか、和暦を使用するかを決定します。西暦＝0、和暦＝1）

0 現/預　（レシートに時刻を印字するか否かを決定します。印字する＝0、印字しない＝1）

0 現/預　（領収書のタイトルを領収書とするか領収証とするかを決定します。領収書＝0、領収証＝1）

1 現/預　（但し書きを使うか否か、使う場合はどの但し書きかを決定します。但し書きなし＝0、お品代＝1、お食事代＝2）

0 現/預　（レシートの文字サイズが縦倍か標準かを決定します。通常＝0、縦倍＝1）

0 現/預　（ジャーナルの文字サイズが標準か縦圧縮かを決定します。圧縮＝0、通常＝1）

0 現/預　（非課税シンボル「非」を印字するか否かを決定します。印字する＝0、印字しない＝1）

0 現/預　（非課税合計を印字するか否かを決定します。印字する＝0、印字しない＝1）

0 現/預　（レシートのコマーシャルメッセージを印字するか否かを決定します。印字しない＝0、印字する＝1）

0 現/預　（レシートのボトムメッセージを印字するか否かを決定します。印字しない＝0、印字する＝1）

印字例

年号指定	西暦
ﾚｼｰﾄ時刻印字	印字
領収書ｷｬﾗｸﾀｰ	領収書
領収書但し書き	お品代
ﾚｼｰﾄ印字	通常印字
ｼﾞｬｰﾅﾙ印字	圧縮印字
非課税ｼﾝﾎﾞﾙ	印字
非課税合計	印字
ﾚｼｰﾄｺﾏｰｼｬﾙﾒｯｾｰｼﾞ	非印字
ﾚｼｰﾄﾎﾞﾄﾑﾒｯｾｰｼﾞ	非印字

レシートの背景を印字する

お買上レシートに、"Thank you" の薄い文字を背景として印字することができます。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

1 0 2 0 0 小計

（上記操作で背景印字の見本を印字しますので、印字の場合1、印字しない場合0を入力します。）

1 現/預

印字例

10200	1
ﾚｼｰﾄ背景印字	有り

領収書の背景を印字する

領収書に、格子模様を背景として印字することができます。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

1 0 3 0 0 小計

（上記操作で背景印字の見本を印字しますので、印字の場合1、印字しない場合0を入力します。）

0 現/預

印字例

10300	0
領収書背景印字	無し

ポイント **レシートの背景印字、領収書の背景印字とも印字の有無を選びます。**
“0”を指定すると背景印字は行なわれません。ご購入時は“0”になっています。

消費税の課税方式の設定（1 / 2）

お店の課税方式に合わせて、部門や PLU、値引き、割引きなどの課税方式を設定します。もし、お店が内税方式で内税商品だけを扱っておられるならば、ご購入の状態でお使いいただけます。内税以外の課税方式を採用されているか、一部の商品を外税や非課税で扱われている場合は設定が必要です。

すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は・・・・・・・・・・
・・・・部門キー、いくつかの PLU および [－] キーに「非課税」を設定します

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定 1 モードにします。

[1] [小計]

3 [#/替] キーを押します。

[#/替]

4 非課税にする部門、[－] キーを押します。

[1] [2] [3] [4] ・・ [－]

5 [小計] キーを押します。

[小計]

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

6 [#/替] キーを押します。

[#/替]

7 非課税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 [PLU] キーを押します。

[1] [PLU] [PLU] [PLU] [PLU] 〜 [PLU] [PLU]

8 [小計] キーを押します。

[小計]

フラット PLU キーには以下の手順で設定します。

9 [#/替] キーを押します。

[#/替]

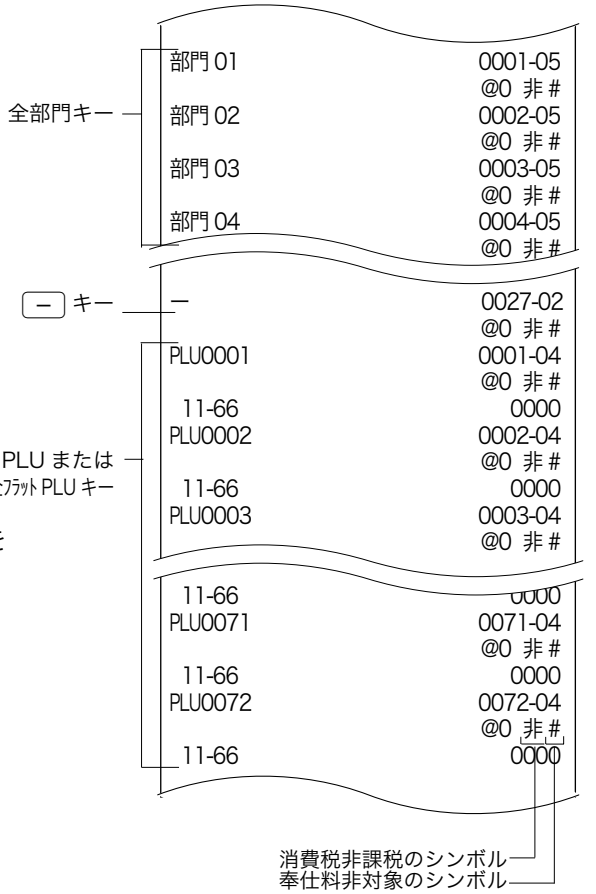
10 非課税にする最フラット PLU キーを押します。

[1] [2] [3] 〜 [72]

11 [小計] キーを押します。

[小計]

印字例



⚠注意 すべての商品を外税扱いにする場合、上記手順の [#/替] キーを [出金] キーにします。

すべての商品を内税扱いとする

すべての商品を「内税扱い」とするお店は‥‥‥‥‥‥
‥‥‥部門キー、ﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）および [－] キーに「内税」を設定します

お買い上げの時はこの設定を行なう必要はありません。
この設定が必要なのは、内税以外の課税方式をお使いになっていて、それを内税に変える場合です。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定 1 モードにします。
1 小計

3 [入金] キーを押します。
入金

4 内税にする部門、[－] キーを押します。
1 2 3 4 ‥ ー

5 [小計] キーを押します。
小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

6 [入金] キーを押します。
入金

7 内税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 [PLU] キーを押します。
1 PLU PLU PLU PLU 〜 PLU PLU

8 [小計] キーを押します。
小計

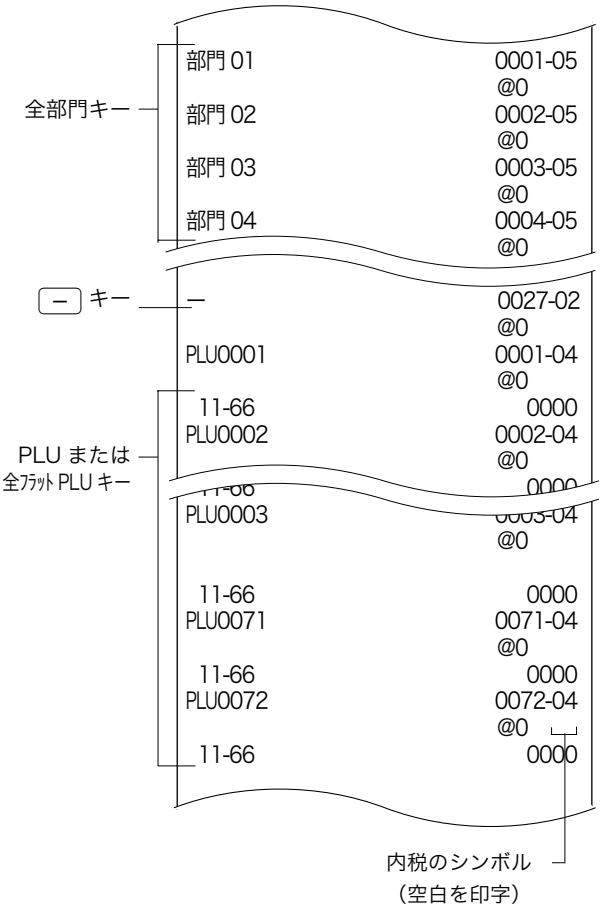
フラット PLU キーには以下の手順で設定します。

9 [入金] キーを押します。
入金

10 内税にする最フラット PLU キーを押します。
1 2 3 〜 72

11 [小計] キーを押します。
小計

印字例



消費税の課税方式の設定（2/2）

内税扱い / 外税扱いと非課税扱いの商品が混在する

●取り扱い商品が**「内税」「外税」「非課税」**と、混在しているお店は‥各キーに**それぞれを設定**します

準備

それぞれのキー（部門キー、値引き、割引き）および PLU を「内税」、「外税」、「非課税」のどれにするかを決めます。

例

ご購入時の状態から外税、非課税、内税を下記のように設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
外税（出金）	3 キー
非課税（#/替）	4 キー、－ キー、PLU65 ～ 72
内税（入金）	残りの部門、PLU、%－ キー

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

⚠注意 **もしお買いあげの状態から設定変更されている場合は、69 ページの「すべての商品を内税扱いとする」をおこなってから、この設定をしてください。**

2 設定 1 モードにします。

1 小計

3 出金 キーを押します。

出金

4 外税にする部門、－ キーを押します , また PLU を指定します。

3

5 #/替 キーを押します。

#/替

6 非課税にする部門、－ キーを押します , また PLU を指定します。

4 －

6 5 PLU PLU PLU PLU ～ PLU PLU　PLU キーを 8 回押します。

7 小計 キーを押します。

小計

フラット PLU キーを使って ***5***、***6*** の代わりに、以下の手順で設定することも可能です。

8 #/替 キーを押します。

#/替

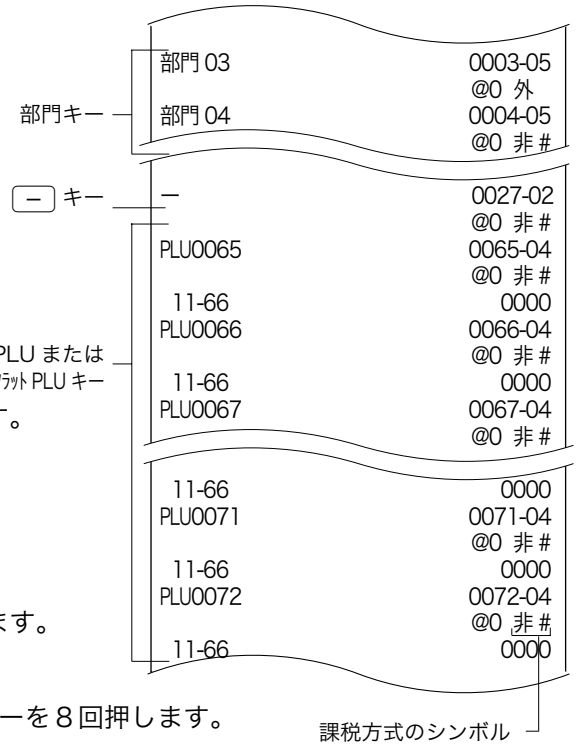
9 非課税にするフラット PLU キーを押します。

65 66 67 ‥‥‥ 72

10 小計 キーを押します。

小計

印字例



消費税の内容に変更が生じた場合

モードスイッチの位置 設定

本機は、消費税の変更が行なわれた場合の混乱を軽減するために、変更される税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。
この設定をしておくと、税率の変更に素早く対応することができます。
もし、税率変更予約をせずに変更日当日を迎えた場合は（すぐに消費税率を変更する場合）の操作を行なってください。

変更日前にあらかじめ消費税率を変更予約しておく場合

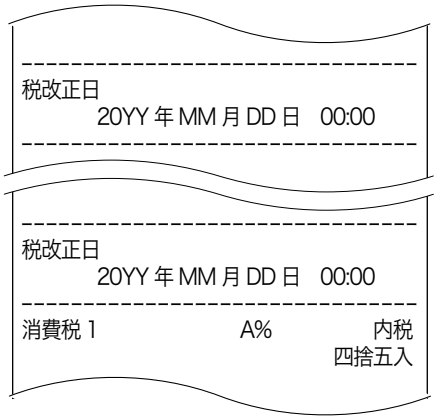
例題

税率変更日（20YY 年 MM 月 DD 日）に税率を《 A % 》にする。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 設定３モードにし 4 2 7 と入力し 小計 キーを押します。
3 小計 4 2 7 小計
3 変更日付（YYMMDD）を入力し下記の操作をします。
YYMMDD 現/預 小計
4 1 2 7 と入力し 小計 キーを押します。
1 2 7 小計
5 税率 (A) を入力し下記の操作をします。
A 現/預 小計

印字例



注意
- YY は西暦年の下２桁を入力します、また MM, DD とも必ず２桁で入力します。
- レジスター本体の日付をこの操作の前に設定しておいてください。
- この設定操作をしたにもかかわらず、変更日になっても税率が変更されないときはレジスターの電源を一旦切り、再度入れてください。

すぐに消費税率を変更する場合

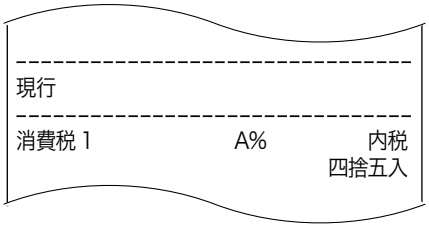
例題

税率を《 A % 》にする。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 設定３モードにし 1 2 6 と入力し 小計 キーを押します。
3 小計 1 2 6 小計
3 税率 (A) を入力し下記の操作をします。
A 現/預 小計

印字例



●このあと、モードスイッチを「登録」にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

税額の端数処理の設定

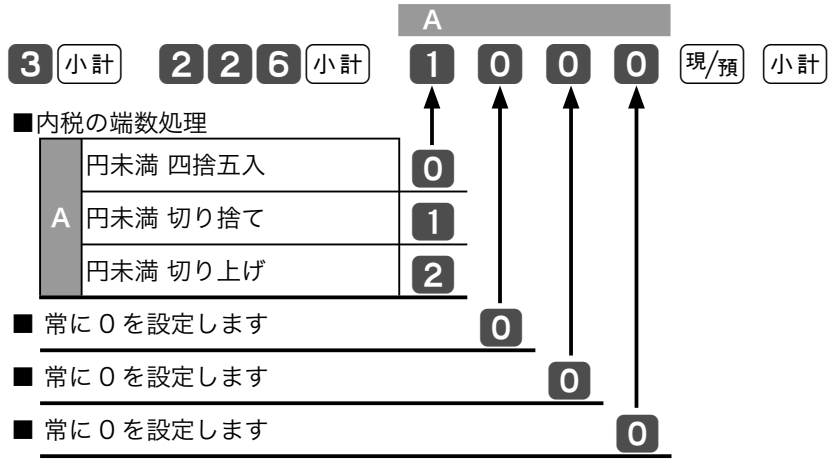
税額の円未満の端数処理方法を設定する

例題

消費税額の円未満の端数を「切捨て」とする

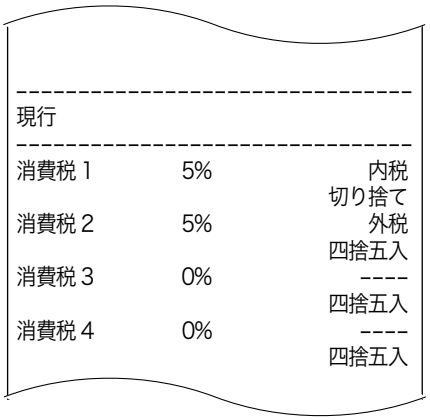
手順

1 以下の操作をおこないます。



ポイント **ご購入時は“０００００”（内税は四捨五入）になっています。**

印字例



商品名リストを使った設定（1 / 2）

モードスイッチの位置
設定

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示することができます。あらかじめ、部門キーや PLU などに個々の商品名等を設定しておくことにより、レシートなどの印字内容をよりわかり易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。必要に応じて設定をしてください。

● 商品名やメッセージの設定には、
① 商品名リスト / メッセージリストの中から番号で選ぶ方法（⏩ 74 ～ 75, 76 ページ）と
② １文字ずつ手入力して、必要に応じて漢字変換する方法（⏩ 77 ページ～）の２種類があります。

商品名やメッセージをリストから番号で選ぶ

設定される文字を商品名リスト（74 ～ 75 ページ）/ メッセージリスト（76 ページ）の中から選んで設定します。

ポイント **商品名リストにある商品名が設定できるのは部門および PLU です。また、メッセージリストから設定できるのはレシートメッセージ（ボトムメッセージ）です。リストにない商品名やメッセージを設定される場合や、取引キー、担当者などの名称の設定は後に述べる１文字ずつ手入力して漢字変換する方式で設定してください。**
また、電子店名スタンプが届く前にレシートに店舗名や所在地を印字したい場合も同様です。

ポイント **商品名リストやメッセージリストにあるものを一部変更して設定したい場合は、一旦リストを用いて設定した後で、不要の文字を１文字ずつ消去し、必要な文字を１文字ずつ手入力する方法で修正をしてください。**

部門キーやフラット PLU キーの商品名をリストから選んで設定する

例題

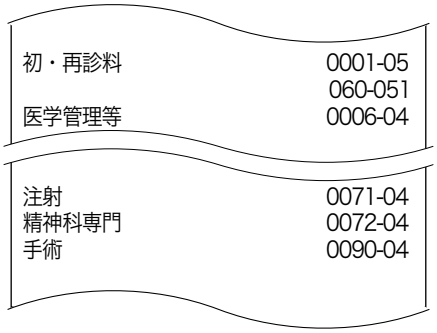
部門 01（1）に『初・再診料』、フラット PLU006（6）に『医学管理等』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

2 小計
1 （「初・再診料」のコードは商品リストから 1）
1
3 （「医学管理等」のコードは商品リストから 3）
6
小計 （設定終了）

印字例



PLU の商品名をリストから選んで設定する

例題

PLU 番号 71 に「注射」、PLU 番号 72 に「精神科専門」、PLU 番号 90 に「手術」と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

2 小計
7 1 PLU （PLU71 を指定します）
#/替 （コード指定前に #/替 キーを押します）
8 （「注射」のコードは商品リストから 8）
現/預 （指定したキャラクタを設定します）
現/預 （続いて次のメモリに設定します）
#/替 1 0 （「精神科専門」のコードは商品リストから 10）
現/預
9 0 PLU （PLU90 を指定します）
#/替 1 2 （「手術」のコードは商品リストから 12）
現/預
小計 （設定終了）

商品名リストを使った設定（2/ 2）

商品名リスト（その１）

業種	商品名	コード
医院 / 歯科医院	初・再診料	001
	入院料等	002
	医学管理等	003
	在宅医療	004
	検査	005
	画像診断	006
	投薬	007
	注射	008
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	009
	精神科専門	010
	処置	011
	手術	012
	麻酔	013
	放射線治療	014
	食事療法	015
	歯冠修復等	016
	歯科矯正	017
	調剤技術料	018
	薬学管理料	019
	薬剤料	020
	特保医療材料	021
	選定療養等	022
	療養担当手当	023
	その他	024
	処方せん	025
	保険給付外	026
	保険給付内	027
	自費	028
	文書料	029
	証明書	030
	未収金	031
	容器代	032
薬局 / 薬店	アレルギー薬	033
	かぜ薬	034
	ケア用品	035
	せき止め	036
	ドリンク剤	037
	歯ブラシ	038
	ベビー用品	039
	胃腸薬	040
	医薬品	041
	医療用品	042
	衛生用品	043
	介護用品	044
	解熱鎮痛剤	045
	外傷薬	046
	外用薬	047
	漢方薬	048
	関節・筋肉痛	049
	湿布薬	050
	小児用薬	051

業種	商品名	コード
薬局 / 薬店	酔い止め	052
	整腸剤	053
	生薬	054
	虫ささされ	055
	内服薬	056
	皮膚治療薬	057
	鼻炎薬	058
	婦人薬	059
	目薬	060
	薬剤	061
喫茶 / 軽食	ｱｲｽｸﾘｰﾑ	062
	アルコール	063
	一品料理	064
	ウィスキー	065
	お酒	066
	お食事	067
	おつまみ	068
	お通し	069
	お飲み物	070
	お持ち帰り	071
	カクテル	072
	喫茶	073
	ケーキ	074
	コーヒー	075
	サワー	076
	ジュース	077
	セット	078
	ｾｯﾄ ﾒﾆｭｰ	079
	ｿﾌﾄｸﾘｰﾑ	080
	ｿﾌﾄﾄﾞﾘﾝｸ	081
	テイクアウト	082
	定食	083
	ディナー	084
	デザート	085
	トースト	086
	トッピング	087
	ドリンク	088
	生ビール	089
	日本酒	090
	ﾉﾝｱﾙｺｰﾙ	091
	発泡酒	092
	ビール	093
	フード	094
	ブランデー	095
	モーニング	096
	洋食セット	097
	ランチ	098
	ワイン	099
	和食セット	100
食料品	アイス	101
	ｲﾝｽﾀﾝﾄ食品	102

業種	商品名	コード
食料品	飲料	103
	お米	104
	お惣菜	105
	おにぎり	106
	加工食品	107
	菓子	108
	菓子パン	109
	果物	110
	香辛料	111
	サンドイッチ	112
	嗜好品	113
	ジュース類	114
	食パン	115
	食料品	116
	寿司	117
	スナック菓子	118
	生鮮	119
	精肉	120
	鮮魚	121
	その他	122
	中華	123
	調味料	124
	調理パン	125
	乳製品	126
	パン	127
	ﾌｧｰｽﾄﾌｰﾄﾞ	128
	ベーカリー	129
	弁当類	130
	麺類	131
	野菜	132
	洋菓子	133
	冷凍食品	134
	レトルト食品	135
	和菓子	136
服飾	アクセサリー	137
	衣料品	138
	衣類	139
	傘	140
	靴	141
	子供服	142
	紳士服	143
	装飾品	144
	履物	145
	バッグ	146
	婦人服	147
	ベビー服	148
	帽子	149
雑貨	アクセサリー	150
	小物	151
	雑貨	152
	生花	153

商品名リスト（その2）

業種	商品名	コード
雑貨	箱代	154
	輸入雑貨	155
家電	オプション	156
	家電製品	157
	携帯電話	158
	サプライ	159
	情報機器	160
	消耗品	161
	設定料	162
	テープ	163
	電球・蛍光灯	164
	電池	165
	電池交換	166
	配線	167
	別売品	168
	メディア	169
書籍 / 文具 /AV	ＣＤ	170
	ＤＶＤ	171
	アルバム	172
	ゲーム	173
	コミック	174
	雑誌	175
	参考書	176
	事務用品	177
	趣味・娯楽	178
	書籍	179
	新書	180
	新聞	181
	専門誌	182
	図書カード	183
	ビデオ	184
	文具	185
	文芸	186
	文庫	187
その他 / 物品販売	ＤＩＹ用品	188
	ｱｳﾄﾄﾞｱ用品	189
	園芸	190
	園芸用品	191
	カー用品	192
	家具	193
	楽器	194
	家庭用品	195
	金物	196
	玩具	197
	キッチン用品	198
	ギフト券	199
	ｷｬﾗｸﾀｰ商品	200
	工具	201
	コンタクト	202
	梱包用品	203
	作業用品	204

業種	商品名	コード
その他 / 物販	写真	205
	種苗	206
	寝具	207
	スポーツ用品	208
	タバコ	209
	釣り用品	210
	ﾃﾞｺﾚｰｼｮﾝ	211
	時計	212
	塗料	213
	日用品	214
	農業用品	215
	農薬	216
	バラエティ	217
	肥料	218
	物品販売	219
	部品	220
	ペット	221
	ペット用品	222
	防災用品	223
	メガネ	224
	木材	225
	輸入家具	226
	ラッピング代	227
	旅行用品	228
	レンタル用品	229
理容 / 美容	カット	230
	カラー	231
	着付	232
	シャンプー	233
	スキンケア	234
	セット	235
	ﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ	236
	トリミング	237
	パーマ	238
	フェイス	239
	ブロー	240
	ヘアカラー	241
	ベビー	242
	ボディ	243
	メイク	244
その他	ＤＰＥ	245
	一式	246
	一般	247
	印刷	248
	延長	249
	大人	250
	お直し	251
	カード	252
	技術料	253
	キャンセル料	254
	クーポン	255

業種	商品名	コード
その他	クリーニング	256
	現像料	257
	限定品	258
	工事	259
	工賃	260
	サービス料	261
	材料費	262
	修理	263
	受講料	264
	小人	265
	商品券	266
	処分料	267
	進物	268
	セール	269
	設置料	270
	送料	271
	中古品	272
	中人	273
	注文品	274
	調整料	275
	ﾃﾞｼﾞｶﾒﾌﾟﾘﾝﾄ	276
	手数料	277
	手付金	278
	電話代	279
	登録料	280
	特注品	281
	塗装	282
	特価品	283
	取付料	284
	入園料	285
	入場料	286
	引取料	287
	フィルム	288
	ﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞｶｰﾄﾞ	289
	容器代	290
	ﾘｻｲｸﾙ費用	291
	レンタル料	292
	割増	293
	焼き増し	294
	前金	295
	土産品	296
	利用料	297
	その他	298
ご購入時の設定*	PLU	299
	部門	300

＊：PLU や部門の後に番号は付かない

メッセージリストを使った設定

ボトムメッセージをリストから選んで設定する

例題

ボトムメッセージ１行目に「またのご来店を」、２行目に「お待ちしております」と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

1 3 3 2 小計 （ボトムメッセージ１行目の種別コードを指定します）

#/替 2 （「またのご来店を」のコードはメッセージリストから 2）

現/預 （指定したキャラクタを設定します）

現/預 （続いて次のメモリに設定します）

#/替 4 （「お待ちしております」のコードはメッセージリストから 4）

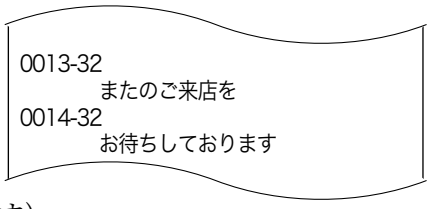
現/預

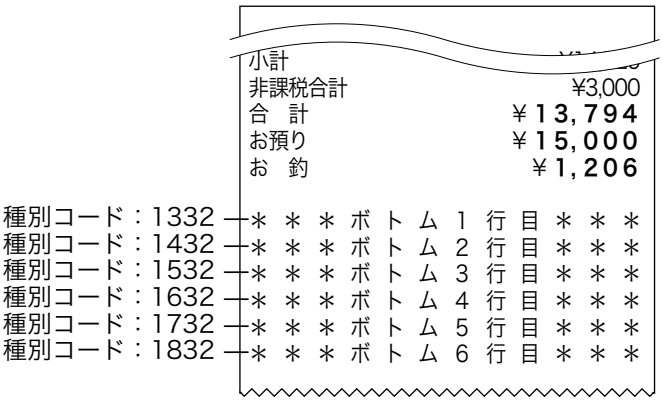
小計 （設定終了）

ポイント **右に、ボトムメッセージの位置とその種別コードを示します。なお、何も設定されていない行は印字も行送りもしません。**

参照 ボトムメッセージを印字する設定が必要です。➠ **95** ページ

印字例





ポイント **メッセージリストです。この中からお使いになりたいメッセージを選んでください。**

メッセージ内容	コード
またのお越しを	001
またのご来店を	002
またのご利用を	003
お待ちしております	004
お買い上げいただき	005
ご来店いただき	006
毎度ご来店いただき	007
ありがとうございました	008
毎度ありがとうございます	009
有難うございます	010
お買い上げの商品価格には	011
消費税等を含みます	012
レシートは税込み価格で	013
表示しております	014
ﾚｼｰﾄの再発行はできません	015
レシートの再発行は	016
致しかねます	017
ﾚｼｰﾄは大切に保管ください	018
印刷面を内側に折って	019
レシートは大切に	020

メッセージ内容	コード
保管して下さい	021
開封後の返品・交換は	022
お受けできません	023
返品はレシートを添えて	024
お持ちください	025
返品・交換はできません	026
受付時間のご案内	027
営業時間のご案内	028
診療時間のご案内	029
今月は休まず営業します	030
年中無休	031
ﾎﾟｲﾝﾄは次回のお買い物に	032
ご使用ください	033
キャンペーン実施中！	034
ｸﾘｱﾗﾝｽｾｰﾙ実施中！	035
決算セール実施中！	036
ご紹介ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ実施中！	037
サービスデー実施中！	038
バーゲンセール実施中！	039
カード会員募集中！	040

メッセージ内容	コード
新規会員募集中！	041
メール会員募集中！	042
お早めにお召上がり下さい	043
各種宴会ご予約承ります	044
完全予約制	045
着付けご予約承ります	046
記念写真ご予約受付中	047
ケーキ予約受付中	048
ご予約承ります	049
配達承ります	050
お問合せはｻｰﾋﾞｽｶｳﾝﾀｰまで	051
定期点検を忘れずに	052
お大事にどうぞ	053
どうぞお大事に	054
月初めは保険証を	055
ご呈示下さい	056
お薬は用法用量を	057
守ってご使用ください	058
携帯電話からｱｸｾｽできます	059
（空白）	060

文字の入力について（1/2）

1文字ずつ入力し、必要に応じて漢字変換する

前節では、リスト中の商品名やメッセージから適切なものを選びその番号を設定する方法を述べました。この節では、1文字ずつ手入力し必要に応じて漢字変換して設定する方法を説明します。

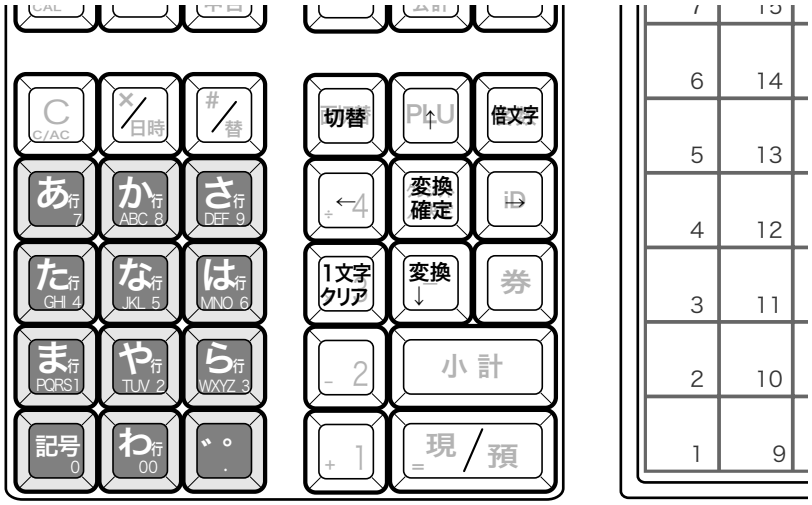
文字の入力方法について

「かなめくり方式」と言う携帯電話に似た文字入力方法です。<切替>キーによって入力される文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを切り替え、置数キーによって五十音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続いて<↑>や<変換>キーを押すことで、単漢字または単語ごとのかな漢字変換をすることができます。

注意： 内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。 そのときは、入力したい漢字の読み（音読み・訓読み）を変えて入力し、変換してくださるようにお願いします。

●文字設定用のキーボード

文字の設定をする時には、キーボードは以下の様な配列になります。



半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あります。

半角文字（普通の登録金額の文字）、
全角文字（漢字、半角文字の倍の横幅）、
倍文字（半角文字や全角文字の横幅を倍に引き延ばしたもの）、
縦倍文字（半角文字や全角文字の高さを倍にした文字、レシートのみ可能）。
倍文字と縦倍文字を組み合わせると4倍文字になります。

なお、圧縮文字はジャーナルのみに印字できる、通常の文字の半分の高さの文字です。

文字の入力について（2/ 2）

それぞれの釦の機能

＜切替＞　文字入力モードを下記の順で切り替えます。

全角ひらがな入力：状態表示「 漢あ 」　→半角ｶﾀｶﾅ入力：状態表示「 ｶﾀｶﾅ 」→

→半角英字入力：状態表示「ABab」　→ 半角数字入力：状態表示「1234」→

→全角ひらがな入力：状態表示「 漢あ 」 → .....

＜文字入力＞　それぞれの文字入力モードで、表中の文字を順に指定します。

入力モード ＜キー＞	ひらがな・ｶﾀｶﾅ	数字	英字
＜あ行＞	あいうえおぁぃぅぇぉ	7	7
＜か行＞	かきくけこ	8	ABCabc8
＜さ行＞	さしすせそ	9	DEFdef9
＜た行＞	たちつてとっ	4	GHIghi4
＜な行＞	なにぬねの	5	JKLjkl5
＜は行＞	はひふへほ	6	MNOmno6
＜ま行＞	まみむめも	1	PQRSpqrs1
＜や行＞	やゆよゃゅょ	2	TUVtuv2
＜ら行＞	らりるれろ	3	WXYZwxyz3
＜わ行＞	わをん		
＜記号＞	、。ー・！？（ｽﾍﾟｰｽ）	0	.@-　/:!?()*#+,^;<=>$¥%&[]'｀{}_0
			全角英字・倍角英字の場合：0．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃¥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
＜゛゜＞	゛゜		．，-　’！？

＜倍文字＞　　倍文字に設定したい文字、または倍文字から元の大きさに戻したい文字の前に入力します。

・全角ひらがなでは、全角横倍「漢」→全角「漢あ」を切り替えます。

・半角ｶﾀｶﾅでは、全角「カナ」→全角横倍「カ」→半角「ｶﾀｶﾅ」を切り替えます。

・半角英字では、全角「Ａａ」→全角横倍「Ａ」→半角「ABab」を切り替えます。

・半角数字では、全角「１２」→全角横倍「１」→半角「1234」を切り替えます。

＜↑＞　　入力した文字列を単漢字変換します。変換中に押すと前候補を表示します。

＜↓変換＞　　入力した文字列を漢字変換します。変換中に押すと次候補を表示します。

＜←＞　　文字設定のカーソルを一文字左に動かします。

＜→＞　　文字設定のカーソルを一文字右に動かします。

＜１文字クリア＞　入力中に入れ間違えた文字や確定した漢字１文字をクリアします。

＜Ｃ＞　　すでに設定された文字など指定された文字列全体をクリアします。

＜変換確定＞　　文字列の変換が確定したとき、またはその文字列を無変換にするときに押します。

＜かなめくり戻り＞ かなめくり中の文字を１つ戻します。（あ→い→う→かなめくり戻りで「い」になる）

●文字入力時の表示



文字入力モードを表示
：漢あ　ｶﾀｶﾅ　ABab　1234 など

入力中または操作中の文字（反転表示）

設定可能な文字数（半角文字での）を表示

入力文字数（半角文字での）を表示

商品名の設定（1 / 3）

モードスイッチの位置
設定

部門キーやﾌﾗｯﾄ PLU キーへ商品名や分類名を設定する

例題

部門 [1] に『雑貨』、[2] に『食品 A』、[4] に『ETC』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

[2] [小計]

[1] （部門 01 を指定します）

[C/AC C] ＜文字列クリア＞ （部門 01 に設定されていた商品名を消します）

「さ」 ＜さ＞
「ざ」 ＜゛ ゜ ＞
「っ」 ＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞
「か」 ＜か＞
＜↓変換＞＜変換確定＞ （＜↓変換＞は「雑貨」が出るまで繰り返します）

[現/預] （これで『雑貨』が部門 01 に設定されます）

[現/預] （部門 02 を指定します※1）

[C/AC C] ＜文字列クリア＞ （部門 02 に設定されていた商品名を消します）

「し」 ＜さ＞＜さ＞
「ょ」 ＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞
「く」 ＜か＞＜か＞＜か＞
「ひ」 ＜は＞＜は＞
「ん」 ＜わ＞＜わ＞＜わ＞
＜↓変換＞＜変換確定＞ （＜↓変換＞は「食品」が出るまで繰り返します）
＜切替＞＜切替＞＜倍文字＞ （切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします）
「A」 ＜か＞ （英文字Ａを指定します）

[現/預] （これで『食品Ａ』が部門 02 に設定されます）

[4] （部門 04 を指定します※2）

[C/AC C] ＜文字列クリア＞ （部門 04 に設定されていた商品名を消します）

（全角英字のまま、使います）

「E」 ＜さ＞＜さ＞
「T」 ＜や＞
「C」 ＜か＞＜か＞＜か＞

[現/預] （これで『ＥＴＣ』が部門 04 に設定されます）

[小計] （設定終了）

印字例

雑貨	0001-05
	060-051
食品Ａ	0002-05
	061-051
ETC	0004-05
	063-051

ポイント

1. 部門キーへは、半角で最大 20 文字（全角では 10 文字）が設定できます。
2. ※1 連続した部門の設定を行う場合は、[現/預] キーを押すことで次の部門が自動的に指定されます。また、このタイミングで [現/預] キーの代わりに [小計] キーを押すと設定を終了できます。
3. ※2 連続していない部門の設定を行う場合は、設定したい部門キーを直接押して指定します。また、このタイミングで [現/預] キーの代わりに [小計] キーを押すと設定を終了できます。

商品名の設定（2/ 3）

入力途中で文字を訂正する

例題

部門 [3] に『乾物』を設定する途中でまちがった文字を訂正する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

[2][小計]		
[3]		（部門 03 を指定します）
[C/AC C]	＜文字列クリア＞	（部門 03 に設定されていた商品名を消します）
「か」	＜か＞	
「ん」	＜わ＞＜わ＞＜わ＞	
「も」	＜ま＞＜ま＞＜ま＞＜ま＞＜ま＞	
「の」	＜な＞＜な＞＜な＞＜な＞＜な＞	
	＜1 文字クリア＞	（直前の「の」を消します）
	＜1 文字クリア＞	（「も」を消します）
「ふ」	＜は＞＜は＞＜は＞	（正しい文字を入れ直します）
「ぶ」	＜“。＞	
「つ」	＜た＞＜た＞＜た＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	（＜↓変換＞は「乾物」が出るまで繰り返します）
[現/預]		（これで「乾物」が部門 03 に設定されます）
[小計]		（設定終了）

商品名の設定（3/ 3）

PLU へ商品名を設定する

例題

PLU 番号 71 に半角で『ｶﾗｰＹｼｬﾂ』、PLU 番号 72 に『ジーンズ』、PLU 番号 90 に『サービス品』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計		
7 1 PLU		(PLU71 を指定します)
C/AC C	＜文字列クリア＞	(PLU71 に設定されていた商品名を消します)
	＜切替＞	(半角ｶﾀｶﾅに切り替えます)
「カ」	＜か＞	
「ラ」	＜ら＞	
「ｰ」	＜記号＞＜記号＞＜記号＞	
	＜切替＞	(半角英文字に切り替えます)
「Y」	＜ら＞＜ら＞＜ら＞	
	＜切替＞＜切替＞＜切替＞	(半角カタカナに切り替えます)
「シ」	＜さ＞＜さ＞	
「ャ」	＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞	
「ツ」	＜た＞＜た＞＜た＞	
現/預		(これで『ｶﾗｰＹｼｬﾂ』が PLU71 に設定されます)
現/預		(PLU72 を指定します※1)
C/AC C	＜文字列クリア＞	(PLU72 に設定されていた商品名を消します)
	＜倍文字＞	(全角カタカナに切り替えます)
「シ」	＜さ＞＜さ＞	
「ジ」	＜゛゜＞	
「ー」	＜記号＞＜記号＞＜記号＞	
「ン」	＜わ＞＜わ＞＜わ＞	
「ス」	＜さ＞＜さ＞＜さ＞	
「ズ」	＜゛゜＞	
現/預		(これで『ジーンズ』が PLU72 に設定されます)
9 0 PLU		(PLU90 を指定します※2)
C/AC C	＜文字列クリア＞	(PLU90 に設定されていた商品名を消します)
「サ」	＜さ＞	
「ー」	＜記号＞＜記号＞＜記号＞	
「ヒ」	＜は＞＜は＞	
「ビ」	＜゛゜＞	
「ス」	＜さ＞＜さ＞＜さ＞	
	＜変換確定＞＜切替＞＜切替＞＜切替＞	(「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)
「ひ」	＜は＞＜は＞	
「ん」	＜わ＞＜わ＞＜わ＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	(「品」が出るまで繰り返します)
現/預		(これで『サービス品』が PLU90 に設定されます)
小計		(設定終了)

印字例

ｶﾗｰＹｼｬﾂ	0071-04
ジーンズ	0072-04
サービス品	0090-04

ポイント

1. PLU へは、半角で最大 20 文字（全角では 10 文字）が設定できます。
2. スキャニング PLU（36 ページ参照）は PLU 番号でも指定できますが、スキャナで指定することも可能です。
3. ※1 連続した PLU の設定を行う場合は、現/預 キーを押すことで次の PLU が自動的に指定されます。また、このタイミングで 現/預 キーの代わりに 小計 キーを押すと設定を終了できます。
4. ※2 連続していない PLU の設定を行う場合は、設定したい PLU 番号に続けて PLU キーを押して指定します。また、このタイミングで PLU 番号＋ PLU キーの代わりに 小計 キーを押すと設定を終了できます。

取引キー・レジ担当者名の設定

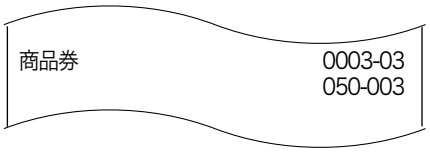
取引キーの名前を変更する

例題

券 キーのレシートやレポート上の印字を『商品券』にする

手順

印字例



1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

券　（券売キーを指定します）

C/AC C　＜文字列クリア＞　（すでに設定されている文字を消します）

「し」＜さ＞＜さ＞
「ょ」＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞
「う」＜あ＞＜あ＞＜あ＞
「ひ」＜は＞＜は＞
「ん」＜わ＞＜わ＞＜わ＞
＜↓変換＞　（＜↓変換＞は「商品」が出るまで繰り返します）
「け」＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞（「商品」が確定します）
「ん」＜わ＞＜わ＞＜わ＞
＜↓変換＞＜変換確定＞（＜↓変換＞は「券」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『商品券』が券売キーに設定されます）

小計　（設定終了）

ポイント　取引キーへは、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）が設定できます。
名前の変更ができるのは、＃、替、%+、%−、−、入金、出金、iD、クレジット/決定、貸、券、現/預　の各キーです。

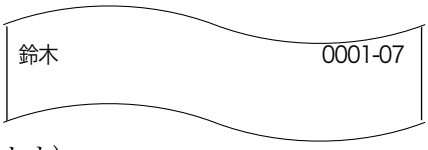
レジ担当者の名前を設定する

例題

担当者 01 の担当者名を『鈴木』にする

手順

印字例



1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

0 1 0 7 小計　（担当者 01 を指定します）

C/AC C　＜文字列クリア＞　（担当者 01 に設定されていた担当者名を消します）

「す」＜さ＞＜さ＞＜さ＞
＜→＞　（同じ行なのでカーソルを右に動かします）
「す」＜さ＞＜さ＞＜さ＞
「ず」＜゛゜＞
「き」＜か＞＜か＞
＜↓変換＞＜変換確定＞　（＜↓変換＞は「鈴木」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『鈴木』が担当者 01 に設定されます）

小計　（設定終了）

ポイント　1.担当者名は、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）が設定できます。
2.お買い上げ時の担当者名と操作コードは、110 ページをご覧ください。

商品グループ名の設定

モードスイッチの位置
設定

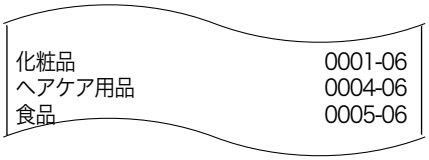
グループレポート上の商品グループの名前を設定する

例題

グループ番号 01 に『化粧品』を、グループ番号 04 に『ヘアケア用品』を設定する

手順

印字例



1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

0 1 0 6 小計　（グループ番号 01 を指定します）

C/AC C　＜文字列クリア＞　（グループ番号 01 に設定されていたグループ名を消します）

「け」＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞
「し」＜さ＞＜さ＞
「ょ」＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞
「う」＜あ＞＜あ＞＜あ＞
「ひ」＜は＞＜は＞
「ん」＜わ＞＜わ＞＜わ＞
＜↓変換＞＜変換確定＞（＜↓変換＞は「化粧」が出るまで繰り返します）
＜↓変換＞＜変換確定＞（＜↓変換＞は「品」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『化粧品』がグループ番号 01 に設定されます）

0 4 0 6 小計　（グループ番号 04 を指定します）

C/AC C　＜文字列クリア＞　（グループ番号 04 に設定されていたグループ名を消します）

＜切替＞　（半角ｶﾀｶﾅに切り替えます）
＜倍文字＞　（全角カタカナに切り替えます）
「へ」＜は＞＜は＞＜は＞＜は＞
「ア」＜あ＞
「ケ」＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞
「ア」＜あ＞
＜切替＞＜切替＞＜切替＞（全角ひらがなに切り替えます）
「よ」＜や＞＜や＞＜や＞
「う」＜あ＞＜あ＞＜あ＞
「ひ」＜は＞＜は＞
「ん」＜わ＞＜わ＞＜わ＞
＜↓変換＞＜変換確定＞（＜↓変換＞は「用品」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『ヘアケア用品』がグループ番号 04 に設定されます）

小計　（設定終了）

ポイント　グループ名は、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）のキャラクタが設定できます。
グループ番号“01”、“02”、“03”の番号の後に“06”を付けた数値が、グループ名キャラクタの設定コードとなります。

レシートメッセージの設定（1 / 4）

レシートメッセージを設定する

レシートには以下の３種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わり に印字する「ロゴメッセージ」　　最大６行
2. 店名ロゴの下部 に印字する「コマーシャルメッセージ」最大６行
3. レシートの最後 に印字する「ボトムメッセージ」　　最大６行

各メッセージは 1 行あたり半角で最大 32 文字（全角で 16 文字）が設定できます。
メッセージの設定コードは、ロゴメッセージは（0132 ～ 0632）、コマーシャルメッセージは（0732 ～ 1232）、ボトムメッセージは（1332 ～ 1832）です。

例題

ロゴメッセージに右記の内容を、また、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』のメッセージを設定する

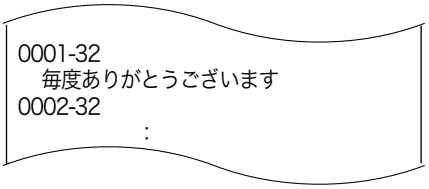
毎度ありがとうございます
カシオ商店

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

印字例



2 小計
0 1 3 2 小計　（ロゴメッセージ 1 行目を指定します）
C/AC C　＜文字列クリア＞　（設定されていたメッセージを消します）

「ま」 ＜ま＞
「い」 ＜あ＞＜あ＞
「と」 ＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞
「ど」 ＜“。＞
＜↓変換＞　（＜↓変換＞は「毎度」が出るまで繰り返します）
「あ」 ＜あ＞　（「毎度」が確定します）
「り」 ＜ら＞＜ら＞
「か」 ＜か＞
「が」 ＜“。＞
「と」 ＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞
「う」 ＜あ＞＜あ＞＜あ＞
「こ」 ＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞
「ご」 ＜“。＞
「さ」 ＜さ＞
「ざ」 ＜“。＞
「い」 ＜あ＞＜あ＞
「ま」 ＜ま＞
「す」 ＜さ＞＜さ＞＜さ＞

現/預 現/預　（1 行目を確定し、続いてロゴメッセージ２行目を指定します※1）

C/AC C　＜文字列クリア＞　（設定されていたメッセージを消します）
＜切替＞＜倍文字＞＜倍文字＞　（全角倍角カタカナに切り替えます）
＜→＞＜→＞　（文字を行の中心へ寄せるため入力開始位置を半角２文字分右へ移動します）

「カ」 ＜か＞
「シ」 ＜さ＞＜さ＞
「オ」 ＜あ＞＜あ＞＜あ＞＜あ＞＜あ＞

レシートメッセージの設定（2/ 4）

モードスイッチの位置
設定

<切替><切替><切替><倍文字>　（全角倍角ひらがなに切り替えます）
「し」 <さ><さ>
「ょ」 <や><や><や><や><や><や>
「う」 <あ><あ><あ>
「て」 <た><た><た><た>
「ん」 <わ><わ><わ>
<↓変換><変換確定>　（<↓変換>は「商店」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『カシオ商店』がロゴ２行目に設定されます）

0732 小計　（コマーシャルメッセージ１行目を指定します）

C/AC C　<文字列クリア>　（設定されていたメッセージを消します）

<倍文字>　（全角ひらがなに切り替えます）
「あ」 <あ>
「さ」 <さ>
「い」 <あ><あ>
「ち」 <た><た>
「を」 <わ><わ>
<↓変換>　（<↓変換>は「朝市」が出るまで繰り返します）
「か」 <か>　（「朝市を」が確定します）
「い」 <あ><あ>
「さ」 <さ>
「い」 <あ><あ>
「し」 <さ><さ>
「ま」 <ま>
「す」 <さ><さ><さ>
<↓変換><変換確定>　（<↓変換>は「開催」が出るまで繰り返します）

現/預　（これで『朝市を開催します』がコマーシャル１行目に設定されます）

小計　（設定終了）

ポイント

1. ロゴ、コマーシャル、ボトムの各メッセージはそれぞれ、印字 / 非印字の設定ができます。
2. 電子店名スタンプを装着すると、ロゴメッセージに設定された内容は印字されません。
3. ※1連続したメッセージ行の設定を行う場合は、現/預 キーを押すことで次のメッセージ行が自動的に指定されます。また、このタイミングで 現/預 キーの代わりに 小計 キーを押すと設定を終了できます。

参照 レシートメッセージの印字 / 非印字の設定 ⋙ 95 ページ

レシートメッセージの設定（3/ 4）

レシートに住所や電話番号を設定する

電子店名スタンプには、レシートに印字する住所や電話番号が入ります。しかし、電子店名スタンプの納入前や、住所変更に依る電子店名スタンプの作り直しで電子店名スタンプを装着できない場合、レジスターにこの内容を設定します。

レシート用住所・電話番号 として印字する行　最大 3 行
メッセージは 1 行あたり半角で最大 32 文字（全角では 16 文字）が設定できます
メッセージの設定コードは、3432 ～ 3632 です。

例題

電話番号を『電話：03-1212-3434』に、住所を『東京都渋谷区本町』に変更する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

印字例



2 小計		
3 4 3 2 小計		（レシート用住所・電話番号 1 行目を指定します）
C/AC C	＜文字列クリア＞	（設定されていたメッセージを消します）
	「て」＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞	
	「で」＜“。＞	
	「ん」＜わ＞＜わ＞＜わ＞	
	＜→＞	
	「わ」＜わ＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	（＜↓変換＞は「電話」が出るまで繰り返します）
	＜切替＞＜切替＞＜倍文字＞	（全角英文字に切り替えます）
	「：」＜0＞＜0＞＜0＞＜0＞	
	＜切替＞	（半角数字に切り替えます）
	「0」＜0＞	
	「3」＜3＞	
	＜切替＞＜切替＞＜切替＞	（半角英文字に切り替えます）
	「-」＜0＞＜0＞＜0＞	
	＜切替＞	（半角数字に切り替えます）
	「1」＜1＞	
	「2」＜2＞	
	「1」＜1＞	
	「2」＜2＞	
	＜切替＞＜切替＞＜切替＞	（半角英文字に切り替えます）
	「-」＜0＞＜0＞＜0＞	
	＜切替＞	（半角数字に切り替えます）
	「3」＜3＞	
	「4」＜4＞	
	「3」＜3＞	
	「4」＜4＞	
現/預 現/預		（1 行目を確定し、続いてレシート用住所・電話番号を 2 行目を指定します※1）

レシートメッセージの設定（4/ 4）

C/AC C	＜文字列クリア＞	（設定されていたメッセージを消します）
	＜切替＞	（全角ひらがなに切り替えます）
「と」	＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞	
「う」	＜あ＞＜あ＞＜あ＞	
「き」	＜か＞＜か＞	
「ょ」	＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞＜や＞	
「う」	＜あ＞＜あ＞＜あ＞	
「と」	＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞＜た＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	（＜↓変換＞は「東京都」が出るまで繰り返します）
「し」	＜さ＞＜さ＞	
「ふ」	＜は＞＜は＞＜は＞	
「ぶ」	＜゛゜＞	
「や」	＜や＞	
「く」	＜か＞＜か＞＜か＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	（＜↓変換＞は「渋谷区」が出るまで繰り返します）
「ほ」	＜は＞＜は＞＜は＞＜は＞＜は＞	
「ん」	＜わ＞＜わ＞＜わ＞	
「ま」	＜ま＞	
「ち」	＜た＞＜た＞	
	＜↓変換＞＜変換確定＞	（＜↓変換＞は「本町」が出るまで繰り返します）
現/預		（これで『東京都渋谷区本町』が2行目に設定されます）
小計		（設定終了）

ポイント

1. 電子店名スタンプを装着すると、電子店名スタンプの中のレシート用住所・電話番号、領収書用住所・電話番号、領収書用会社名を使用します。（この節で設定した内容は無視されます）
2. ※1連続したメッセージ行の設定を行う場合は、現/預 キーを押すことで次のメッセージ行が自動的に指定されます。また、このタイミングで 現/預 キーの代わりに 小計 キーを押すと設定を終了できます。

合計項目名やタイトル名の設定

固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する

日計明細や期間集計のレポート上に印字される総売上や純売上などの名称を変更できます。（最大半角 12 文字）また、レポート頭のタイトル名を変更することができます。（最大 半角 16 文字）

例題

「総売」を『総売上』に にする

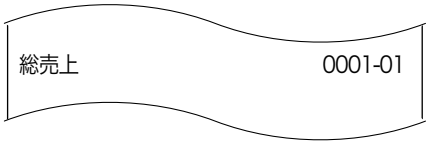
手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計		
0 1 0 1 小計		（下記設定コード）
C/AC C	＜文字列クリア＞	（すでに設定されている文字を消します）
	＜文字入力＞	（部門などの設定を参照してください）
現/預		
小計		（設定終了）

印字例



固定合計器項目名の設定コードとその内容：

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
総売上	0101	総売上
純売上	0201	純売上
現金在高	0301	現金在高
貸売在高	0401	貸在高
商品券在高	0501	商品券在高
信用売在高	0601	ｸﾚｼﾞｯﾄ在高
戻モード	2701	戻ﾓｰﾄﾞ
万円券枚数	3401	万円
5/10 円丸め	3501	ｻｰﾋﾞｽ
取引中止	3601	取引中止

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
電卓操作回数	3701	電卓
印紙付き領収書	3801	領収書　印紙
印紙無し領収書	3901	領収書
内税対象額	4101	内税対象計
内税額	4201	内税
外税対象額	4401	外税対象額
外税額	4501	外税額
消費税合計	5301	消費税合計
非課税合計	5401	非課税合計
奉仕料	5501	奉仕料

レポートタイトルの設定コードとその内容：

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
固定合計器レポート	0124	固定合計器
取引レポート	0224	取引
PLU レポート	0324	PLU
部門レポート	0424	部門
グループレポート	0524	グループ
担当者レポート	0624	担当者

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
時間帯レポート	0824	時間帯
月間売上レポート	0924	月間日別
オープンチェック	1224	ｵｰﾌﾟﾝﾁｪｯｸ
在売点検レポート	1624	在売点検
アイテム個別	2424	個別点検

取引シンボルの設定

モードスイッチの位置
設定

取引シンボル（固定キャラクタ）を設定する

円マークやレシート上の合計・釣り銭などの文字を変更できます。（文字数はシンボルにより異なります）

例題

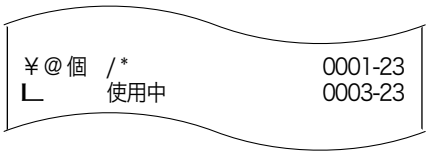
① レポート上の個数シンボルを「個」から「件」にする。
② 乗算シンボルの「点」を「L」にする。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

2 小計		
0 1 2 3 小計		（「個」シンボルのメモリ番号＋２３）
	＜→＞（５回押す）	（変更する「個」を反転表示します）
	「け」＜か＞＜か＞＜か＞＜か＞	
	「ん」＜わ＞＜わ＞	
	＜↓変換＞	（「件」が出るまで繰り返します）
	＜変換確定＞	
現/預		
0 3 2 3 小計		（「点」シンボルのメモリ番号＋２３）
	＜１文字クリア＞	（「点」を消します）
	＜切替＞＜切替＞＜倍文字＞	（切替キーで半角英字、倍文字キーで全角英字にします）
	「L」＜な＞＜な＞＜な＞	
現/預		
小計		（設定終了）

印字例



取引シンボルの設定コードとその内容：

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
円、単価、件数、個数（２ずつ）	0123	¥ @ 件 / **
ﾚﾎﾟｰﾄ上の点数、客数、枚数（２ずつ）	0223	点名枚 **
乗算（２）	0323	点　使用中
税シンボル１、２（２ずつ）	0423	外　外
非奉仕対象、非課税（２ずつ）	0523	#　非＊
登録、戻、ﾚｼﾞﾏｲﾅｽﾓｰﾄﾞ（４ずつ）	0723	戻　REG-
設定、点検、精算モード（４ずつ）	0823	P　点検精算

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
電卓、練習モード（４ずつ）	0923	電卓練習 MGR
預かり時合計印字（８）	1023	合　計
現金預かり印字（８）	1123	お預り
釣り銭印字（８）	1223	お　釣
後レシート合計印字（８）	1323	合計
小計印字（８）	1823	小計
AM,PM 印字（３ずつ）	1923	AM PM

（　）は半角文字で設定できる文字数を示す。

その他の設定（1/12）

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。**必要に応じて設定をしてください。**

レジ番号を設定する

お店に２台以上のレジスターがある場合や店舗の区別を付けたい場合にレジ番号を設定します。

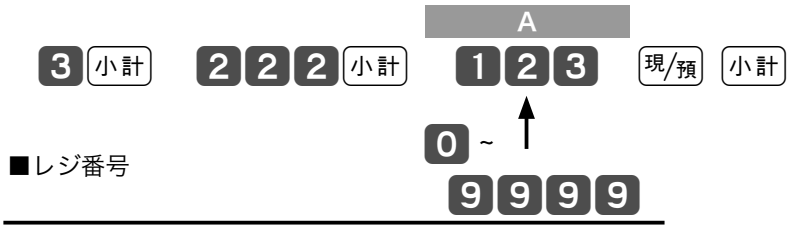
例題

レジ番号 **“123”** を設定する

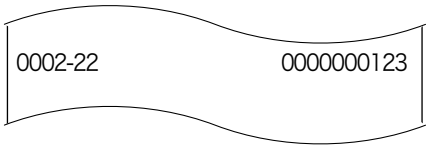
手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。



印字例



ポイント **ご購入時は一連番号等の設定は “ 0000 ” になっています。（この場合、レジ番号は印字されません）**

レジ番号の印字例 ⋙ 20 ページ

一連番号について設定する

レシート等に印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める（日計明細の精算後にリセットする）か、連続番号にする（日計明細の精算後にリセットしない）のかを設定します。

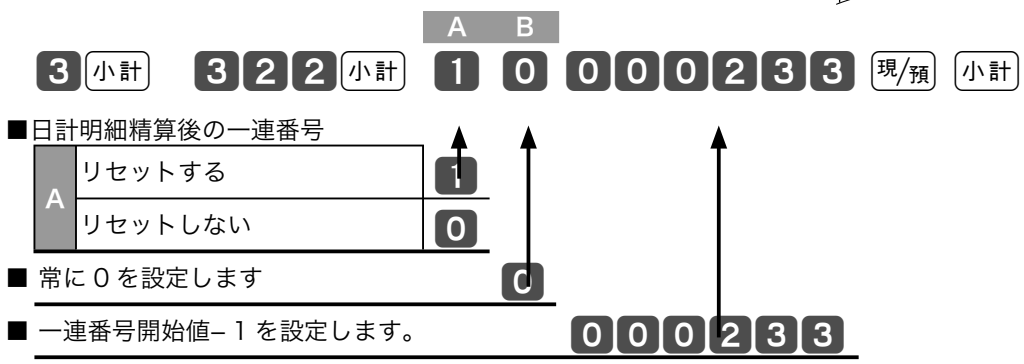
例題

「一連番号」を毎日 **“ 000234 ”** から始める

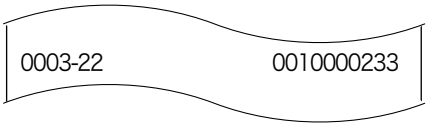
手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。



印字例



ポイント **ご購入時は一連番号等の設定は “ 0 0 000000 ” になっています。毎日１から始める場合は “ 1 0 000000 ” を設定します。**

注意 **一連番号の開始値– 1 を設定します。**

レシートやジャーナルの印字内容を設定する

レシートやジャーナルには下記の項目を印字したり、印字しなかったりすることができます。

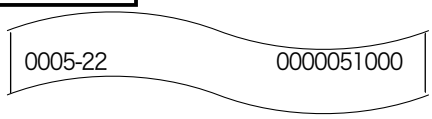
例題

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」に、点検・精算時の売上構成比を「印字する」に、消費税を「国税分と地方税分に再計算する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

印字例



A B C D E F G H

3 小計 5 2 2 小計 0 0 0 0 0 5 1 0 0 0 現/預 小計

■ 常に 0 を設定します

0

■課税対象額、税率の印字 / 非印字

	課税対象額	税率	
B	印字する	印字する	0
		印字しない	2
	印字しない	印字する	1
		印字しない	3

■ ジャーナルへの明細印字（ジャーナルスキップ）

C	印字する		0
	印字しない	（ジャーナルスキップする）	1

■ 常に 00 を設定します

0 0

■ 売上げ構成比の印字 / 非印字、日計精算書の出力枚数、税の再計算

E	X/Z で売上げ構成比を	日計明細精算での出力枚数	X/Z で消費税を国と地方に再計算	
	印字する	1 枚	再計算する	5
			再計算しない	1
		2 枚（ダブルレポート）	再計算する	7
			再計算しない	3
	印字しない	1 枚	再計算する	4
			再計算しない	0
		2 枚（ダブルレポート）	再計算する	6
			再計算しない	2

■買い上げ点数、税シンボルの印字 / 非印字、ジャーナル圧縮印字

	買い上げ点数	税シンボル	圧縮印字	
F	印字する	印字する	圧縮印字	1
			通常印字	5
		印字しない	圧縮印字	3
			通常印字	7
	印字しない	印字する	圧縮印字	0
			通常印字	4
		印字しない	圧縮印字	2
			通常印字	6

■ 常に 00 を設定します

0 0

■後レシートの頭に客数を

H	印字する		0
	印字しない		2

ポイント ご購入時の印字制御の設定は“０００００００００２”になっています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合が有ります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

その他の設定（2/12）

強制操作や演算方法を設定する

操作ミスを防ぎ、確認をうながすために、「強制操作」の設定ができます。また、件数や個数、金額などの入力や集計方法も変更できます。

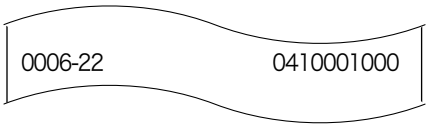
例題

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」に、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

印字例



A B C D E F G H

3 小計 6 2 2 小計 **0 4 0 0 0 0 1 0 0 0** 現/預 小計

■客数入力の強制

A	強制しない	0
	強制する	1

■締め時の 小計 キー強制や戻モードの登録など

	締め操作時に 小計 押し強制	戻モードの登録	
B	強制しない	続けて可能	0
		1回のみ可能	4
	強制する	続けて可能	1
		1回のみ可能	5

■ 常に 00 を設定します **0 0**

■キーバッファクリア、登録確認音

	レシート発行時のキーバッファクリア	キー操作時の確認音 有 / 無	
D	クリアする	確認音あり	1
		確認音なし	3
	クリアしない	確認音あり	0
		確認音なし	2

■ 券 、 クレジット/決定 などの締めで、ドロアを開ける / 開けない

E	開ける	0
	開けない（スリットドロア）	4

■戻しモードでの件数は加算 / 減算

F	加算する（戻しモード）	0
	減算する（レジマイナスモード）	1

■ 常に 00 を設定します **0 0**

■担当者を使用する / 使用しない

H	担当者を使用する	2
	担当者を使用しない	0

ポイント ご購入時の強制操作・演算の設定は“0000000000”になっています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合が有ります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

明細レポートの内容を設定する　その1

点検または精算で打ち出される明細レポート（固定合計器部分）の印字項目個々を印字するか、印字しないかを決めます。

例題

値引き合計と戻しキー合計を「印字する」に、丸め合計も「印字する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

A　B　C　D　E　F

3 小計　8 2 2 小計　0 6 2 1 0　0　0　1　4　0　現/預　小計

■ 常に 06210 を設定します

■純客数、客単価の印字 / 非印字

	純客数	客単価	
B	印字する	印字する	0
		印字しない	2
	印字しない	印字する	1
		印字しない	3

■ 他国通貨在高、値引き合計、戻し合計の印字 / 非印字

	他国通貨在高	値引き合計	戻 合計	
C	印字する	印字する	印字する	0
			印字しない	4
		印字しない	印字する	2
			印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	1
			印字しない	5
		印字しない	印字する	3
			印字しない	7

■万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字 / 非印字

	万券枚数	丸め合計	取引中止合計	
D	印字する	印字する	印字する	0
			印字しない	4
		印字しない	印字する	2
			印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	1
			印字しない	5
		印字しない	印字する	3
			印字しない	7

■電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字 / 非印字

	領収書合計	電卓モード	
E	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
		印字しない	7

■ 常に 0 を設定します　0

ポイント **ご購入時の固定合計器の印字制御 1 の設定は “ 06210 37240 ” になっています。**

印字例

0008-22　0621000140

その他の設定（3/12）

明細レポートの内容を設定する　その2

点検または精算で打ち出される明細レポート（固定合計器部分）の印字項目個々を印字するか、印字しないかを決めます。

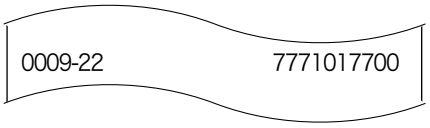
例題

消費税、および奉仕料を「印字しない」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

印字例



A B C D E F G H

3 小計　9 2 2 小計　7 7 7 1 0 1 7 7 0 0 現/預 小計

■ 消費税 1/2 の課税対象額、税額の印字 / 非印字

	消費税 1 の対象額と税額	消費税 2 の対象額と税額	
A	印字する	印字する	2
		印字しない	6
	印字しない	印字する	3
		印字しない	7

■ 常に 7 を設定します　7

■消費税額合計の印字 / 非印字

C	印字する	3
	印字しない	7

■消費税非課税合計の印字 / 非印字

D	印字する	0
	印字しない	1

■ 常に 0 を設定します　0

■奉仕料合計の印字 / 非印字、在高申告の金種明細の印字 / 非印字

	奉仕料合計を	在高申告の金種明細を	
F	印字する	印字する	0
		印字しない	2
	印字しない	印字する	1
		印字しない	3

■ 常に 770 を設定します　7 7 0

■月間日別の合計で平均単価の印字 / 非印字

H	印字する		0
	印字しない		1

ポイント **ご購入時の固定合計器の印字制御 2 の設定は “２７３００１７７００” になっています。**

レシートの印字内容を設定する

レシートには、下記の項目を印字したり、印字しなかったりすることができます。

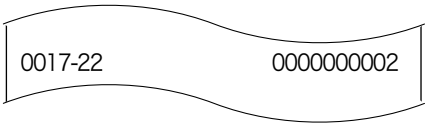
例題

レシートのコマーシャルメッセージを「印字する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わます。
2 以下の操作をおこないます。

印字例



3 小計　1722 小計　A:0 B:0 C:0 D:2　現/預　小計

■ 日付および一連番号の印字 / 非印字

	レシートの日付	ジャーナルの日付	一連番号	
A	印字する	印字する	印字する	0
			印字しない	4
		印字しない	印字する	2
			印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	1
			印字しない	5
		印字しない	印字する	3
			印字しない	7

■時刻の印字 / 非印字

	レシートの時刻	ジャーナルの時刻	
B	印字する	印字する	0
		印字しない	2
	印字しない	印字する	1
		印字しない	3

■ 常に 0 を設定します　0

■ロゴメッセージ・コマーシャルメッセージ・ボトムメッセージの印字 / 非印字

	ロゴメッセージ	コマーシャルメッセージ	ボトムメッセージ	
C	設定されたメッセージを印字する	印字する	印字する	7
			印字しない	3
		印字しない	印字する	5
			印字しない	1
	電子店名スタンプの店名ロゴまたは御計算書を印字する	印字する	印字する	6
			印字しない	2
		印字しない	印字する	4
			印字しない	0

ポイント **ご購入時のレシートの印字制御の設定は“００００”になっています。**

注意 **レシートへの時刻の非印字を“P01”の簡易設定（⏭ 67 ページ）で行なった場合は、この設定の項目“B”では“5”または“7”を設定してください。**
販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合が有ります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

その他の設定（4/12）

強制解除キーの機能を設定する

普通の方法ではどうしてもエラーが解除できない場合、強制終了キーを２回押してエラーを解除します。この設定では、強制解除が現金売りとして機能するか / 取引中止として機能するか、を選択します。

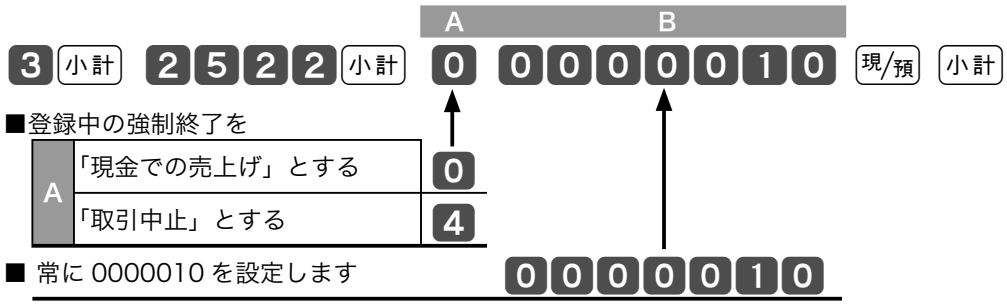
例題

登録中の強制解除を「現金売り」にする

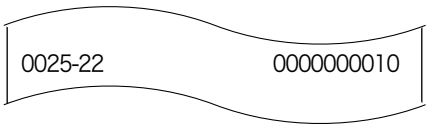
手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。



印字例



ポイント **ご購入時の強制解除機能の設定は“４0000010”（取引中止）になっています。**

注意 **販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合が有ります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。**

領収書の印字内容を設定する

領収書に印字される内容を設定します。（印紙貼付が必要な合計金額、但し書きの内容、領収書用一連番号の扱いなど）

例題

領収書の但し書きへ「お食事代として」を印字し、領収書用一連番号は、日計明細の精算でも“０”にしない

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

印字例

0027-22　　0210030000

A　B　C　D

3 小計　2722 小計　2　1　0　030000　現/預　小計

■但し書き部分への印字

A	非印字	0
	「お品代」を印字	1
	「お食事代」を印字	2

■日計明細精算後の領収書用一連番号の処理

B	領収書用一連番号	
	リセット	0
	ノンリセット	1

■領収書名、レシート一連番号と税額の印字 / 非印字

	領収書 / 領収証	レシート一連番号	税額の印字	
C	領収書	印字する	印字する	0
			印字しない	1
		印字しない	印字する	2
			印字しない	3
	領収証	印字する	印字する	4
			印字しない	5
		印字しない	印字する	6
			印字しない	7

■収入印紙の必要額（円単位）を６桁で設定します　030000

ポイント　収入印紙必要額は、必ず６桁で設定します。
ご購入時の領収書関連の設定は“０００030000”が設定されています。

注意　金額を指定した領収書発行（⋙ 27 ページ）では、領収書上の税額は設定に依らず印字はしません。
簡易設定（⋙ 67 ページ）で領収書の但し書きやタイトルを指定している場合は、この設定の後でもう一度簡易設定を行なってください。

文字の濃さと背景印字を設定する

ロールペーパーを変更して文字が濃すぎたり薄すぎた場合、この設定で濃さを変更します。また、レシートや領収書の背景印字パターンを設定します。

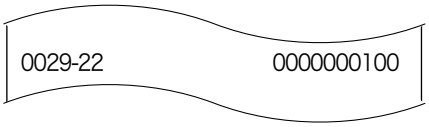
例題

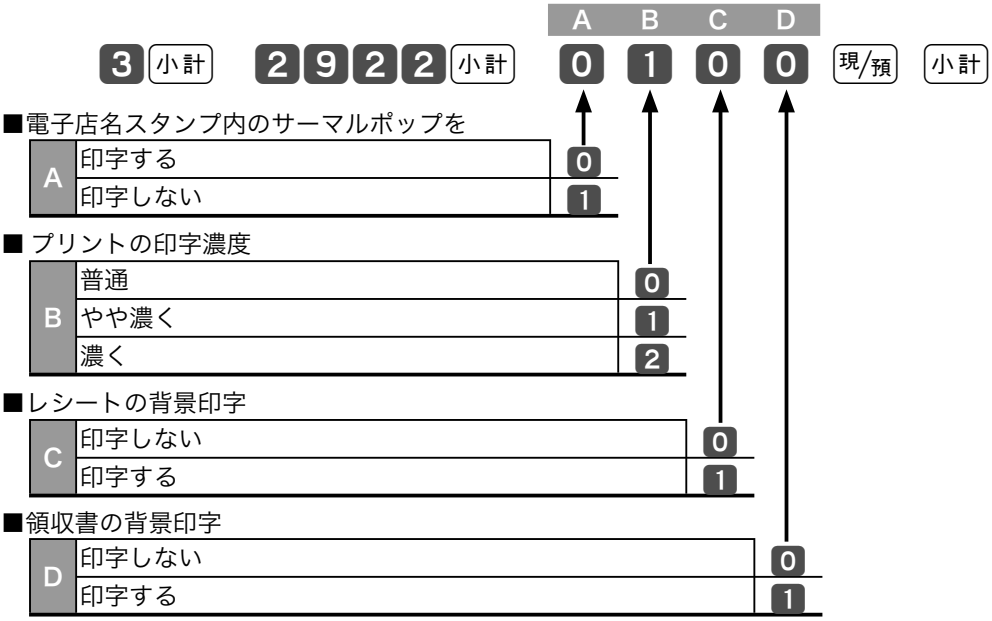
印字濃度を“やや濃く”に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

印字例





ポイント **ご購入時の印字濃度は“００００”（普通）に設定されています。**

注意 レシートおよび領収書への背景印字の簡易設定（⏭ 67 ページ）をしていた場合は、この設定が終わった後でもう一度その簡易設定を行なってください。

通常、電子店名スタンプ（別売オプション）の中にサーマルポップが入っていればレシート上に印字されます。項目 A の設定は、レシートロゴは電子店名スタンプを使いながらサーマルポップの印字だけを止めたいときに使用します。

本体表示のバックライトを設定する

本体表示のバックライトを使用するか否か、使用する場合バックライトの点灯時間を設定します。

例題

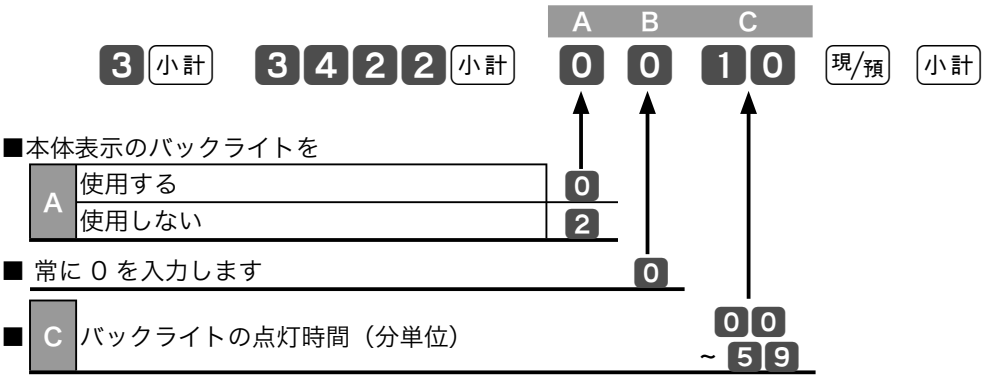
バックライトを使用し、10 分間点灯すると設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

印字例

0034-22　　0000000010



ポイント **ご購入時のバックライトの設定は “ 0 0 20 ” に設定されています。点灯時間を "00" と設定すると、バックライトは消灯しません。**

その他の設定（6/12）

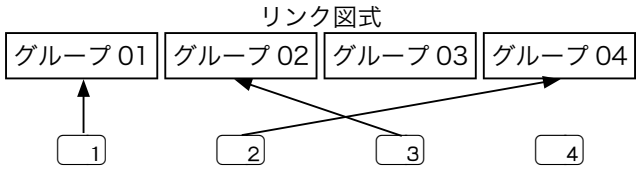
部門キーにリンクグループを設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定することにより、「グループ別集計」を求めることができます。（この指定を「グループリンク」と言います）

例題

部門キーを以下のようなグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
1	グループ 01	0100
2	グループ 04	0400
3	グループ 02	0200



手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定３でリンクグループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1166 小計

3 グループ番号を入力し、該当キーを押します。

0100 1

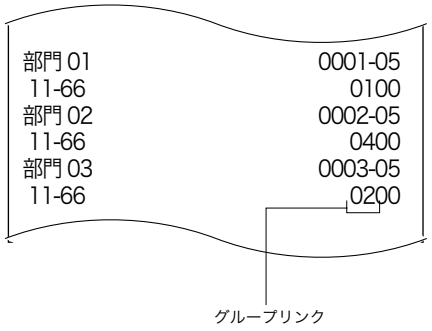
0400 2

0200 3

4 小計 キーを押します。

小計

印字例



ポイント グループ番号は 01 ～ 20 まで設定することができます。
ご購入時は、すべての部門キーはどのグループにも集計されません。

部門 / フラット PLU キーに 単品現金売りを設定する

部門キーやフラット PLU キーを押すだけでレシートを発行（取引終了）したいときは「単品現金売り」を部門 / フラット PLU キーに設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

例題

部門キー 2 に 単品現金売りを設定する

手順

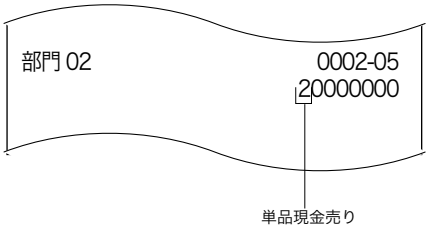
1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

3 小計 1866 小計 2 2 小計

■単品現金売り	
通常の部門 / フラット PLU	0
単品現金売りにする	2

印字例



ポイント ご購入時は、全てのキーが “ 0 ”（通常のキー）になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

部門 / フラット PLU キーに 入力できる桁数を設定する

単価入力ミスを軽減するために、部門やフラット PLU キーに登録できる商品単価の最高桁数を設定します。

例題

部門キー [2] に 3桁（¥1 から ¥999）までの桁制限を設定する

手順

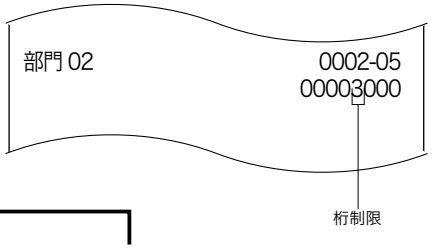
1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

3 小計　7 6 6 小計　3 [2] 小計

■桁制限

入力制限無し	0/7	3桁（¥1 ~ ¥999）	3	6桁（¥1 ~ ¥999999）	6
1桁（¥1 ~ ¥9）	1	4桁（¥1 ~ ¥9999）	4	プリセット単価のみ	8/9
2桁（¥1 ~ ¥99）	2	5桁（¥1 ~ ¥99999）	5		

印字例



ポイント ご購入時は、全てのキーが“0”（入力制限無し）になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

部門 / フラット PLU キーに マイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ部門 / フラット PLU キーに設定します。

例題

部門キー [4] に ハッシュ品目を、部門キー [3] に負単価を設定する

手順

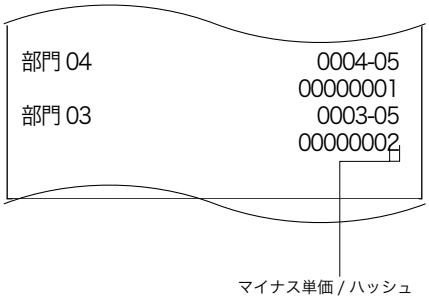
1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。

3 小計　5 6 6 小計　4 [4] 2 [3] 小計

■負単価およびハッシュ品目

通常の部門	0
負単価にする	2
ハッシュ品目にする	4
負単価でハッシュ品目	6

印字例



ポイント ご購入時は、全てのキーが“0”（通常のキー）になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

部門 / ﾌﾗｯﾄ PLU キーのいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に 1 つの部門キーやフラット PLU キーに設定できます。

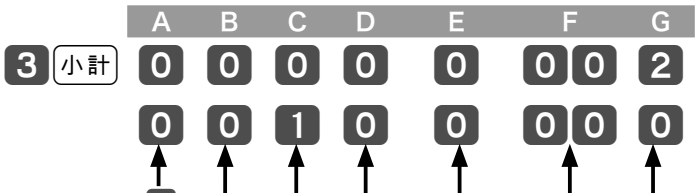
例題

部門 01 を負単価に、フラット PLU0012 を外税対象にする。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ 単品現金売り
通常の部門 / フラット PLU ＝ 0、単品現金売り＝ 2 → 0

■ 常に 0 を設定します → 0

■消費税の課税方式

C	内税対象	0
	外税対象	1
	非課税対象	5

■奉仕料計算対象

D	奉仕料対象とする	0
	奉仕料対象としない	1

■入力最大桁制限

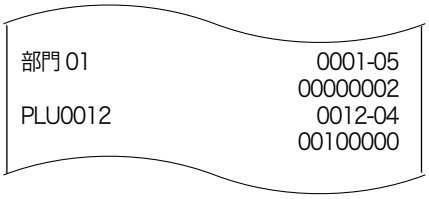
E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8, 9

■ 常に００を設定します → 0 0

■ 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

ポイント **ご購入時はすべての部門 / フラット PLU キーに“０００００００”が設定されています。**



PLU / ﾌﾗｯﾄ PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

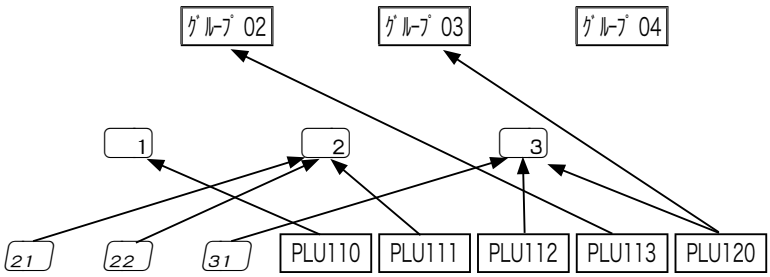
PLU に集計される金額と数量を、同時に「部門」にも集計したいときに、その部門を指定することを「部門リンク」と言います。なお、部門でなく「グループ」へ直接リンクさせることもできます。

例題

PLU を以下のように部門またはグループにリンクさせる

ﾌﾗｯﾄ PLU キー / PLU 番号	リンク先	入力コード
21、22	2（部門番号 02）	2
31	3（部門番号 03）	3
PLU No.110	1（部門番号 01）	1
PLU No.111	2（部門番号 02）	2
PLU No.112	3（部門番号 03）	3
PLU No.113	グループ 02	2 0 0
PLU No.120	3 とグループ 03	3 0 3

リンク図式



手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定３でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1 1 6 6 小計

3 リンク部門グループ番号を入力し、該当キーを押します。

2 21 22

3 31

1 1 0 PLU 1 現/預

2 現/預　（PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）

3 現/預　（PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）

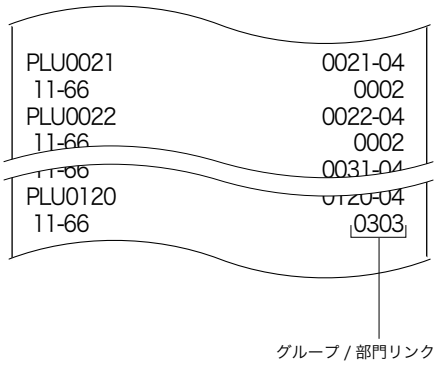
2 0 0 現/預　（PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）（グループ指定のときは、グループ番号後に 00 を入力します）

1 2 0 PLU 3 0 3 現/預

4 小計 キーを押します。

小計

印字例



ポイント **リンクできる部門番号は 01 ～ 15 で、グループ番号は 01 ～ 20 です。**
ご購入時は、すべての PLU やフラット PLU はどの部門やグループにもリンクされていません。

注意 **PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定した場合は、PLU 登録時に同じ金額、数量が部門とグループの両方に加算されます。**

その他の設定（8/12）

PLU に 単品現金売りを設定する

PLU コードを入力して PLU キーを押すだけでレシートを発行（取引終了）したいときは「単品現金売り」を PLU に設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

例題

PLU 番号 152 と 153 に 単品現金売りを設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定３で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 1 8 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 2 PLU 2 現/預

■単品現金売り

通常の PLU	0
単品現金売りにする	2

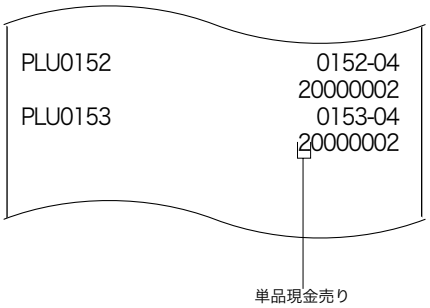
2 現/預 （PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）

4 小計 キーを押します。

小計

ポイント **ご購入時は、全てのキーが “ 0 ”（通常の PLU）になっています。**

印字例



PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常、設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、《品番 PLU 》を設定します。（品番 PLU の解説と操作例 ⏭ 37 ページ）

例題

PLU 番号 150 と 151 に品番 PLU を設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定３で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 4 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 0 PLU 4 現/預

■設定数値

PLU 指定	0
品番 PLU 指定	4

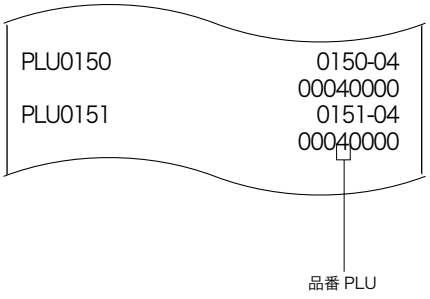
4 現/預 （PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）

4 小計 キーを押します。

小計

ポイント **ご購入時は、すべての PLU は品番 PLU でなく、PLU 指定になっています。**

印字例



PLU に マイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ PLU に設定します。

例題

PLU155 に ハッシュ品目を、PLU156 に負単価を設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定３で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 5 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 5 PLU 4 現/預

■負単価およびハッシュ品目

通常の PLU	0
負単価にする	2
ハッシュ品目にする	4
負単価でハッシュ品目	6

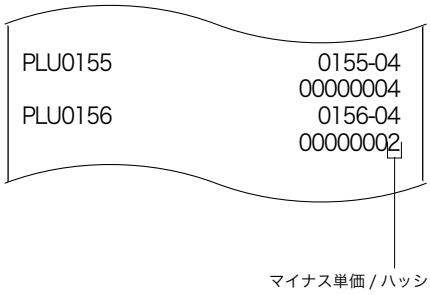
2 現/預 （PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要）

4 小計 キーを押します。

小計

ポイント ご購入時は、全てのキーが “ 0 ”（通常の PLU）になっています。

印字例



その他の設定（9/12）

PLU のいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に 1 つの PLU に設定できます。

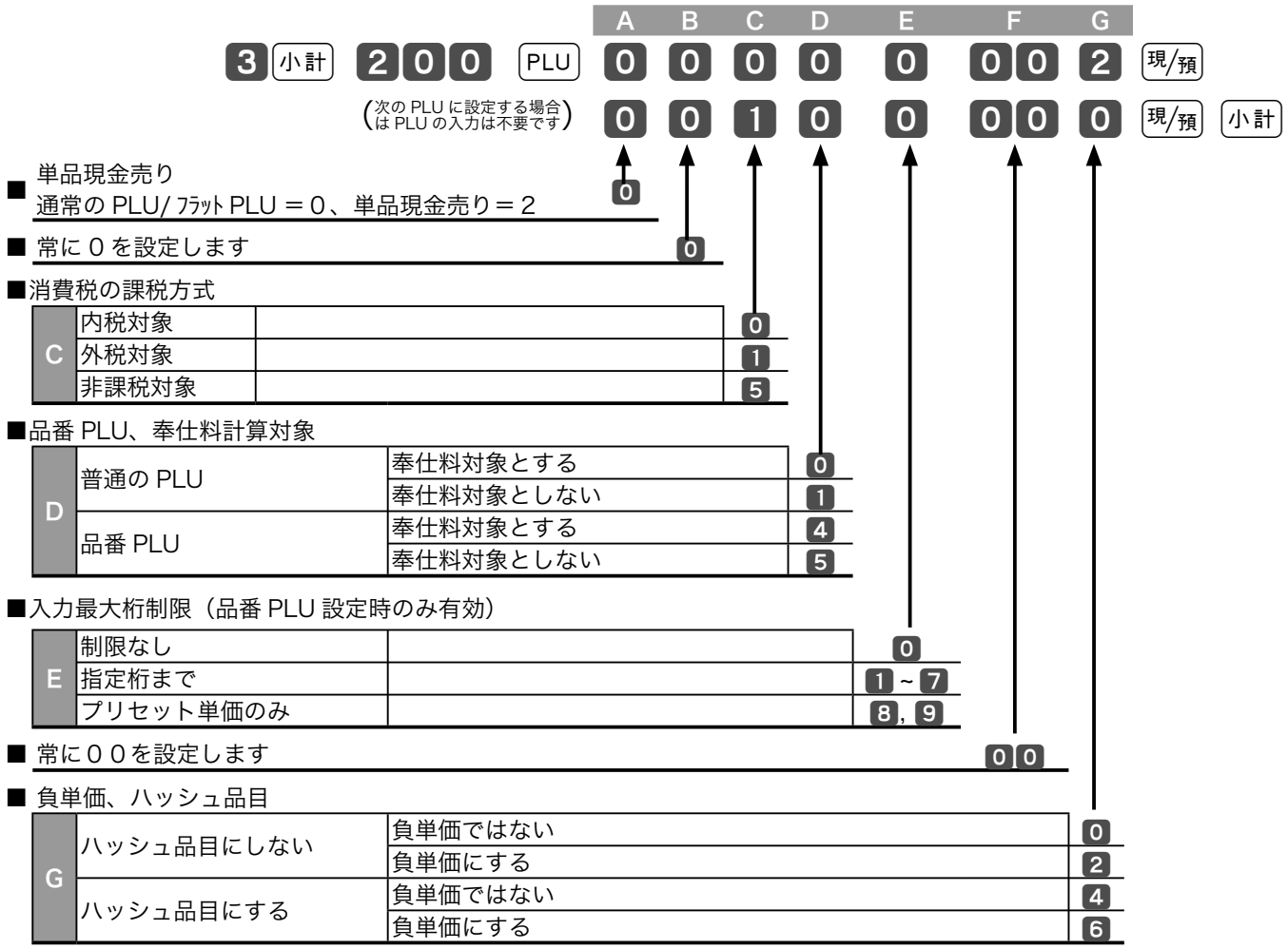
例題

PLU200 を負単価に、PLU201 を外税対象にする。

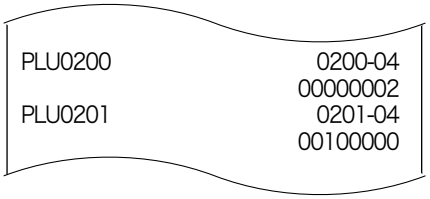
手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



ポイント **ご購入時はすべての PLU に “０００００００００” が設定されています。**



締めキー（現金売りや券売りなど）の機能を設定する

[現/預] キーや [券] キーなどの「締めキー」の機能を設定します。設定できる機能には「預かり不足を報知する（51 ページ参照）」や釣銭の最大金額や預かり金入力の強制などがあります。

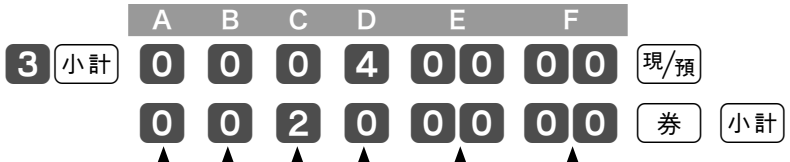
例題

[現/預] での預かり入力を「強制する」に、[券] でのお釣りを「エラー」にする

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ クレジット売りの仕様（[クレジット/決定]、[iD] キーのみ有効）

[クレジット/決定] キーとして使用＝0、
[iD] キーとして使用＝1、
信用売り（KT-10 を使用しない）＝2

■ 常に 0 を設定します

■お釣りのある預かりの可 / 不可、内税金額の印字 / 非印字

	お釣りのある預かり	内税対象額と内税額	
C	可能	印字する	0
		印字しない	1
	不可（エラー）	印字する	2
		印字しない	3

[クレジット/決定] キーや [iD] キーは、この設定はできません。

■預かり不足の報知、預かり金入力の可 / 不可、預かり入力の強制

	預かり不足	預かり入力	預かり入力の強制	
D	報知しない	可能	強制しない	0
			強制する	4
		不可	強制しない	2
			強制する	6
	報知する	可能	強制しない	1
			強制する	5
		不可	強制しない	3
			強制する	7

[クレジット/決定] キーや [iD] キーは、この設定は必ず 2 を入れます。

■預かり金額または小計金額の制限

E	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

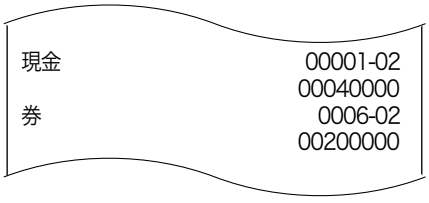
■釣り銭金額の制限

F	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

◇上記 E、F の「金額の制限」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限　10,000 円　→　数値 “14”
金額制限　7,000 円　→　数値 “73”
金額制限　2,500 円　→　設定できません
金額制限　なし　→　数値 “00”



ポイント　ご購入時は [現/預]、[券] キーに “ 0 0 0 0 00 00 ”，[貸]、[クレジット/決定] キーに “ 0 0 0 2 00 00 ”，[iD] キーに “ 1 0 0 2 00 00 ” が設定されています。

その他の設定（10/12）

値引きキーの機能を設定する

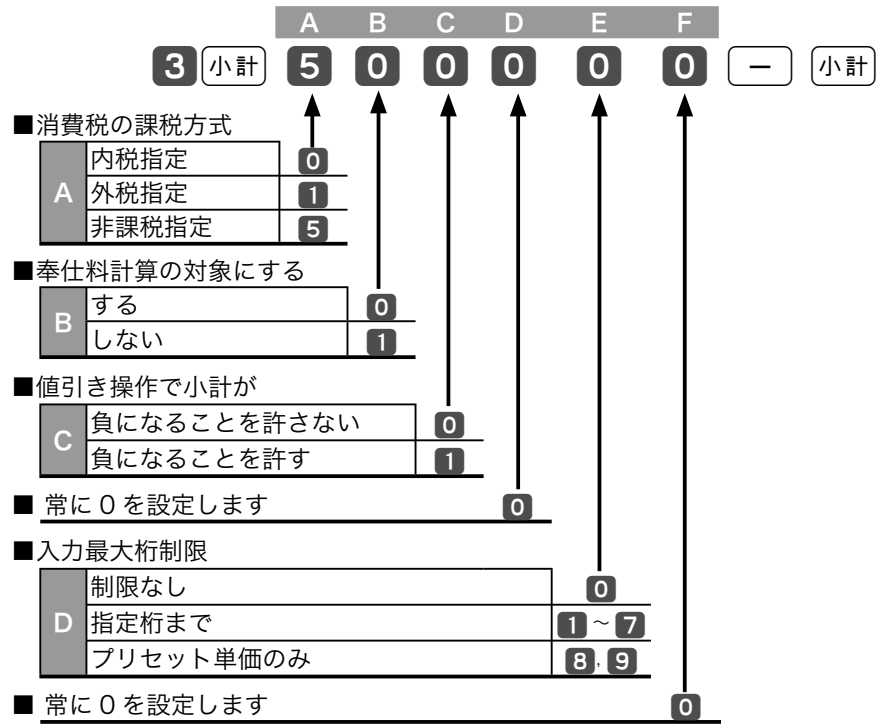
値引きキーに課税ステータスその他を設定します。

例題

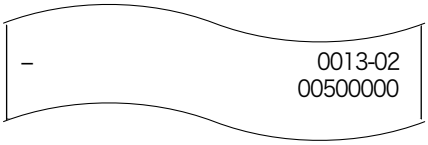
値引きキーを非課税扱いにする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



印字例



ポイント **ご購入時は“０００００００”（内税指定）が設定されています。**
上記 A の「課税方式」の設定は、68 ～ 70 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

割引きキーや割増しキーの機能を設定する

割引きキーや割増しキーの持つ機能を設定します（端数処理など）

例題

%− の円未満を「切上げ」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

A B C D E

3 小計 4 0 0 2 0 0 %− 小計

■消費税の課税方式

A	内税指定	0
	外税指定	1
	オール課税指定	4
	非課税指定	5

■奉仕料計算の対象にする

B	する	0
	しない	1

■新たな%率を置数しての%計算

C	可能	0
	禁止	2

■%計算の端数処理

D	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

■ 常に 00 を設定します　0 0

印字例

```
%−                    0014-02
                      00400200
```

ポイント

ご購入時は“００４００００”（内税指定、四捨五入）が設定されています。

上記 A の「課税方式」の設定は、68 ～ 70 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

乗算キーの機能（操作順と端数処理）を設定する

乗算登録の場合の操作順序（数量×単価 or 単価×数量）および円未満の端数処理方法を設定します。

例題

乗算登録の計算順を「単価×数量」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

A B C

3 小計 1 0 0 0 ×/日時 小計

■乗算の操作順序

A	数量×単価	0
	単価×数量	1

■乗算の端数処理

B	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

■ 常に 00 を設定します　0 0

印字例

```
X                     0021-02
                      00001000
```

ポイント

ご購入時の設定は“００００００”（乗算の計算順序は「数量×単価」、端数処理は「四捨五入」）になっています。

⚠注意

乗算の計算順を「単価×数量」にした場合は、「ﾌﾗｯﾄ PLU キーの乗算登録」、「PLU の乗算登録」、「スキャニング PLU の乗算登録」と「時刻・日付の表示」ができなくなります。（35 ページ参照）

その他の設定（11/12）

入金、出金キーの機能を設定する

入金や出金キーには、入力間違いを防ぐための置数入力制限を設定します。

例題

50000 円以上の入金と 10 万円以上の出金を「エラー」にする

手順

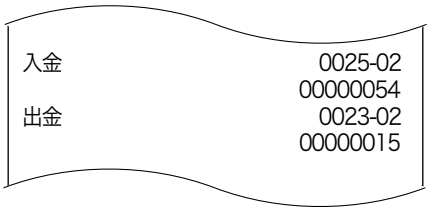
1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■置数入力金額の制限

A	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

印字例



◇上記 A の「金額の制限」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限　10,000 円 →　数値 “14”　　7,000 円 →　数値 “73”　　なし →　数値 “00”

金額制限　2,500 円 →　設定できません

ポイント　ご購入時は “ 00 ” が設定されています。

担当者番号を設定する

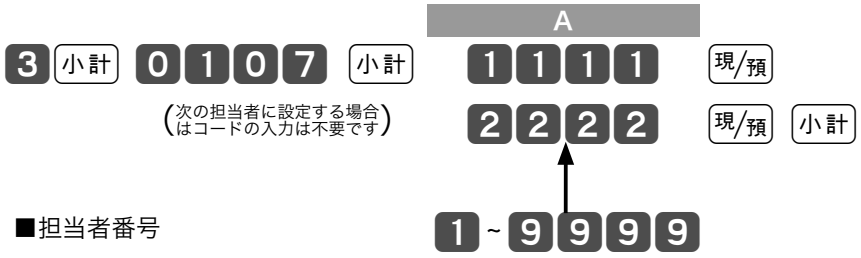
担当者機能をお使いの場合で、お買い上げの状態から変更したい場合に設定します。

例題

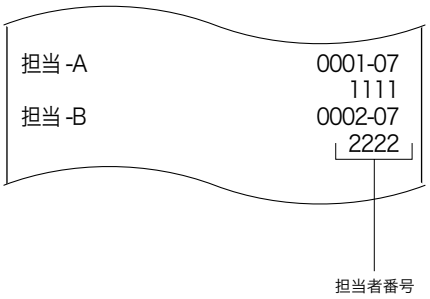
担当者 -A の番号を 1111、担当者 -B の番号を 2222 とする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



印字例



◇担当者ごとの操作コードとご購入時の担当者番号は次のようになります。

担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号
担当 -A	0107	0001	担当 -H	0807	0008	担当 -O	1507	0015
担当 -B	0207	0002	担当 -I	0907	0009	担当 -P	1607	0016
担当 -C	0307	0003	担当 -J	1007	0010	担当 -Q	1707	0017
担当 -D	0407	0004	担当 -K	1107	0011	担当 -R	1807	0018
担当 -E	0507	0005	担当 -L	1207	0012	担当 -S	1907	0019
担当 -F	0607	0006	担当 -M	1307	0013	担当 -T	2007	0020
担当 -G	0707	0007	担当 -N	1407	0014			

奉仕料率を設定する

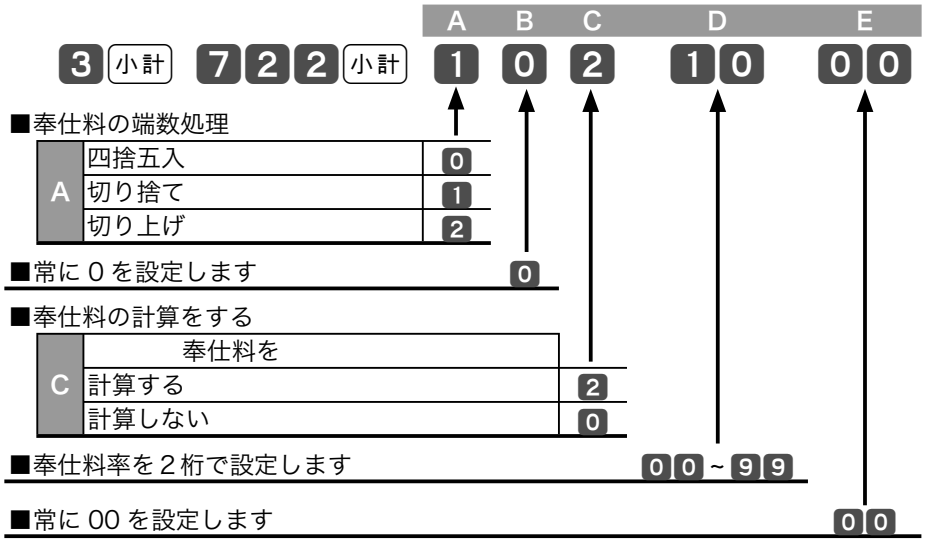
奉仕料を徴収するお店では、奉仕料率や端数処理などを設定します。

例題

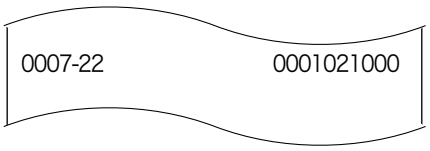
奉仕料率 10% を設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



印字例



ポイント **同じファンクションコードの取引キーを複数個配置することができます。**
ご購入時の設定は“１００００００”が設定されています。

注意 **販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合が有ります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。**

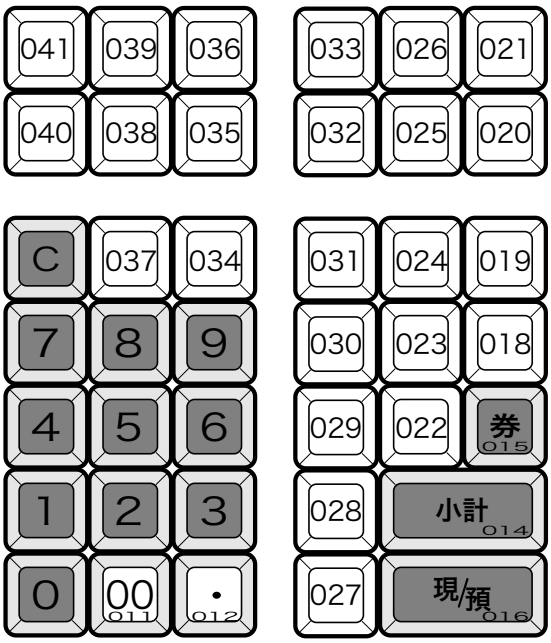
その他の設定（12/12）

キー配列を変更する

本機は、ご購入時のキー配列を含めて、お店に必要なキーを任意の位置に配列することができます。

キーを配列できる位置とキー番号

キーを設定できる位置は、以下のイラストで、３桁の番号（キー番号）が付いている位置です。



049	057	065	073	081	089	097	105	113
048	056	064	072	080	088	096	104	112
047	055	063	071	079	087	095	103	111
046	054	062	070	078	086	094	102	110
045	053	061	069	077	085	093	101	109
044	052	060	068	076	084	092	100	108
043	051	059	067	075	083	091	099	107
042	050	058	066	074	082	090	098	106

例題

PLU キーをキー番号「040」の位置に、「金額」キーをキー番号「041」の位置に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、設定４モードにします。

4 小計

2 ファンクションコード（次ページ表参照）を入力し、該当キーを押します。

4 **8** 040 **4** **9** 041

3 小計 キーを押します。

小計

⚠注意 キーを設定する場合は、まず日計明細および期間集計１、２の精算を行ないます。
変更の印字は、キー番号の順に印字されます。

設定できる主なキー（取引キー）の種類とそのファンクションコード

キーの名称	ファンクションコード
現金売り / 預かり金	０１
貸し売り	０２
商品券売り	０３
信用売り（クレジット）	０４
仮締め	０６
キャラクタプリント	１１
万円	１８
釣銭準備	１９
入金	２０
出金	２１
回収	２２
値引き（−）	２７
割引き（%−）	２８
値増し（+）	２９
割増し（%+）	３０
戻し	３３
直前訂正 / 取引中止	３４
指定訂正	３５

キーの名称	ファンクションコード
レシート発行	３８
不加算印字（#）	４０
不加算印字（#）/ 両替	４１
両替	４２
客数	４３
通貨変換（$）	４５
領収書発行	４７
PLU	４８
金額	４９
部門	５１
非課税	５７
テーブル番号	５８
在高申告	６１
フラット PLU	６３
面切替	６４
桁解除（オープン）	６７
設定解除	６８
登録確認	７１

キーの名称	ファンクションコード
担当者番号	７２
小計	７５
税抜き小計	８０
乗算 / 日時	８２
単位乗算 / 日時	８３
新規伝票	９１
伝票呼出	９２
伝票番号	９３
伝票合算	９４
別々会計	９５
強制解除	９９
割り勘	１０２
オープンチェック	１１７
操作ガイド	１４１
取引中止	２３６

ポイント **同じファンクションコードの取引キーを複数個配置することができます。**
例：「割引き率」が２種類あり、それぞれの率ごとに金額と件数を集計したい場合は、[%−] キーを２個設定します。

主なキーの働き（お買い上げのキーボード上に無いファンクションキー）

貸売	[現/預] や [券] キー等と同じ締めキーで、「貸売り（掛売り）」での売上のときに使用します。
キャラクタプリント	入力されたキャラクタを厨房への連絡などのためにレシート上に印字します。
万円	本書 39 ページの使用例をご参照ください。
釣銭準備	あらかじめドロアに入れておく釣銭用のお金を登録するときに使用します。
回収	ドロアから回収したお金を登録するときに使用します。
割引き	本書 47 ページの使用例をご参照ください。
値増し	「値引き」の逆の機能です。
割増し	「割引き」の逆の機能です。「深夜割増し」などの割増し計算に使用します。
指定訂正	「さかのぼり訂正」の金額と件数を単独に集計したいときに使用します。
#	#（不加算印字）と両替を別々のキーにするときに使用します。
両替	
通貨変換	米ドルで支払いを受け付けるお店で使用します。
金額	本書 37 ページの使用例をご参照ください。
非課税	次の登録を非課税登録にします。
テーブル番号	テーブル番号を入力するときに使用します。
桁解除（オープン）	部門キー等に設定してある「桁数制限」を越えて金額を入れたい場合に使用します。
設定解除	取引命令キーに設定してある「強制操作」を解除したい場合に使用します。
税抜き小計	伝票の今回分の（外税や奉仕料抜きの）小計を確認するときに使用します。
単位乗算 / 日時	セット単価商品を「バラ売り」したい場合に使用します。
新規伝票	伝票番号キーの２つの機能（新規伝票番号定義と定義済み伝票番号呼出し）を別々のキーにするときに使用します。
伝票呼出し	
伝票合算	２枚の伝票を１つに合算するときに使用します。
割り勘	割り勘計算に使用します。
オープンチェック	終業後にまだ締められていない伝票のレポートを発行するときに使用します。
取引中止	キーの一度押しでそれまでの取引をキャンセルにします。（[訂正/中止] は [小計] に続けて押して取引中止）

レジ操作の練習を行なう

モードスイッチの位置


トレーニングを始める / トレーニングを終わる

登録操作を練習するために、トレーニングモードにして操作を行ないます。
「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。　トレーニング中は合計には演算されません。

トレーニングを始める

手順

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。
1 1 1 1 1 1 小計

2 モードスイッチを「登録」または「戻」に合わせ、
登録操作の練習をします。

印字例

トレーニングモードを開始します

トレーニングを終わる

手順

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。
小計

印字例

トレーニングモードを終了します

レジの設定内容を確認する（1 / 4）

設定内容を確認する

設定されている内容の確認は、設定６モードで以下の種別コードを入れて設定点検します。

区分	種別コード	設定点検内容
A（P01 内容）	102	値引き額、割引き率など
	104	PLU 単価と課税方法
	105	部門単価と課税方法
B（P02 内容）	204	PLU キャラクタ（文字）
	205	部門名
	206	グループ名
	207	担当者名
	232	レシートメッセージ

区分	種別コード	設定点検内容
C（P03 内容）	302	取引キーのプログラム
	304	PLU のプログラム
	305	部門のプログラム
	307	担当者のプログラム
	322	全体設定のプログラム
	326	現行税率のプログラム
	327	予定税率のプログラム

注意 設定４の設定内容（ファンクションとその位置）を確認するには、設定４モードで小計キーを押します。

値引き金額、割引き率等の設定の確認

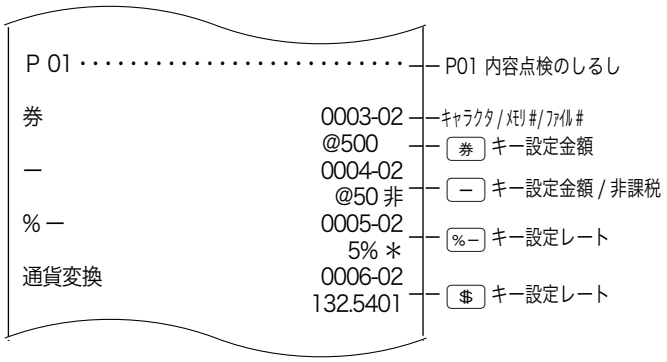
手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 102 小計

印字例



部門の単価と課税方法の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

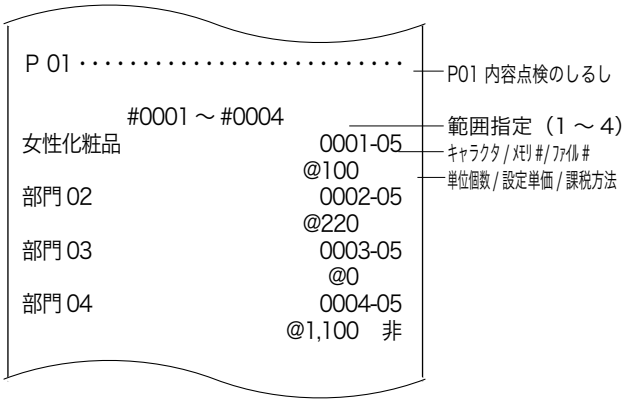
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 105 小計

3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。

1 現/預 4 現/預

印字例



ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

レジの設定内容を確認する（2/ 4）

PLU の単価と課税方法の設定の確認

（ﾌﾗｯﾄ PLU キーの設定単価と課税方法の設定点検）

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

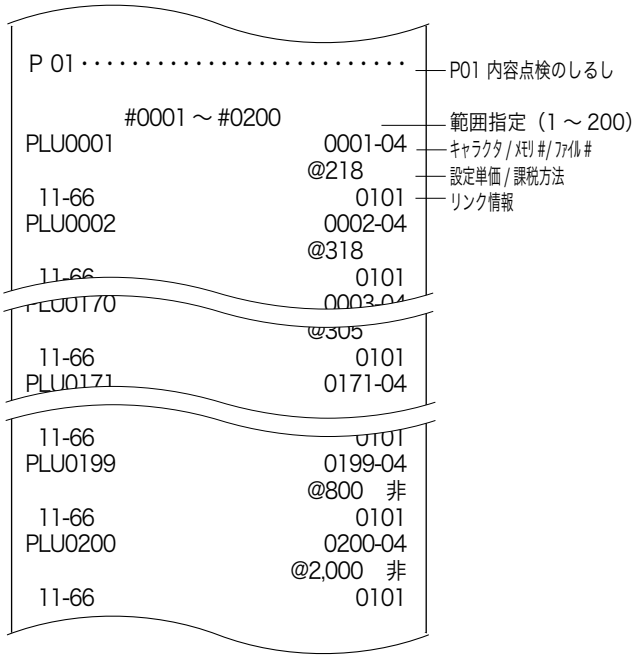
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 104 小計

3 開始 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押し、終了 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押します。

1 現/預 200 現/預

印字例



ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

PLU に設定された商品名の確認

（ﾌﾗｯﾄ PLU キー（PLU）のｷｬﾗｸﾀの設定点検）

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

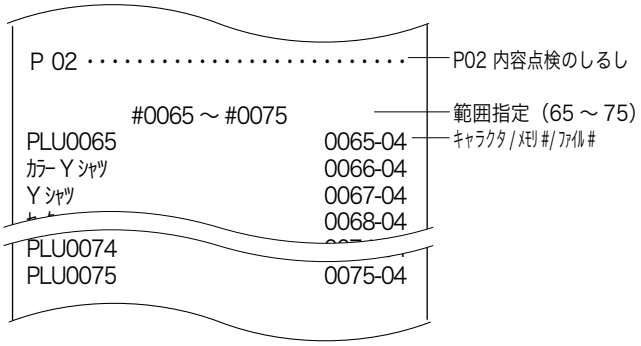
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 204 小計

3 開始 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押し、終了 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押します。

65 現/預 75 現/預

印字例



担当者名の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

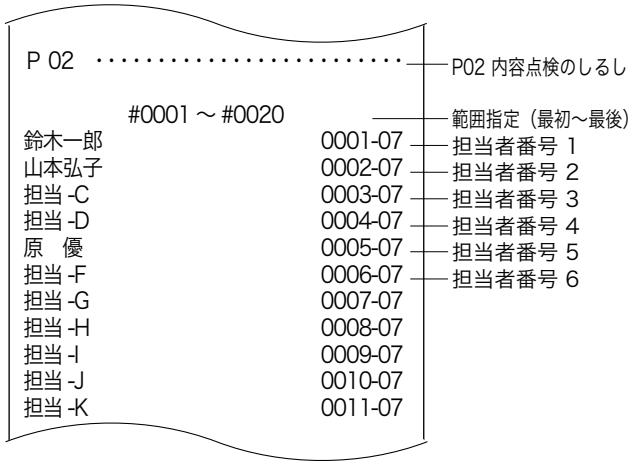
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 207 小計

3 開始担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押し、終了担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押します。

現/預 現/預

印字例

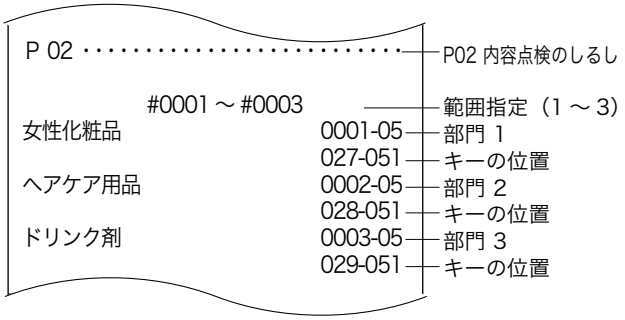


部門名の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 2 0 5 小計
3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。
1 現/預 3 現/預

印字例

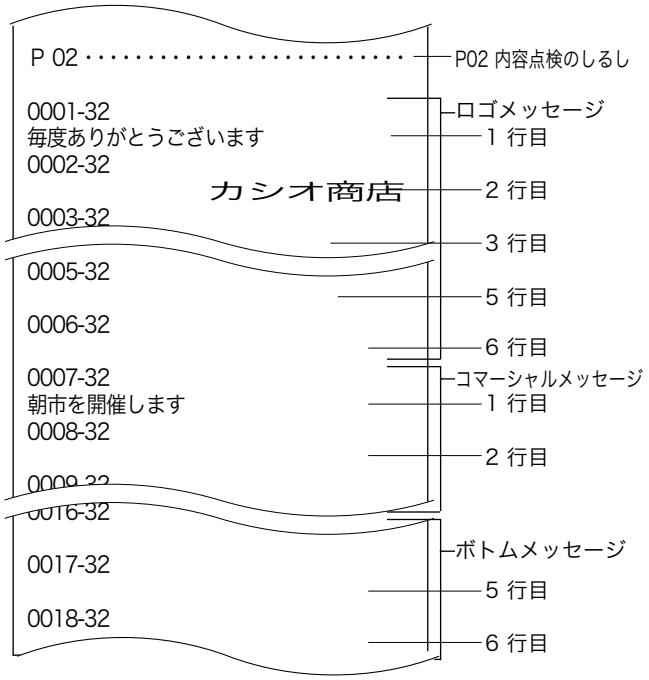


レシートメッセージの設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 2 3 2 小計

印字例

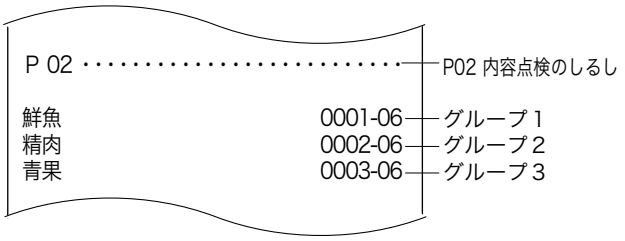


グループ名の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 2 0 6 小計

印字例

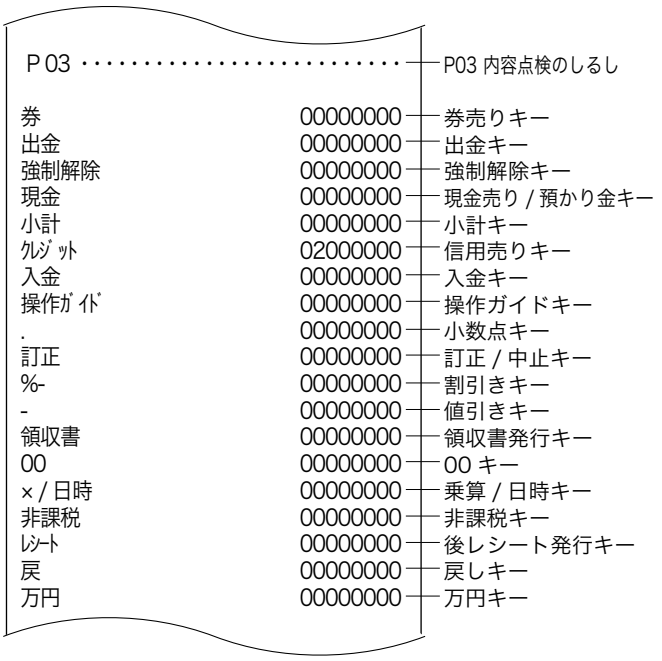


取引キープログラムの設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 2 小計

印字例



レジの設定内容を確認する（3/ 4）

PLU プログラムの設定の確認

（ﾌﾗｯﾄ PLU キーの 設 定 点 検）

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

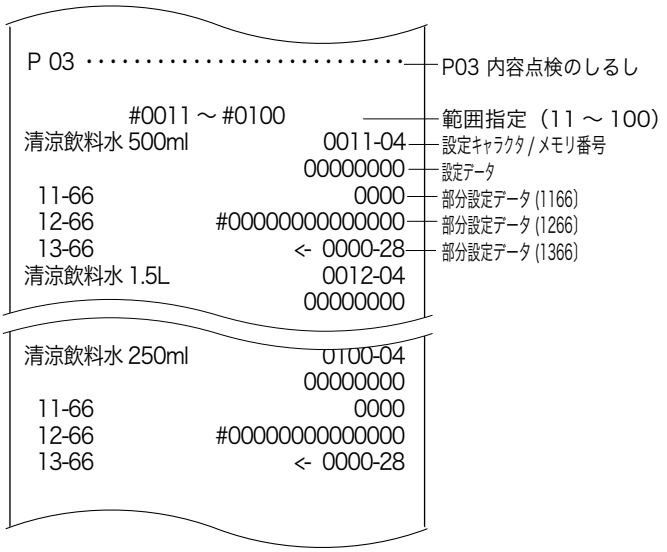
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 0 4 小計

3 開始 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押し、終了 PLU 門番号を入れ 現/預 キーを押します。

1 1 現/預 1 0 0 現/預

印字例



部門プログラムの設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

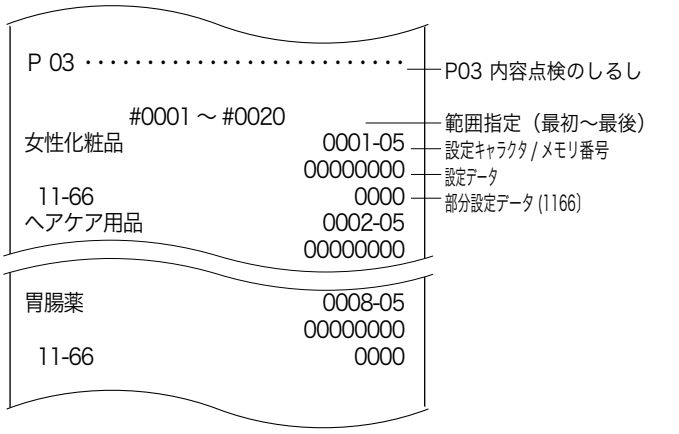
2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 0 5 小計

3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。

現/預 現/預

印字例



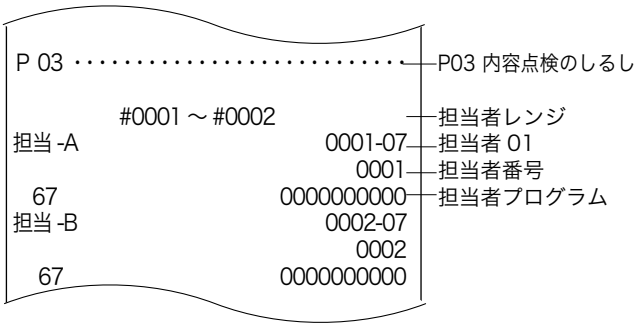
ポイント **開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。**
終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

担当者の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 7 小計
3 開始担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押し、終了担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押します。
1 現/預 2 現/預

印字例

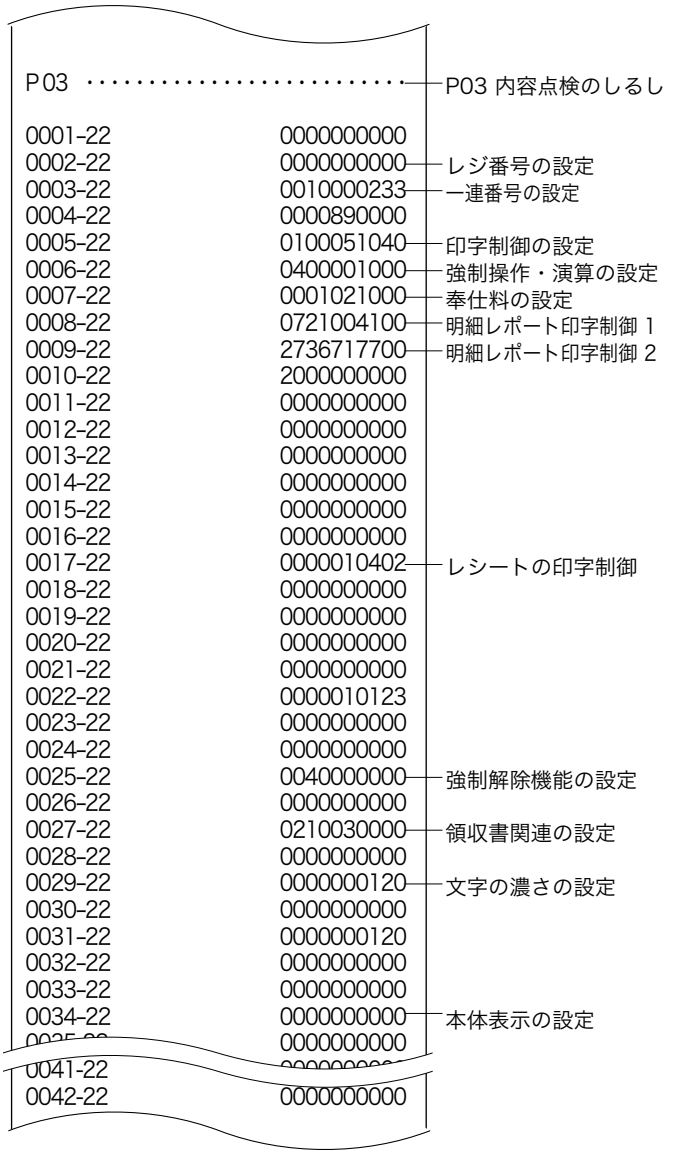


全体設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 2 2 小計

印字例



ポイント **全体設定は取扱説明書 90 ～ 99, 111 ページに記載されています。**

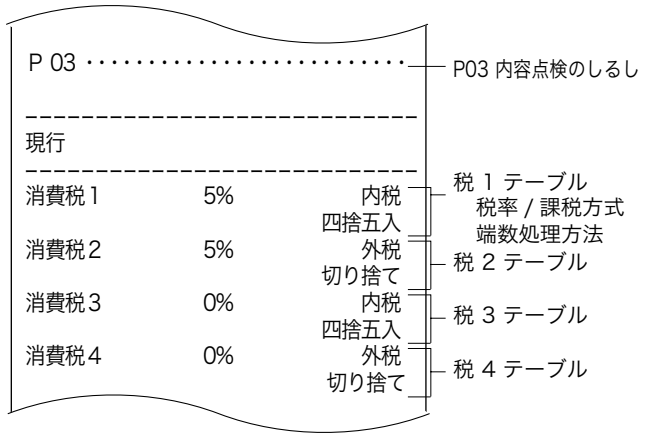
レジの設定内容を確認する（4/ 4）

現行税率の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 2 6 小計

印字例

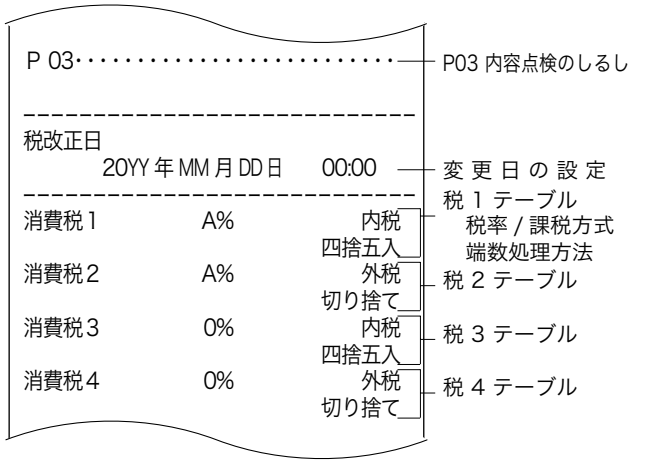


予約税率の設定の確認

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 2 7 小計

印字例



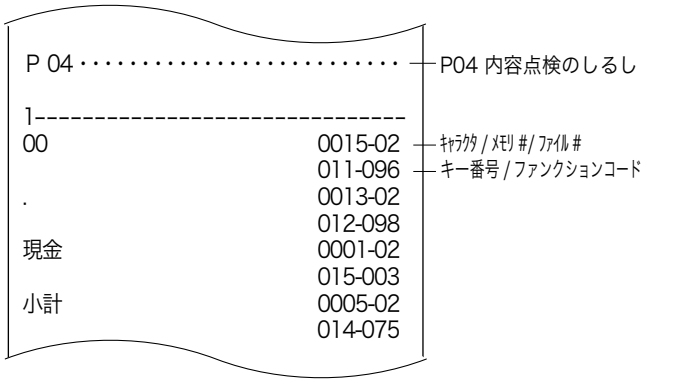
キーの種類とその位置の確認

（キーボードに設定されているキーの種類とその位置の設定点検）

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
2 以下の操作をおこないます。
4 小計 小計

印字例



故障かなと思ったら（1/3）

エラー音（ピー音）が鳴ったとき

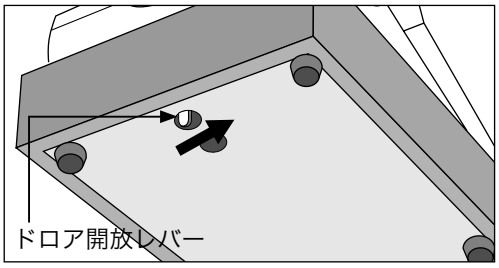
レジ操作中にエラー音が“ピーッ”と鳴ってもエラーの自動解除機能によってそのまま操作を続けることができます。しかし、何度操作してもエラーを繰り返す場合や、登録操作が込み入り、どのように操作すればよいかわからなくなった場合、その取引を強制的に解除して、新たに登録をし直すことができます。

取引を強制的に解除するには、強制解除 キーを続けて２回押します。
強制解除は通常は、取引中止として処理します。

ポイント **«強制解除»を「取引中止」ではなく「現金売り」にしたい場合は、96 ページの強制解除機能の設定にて変更してください。この場合は、強制解除した取引が登録モードならば、同じ取引を戻モードで戻す必要があります。**

ドロアが開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドロアが開かなくなったときは、ドロア底面の金具（ドロア開放レバー）を矢印の方向に動かすと開きます。



ポイント **ドロアロック錠にて鍵（ロック）がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行なってください。**

操作ガイドで調べてみましょう

キーボード上の 操作ガイド を押すことによって、レジスターでよく行なう操作の説明を受けることができます。

手順

1 操作ガイドキーを押します。
操作ガイド（情報センタからの操作ガイドを見る場合は、9 9 9 9 操作ガイド キーと操作します）

2 発行されたレシートから、説明を受けたい項目を見つけ、その項目番号を入力し、操作ガイド キーを押します。
7 操作ガイド（説明を受けたい項目のレシートが発行されます。）

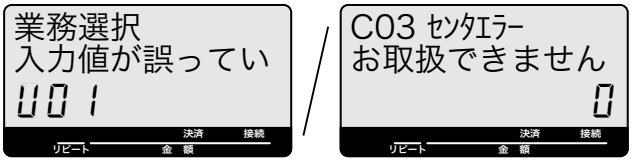
故障かなと思ったら（2/ 2）

こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
ドロア（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか、ご確認ください。 「ドロアが開かなくなったとき」をお読みください。	121
表示がつかない	差し込みプラグがしっかりとコンセントに挿してありますか。 コンセントまで電気が来ていますか、別の電気器具でご確認ください。	---
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーにはまだ残りがありますか、ご確認ください。	128, 129
	（レシートが発行されない場合に）レシート発行停止になっていませんか。	12
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	128
	ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか、ご確認ください。	126
	巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか、ご確認ください。	126
印字をしない 印字がうすい、ムラがある	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	128, 129
	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか、ご確認ください。	126, 127
	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください（普通紙は使えません）。	裏表紙

表示窓に E やメッセージが表示されたときには

表示窓の上側に E の文字とエラーコードや、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が出ることがあります。



左のような、金額表示の部分に U と数字が表示された場合や、一番上の左側に "C", "G", "S" の文字が表示されるときは KT-10 の取扱説明書のエラーメッセージ欄をご覧ください。

上記以外のメッセージが出た場合は、下表をご参照の上、対応をお願いいたします。

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E 誤操作です。	操作ミスです。取扱説明書をお読みいただき、正しい操作をお願いします。	--
新規商品です。 単価を入れて部門ｷｰを押して下さい。	スキャニングされた商品がまだレジスターに設定されていません。単価を入力して、商品を分類したい部門キーを押してください。	39
お知らせ着信 確認：<現 / 預>　保留：<小計>	情報センタからメッセージが届いています。ご覧になる場合 [現/預] キーを、今はご覧にならない場合 [小計] キーを押してください。（ご覧にならずに一旦保留しても次の機会に再度表示します）	--
ソフトウエア更新 実行：<現 / 預>　中止：<小計>	レジスターやマルチ決済端末のソフトを更新します。先に「お知らせ着信」が来ていればそれをお読みのうえ、実行してください。（更新せずに中止した場合は翌日のレジ閉設時に再度表示しますので、実行してください）	--
開設・接続して下さい。	レジの開設や（情報センタへの）接続が行なわれていません。または、データ更新のために再度開設が必要です。レジの開設処理を行なってください。	21
情報ｾﾝﾀ接続 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して＜接続＞ｷｰを押して下さい。	情報センタに接続します。（設定していれば接続パスワードを入力して）[接続] キーを押してください。	21
E001 ﾓｰﾄﾞ替えｴﾗｰです。ﾓｰﾄﾞｽｲｯﾁの位置を登録または戻に合わせて下さい。	登録中にモードを変更しています。伝票番号をお使いの場合は、仮締めのときとモードが違っています。それぞれ元のモードにしてください。	--/54
E003 担当者ｴﾗｰです。正しい担当者で操作して下さい。	仮締めのときに指定した担当者と違います。元の担当者を使ってください。	54
E004 初期化ｴﾗｰ	代理店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E008 暗証 No を入力して下さい。	担当者を使う設定になっていますが、担当者を指定していません。担当者を指定してください。	44
E012 ｼﾞｬｰﾅﾙ用紙がなくなりました。	ジャーナル用紙がなくなりましたので、新しいロール紙に交換してください。	126

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E014 ﾚｼｰﾄ用紙がなくなりました。	レシート用紙がなくなりましたので、新しいロール紙に交換してください。	129
E016 ﾓｰﾄﾞｽｲｯﾁを登録にして下さい。	続けて、返品登録を行なうことはできません。一旦モードスイッチを登録にしてから、もう一度戻モードに合わせて、返品登録してください。	30
E017 伝票 No を入力して下さい。	伝票番号を入力してください。伝票番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	54
E018 ﾃｰﾌﾞﾙ No を入力して下さい。	テーブル番号を入力してください。テーブル番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	--
E019 客数を入力して下さい。	客数を入力してください。客数の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	54
E021 PLU にﾘﾝｸ部門が設定されていません。	今指定された PLU にリンク部門が設定されていません。別の PLU や部門で登録していただいた後で、PLU のリンク部門設定を修正してください。	103
E029 一部入金中です。締め操作を行って下さい。	一部入金中ですので、締め操作（支払い操作）以外は受け付けません。	51
E031 < 小計 > キーを押して下さい。	小計 キーを押して、お買い上げ合計額を確認してください。	22
E033 お預かり額を入れて操作して下さい。	お客様からお預かりした金額を入力してから 現/預 キーを押してください。（丁度の金額のお預かりでも、入力が必要です）	22
E035 釣銭制限額を越えています。	お預かり金額を間違えて入力していないか、ご確認ください。釣り銭をお店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	--
E036 ﾄﾞﾛｱ内の現金を回収して下さい。	ドロア内の現金を回収して奥に持っていき、回収額を出金登録してください。	45
E037 桁又は金額制限額を越えています。	入力された金額が間違っていないか、ご確認ください。お店で決めた制限を越えた金額を登録しようとしています。	--
E038 在高申告が必要です。	在高申告してください。在高申告すると次の操作が可能になります。	53
E046 登録ﾊﾞｯﾌｧが一杯になりました。	現/預 キーなどを押して、取引を終わらせてください。たくさんの商品が登録されたので内部メモリが一杯になってしまいました。	--
E049 ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰです。	仮締めしている取引を 現/預 キーなどを使って終わらせてください。たくさんの伝票番号が使われていて、内部メモリが一杯になっています。	--
E050 伝票明細数が一杯になりました。	仮締めしている取引を 現/預 キーなどを使って終わらせてください。たくさんの明細登録がおこなわれ、内部メモリが一杯になっています。	--
E051 その伝票は使用中です。	入力された伝票番号が間違っていないか、ご確認ください。すでに使用している伝票番号を新しく使おうとしています。	54
E053 その伝票 No は間違っています。	入力された伝票番号が間違っていないか、ご確認ください。すでに使用している伝票番号の中に、入力された番号はありませんでした。	54
E055 別々会計中です。	別々会計の処理に入っています。別々会計に当たる商品を指定するか、別々会計の支払いを行なってください。	55
E103 ｽｷｬﾆﾝｸﾞ ｺｰﾄﾞ が存在しません。	入力されたスキャニング PLU コードが間違っていないか、ご確認ください。入力されたコードの商品は設定されていません。	--
E104 設定済商品です。	入力されたスキャニング PLU コードが間違っていないか、ご確認ください。入力されたコードの商品はすでに設定されていて、新しく受付できません。	--
E112 ｼﾞｬｰﾅﾙ側の紙押えを戻して下さい。	ジャーナル紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	126
E114 ﾚｼｰﾄ側の紙押えを戻して下さい。	レシート紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	127
E115 紙詰まりです。	紙が詰まりました。ロール紙交換の操作を参考にして詰まった紙を取り除き、再度ロール紙のセットをお願いいたします。	128 129
E127 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾃﾞｰﾀ無し	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。レジスターのデータを復元しようとしましたが、元のデータが見つかりませんでした。	--
E139 値引金額の誤り、または税種が異なります。	入力された値引き金額をご確認ください。値引きで小計金額が負にならないようにした場合、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	46
E146 ｱﾚﾝｼﾞ ﾌｧｲﾙが一杯になりました。	アレンジメントファイルが一杯ですので設定できません。	--
E200 RAC-12/13 が接続されていません。	RAC-12 または RAC-13 が装着されていないので、データバックアップができません。装着されているか、確認してください。	--
E201 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾃﾞｰﾀ異常	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。レジスターのデータを復元しようとしましたが、元のデータに異常があります。	--
E202 電子店名ｽﾀﾝﾌﾟ がありません。	電子店名スタンプ（RAC-13）が装着されていないので、スタンプのデータの読み込みができません。装着されているか、確認してください。	130

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E210 接続情報がありません。	RAC-12 がきちんと装着されているか、お確かめください。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	131
E211 接続できません。	レジスターと周辺機器との接続、電源の確認をして再度接続してください。それでもエラーが発生するときは販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E212 接続できません。電話回線を使いますか?実行：< 現 / 預 > 中止：< 小計 >	インターネット接続用のメイン回線が使えません。バックアップ用のモデムに切り替える場合は 現/預 キーを押します。切り替えない場合は 小計 キーを押します。	--
E213 端末認証ｴﾗｰが発生しました	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E214 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ不一致	パスワードをご確認の上、もう一度入力してください。開設パスワード入力が間違っています。	21
E215 ｻｰﾋﾞｽがご利用になれません。	指定されたサービスは有効になっていませんでした。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E216 通信ｴﾗｰが発生しました。	センターとの通信でエラーが発生しました。少し時間を空けてから、もう一度お試しください。それでも直らなければ、販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E217 更新は有りません。	リモート IPL の受信操作をしましたが、更新する情報は有りませんでした。そのまま、更新せずにお使いください。	--
E218 開設・接続するまでご利用になれません。	レジが開設されていません。開設操作を行なってください。	21
E219 受信ﾃﾞｰﾀが削除されました。	センタから送信したい情報があると連絡を受け、受信しようとしましたが、既にそのデータは削除されていました。そのままお使いください。	--
E230 決済端末通信ｴﾗｰが発生しました。	決済端末との通信でエラーが発生しました。決済端末の電源やケーブルをチェックして、もう一度やり直してください。	--

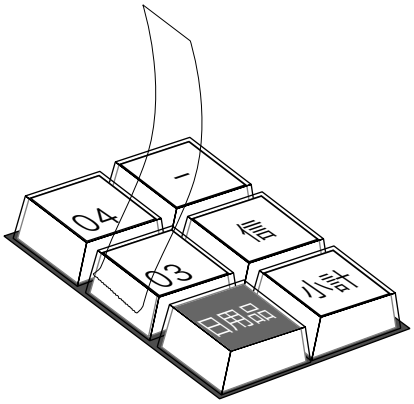
部門キーなどに商品名を記入するには

モードスイッチの位置
OFF

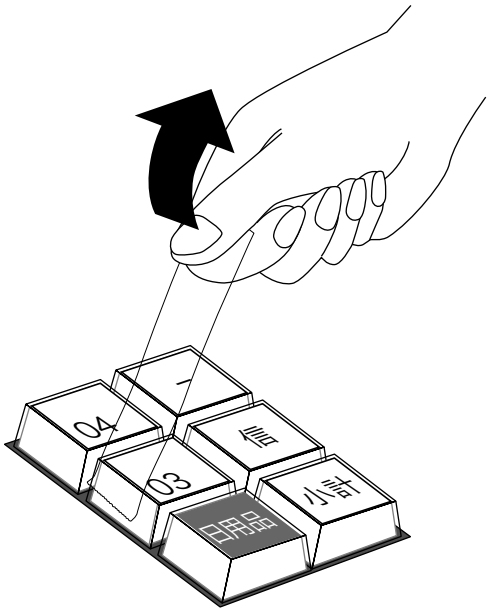
操作手順

◎ 10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意下さい。

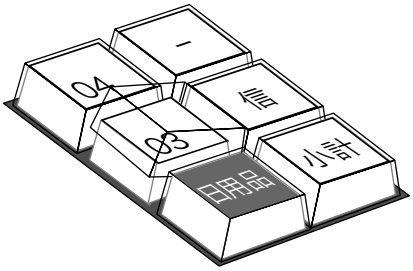
1 セロハンテープを 5cm 位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分にその一端を貼り付けます。



2 貼り付けたセロハンテープのもう一端を親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



3 キーキャップの片側が外れますので、キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。



4 新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。

ロールペーパーのセットと交換（1 / 2）

ロールペーパーをセットする（ジャーナル）

ジャーナル（営業記録）用紙のセット方法を以下に示します。

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



3 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



5 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



6 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。



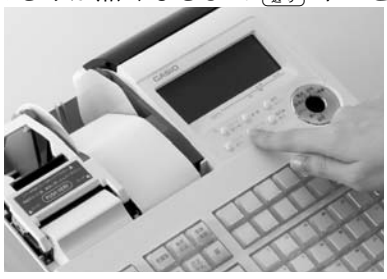
7「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、２～３回巻き付けます。



8「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」にセットします。



9 用紙のたるみが無くなるまで ジャーナル送り キーを押します。



10 プリンタカバー手前のツメを所定の穴に入れてから、後部を押してカバーを閉じて完了です。



参照 ロールペーパーをセットする際の注意事項は、**127** ページを参照してください。

ロールペーパーをセットする（レシート）

レシート用紙のセット方法を以下に示します。

手順

1 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



2 紙押さえのレバーを手前に引き、写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



3 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



4 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



5 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。



6 プリンタカバーを閉めて、余分な紙を切り取ります。



⚠注意

- 本機は、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは動作しません。
- ロールペーパーの規格は 紙幅 58 mm ×外径 80 mm の感熱記録紙です。 ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。
- ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1 m です。お早めに新しいロールペーパーに交換してください。

ロールペーパーのセットと交換（2/ 2）

ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

ロールペーパーが少なくなると（約 1 m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。
ここでは、ジャーナル（営業記録）のロールペーパーの交換方法を示します。

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



3 ジャーナル送り キーを押して 20 cm 位、ロールペーパーを空送りします。



4 印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



5 ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、取り外します。



6 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。



7 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



8 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



参照 **上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。**
セットの手順については、126 ページの「手順 4」以降を参照してください。

ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーが少なくなると（約 1 m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。
ここでは、レシートのロールペーパーの交換方法を示します。

手順

1 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



2 紙押さえのレバーを手前に引き、写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



参照 上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。
セットの手順については、127 ページの「手順3」以降を参照してください。

電子店名スタンプの読み込み

発注した電子店名スタンプ（RAC-13）が到着したら、それを取り付けてレジスターに読み込ませます。読み込み後は、レシートや領収書上に店名ロゴなどを印刷します。

操作手順

電子店名スタンプが到着しましたら、下記の手順で取り付けて、レジスターに読み込ませてください。

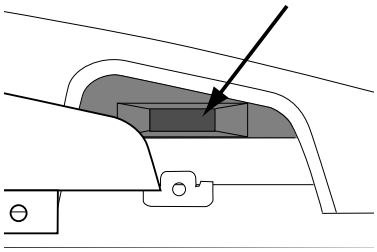
手順

1 モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



2 レジスターの向かって左側面の RAC スロットカバーを開けます。（ネジ留めされていることがあります。その場合はプラスドライバを使用します）





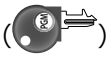
RAC スロットカバー内部
（矢印部に挿し込みます）

3 もし、すでにインターネット接続キー（RAC-12）が挿してあれば一旦それを抜きます。（この作業が終了したら、また挿しますので手元に置いてください）



4 「電子店名スタンプ　RAC-13」と書かれた面を下にして、スロットに電子店名スタンプを奥までしっかりと挿し込みます。



5 オーナーキー（  ）を使って、設定モードに合わせます。

7 小計 4 1 2 4 小計 現/預 と操作します。



6 モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



7 挿していた電子店名スタンプを抜きます。手順２で抜いたインターネット接続キーがあれば、電子店名スタンプの代わりに挿します。

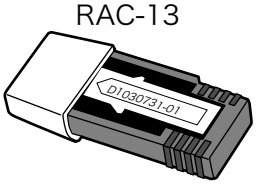


8 スロットカバーを閉めます。（手順１でカバーがネジ留めされていた場合は、ネジで留めます）



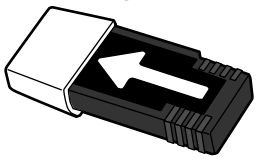
● RAC-12 と 13 の見分け方

電子店名スタンプ
RAC-13



（オレンジ色のスティック）

インターネット接続キー
RAC-12

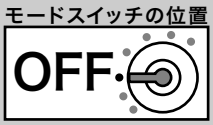


（黒色のスティック）

⚠注意 **電子店名スタンプ (RAC-13) やインターネット接続キー (RAC-12) の端子部には手や金属で触れないでください。**
電子店名スタンプの取り付け前にロゴ / コマーシャルメッセージに設定された内容は、電子店名スタンプの内容が上書きされます。

参照 **●お買い上げの状態では、電子店名スタンプを挿すとその中のデータをレジスターに自動的に読み込みます。**
●ロゴやサーマルポップが印字されないときは、設定内容（67, 95, 98 ページ参照）をご確認下さい。

ドロアを分離して設置するには

モードスイッチの位置


操作手順

お店のレイアウトに合わせて、ドロアとレジスター本体を分離して設置することができます。付属しているドロア延長ケーブルとレジスター固定ゴム足をご用意ください。
（作業用工具としてプラスドライバが必要になりますので、併せてご用意のほど、お願いいたします）

手順

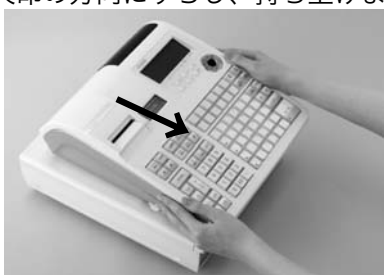
1 ドロアの引き出し部分を写真で示すように引き出しの先端を持ち上げるようにしながら、取り外します。



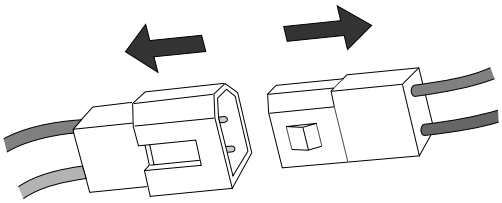
2 ドロアの内側上面にある蝶ねじを左に回して取り外します。



3 本体を矢印の方向にずらし、持ち上げます。



4 レジスター本体とドロアをつなぐケーブルをコネクタ部分で抜いて、分離します。

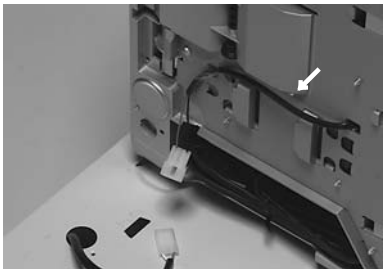


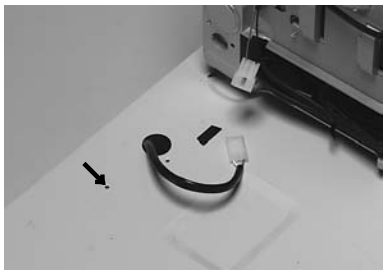
5 矢印の部分に固定ゴム足をはめ込み、レジスター本体とドロアを別々に所定の位置に置きます。



6 ドロア延長ケーブルを本体側とドロア側のコネクタに接続します。

7 ドロア延長ケーブルから出ている緑のアース線を、矢印の部分のネジを使って、レジスター本体とドロアにしっかりと止めます。





8 外したドロアの引き出し、硬貨入れを元に戻します。

●必要に応じてドロア上面のレジスターを固定していた穴に、穴塞ぎ用シートを貼付けます。

⚠注意 **ドロア内部に余った延長ケーブルを入れてはいけません。分離作業によって外した蝶ねじは、再びレジスターとドロアをつなげる場合に必要になりますので、保管をお願いします。**

仕様

型式	TK-5500 / TK-6500(4部門、72タッチキー)ストロークキー/タッチキー方式　2キーロールオーバー
表示部	本体表示：キャラクタ部 16 文字 × 2行、数値部 10 桁　液晶表示（バックライト付き） 客用表示：数値部8桁 LED 表示（収納式回転機構付き）
印字部	2シートサーマルプリンタ方式 印字速度　約 14 行 / 秒 印字桁数　レシート・ジャーナル各 32 桁（半角文字の場合） 記録紙　幅 57 ～ 58 mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙（消耗品欄参照） 店名ロゴ印字 縦 21mm ×横 48mm の範囲でデザイン可（レシートに自動印字） 用紙カット　レシートはオートカット　ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行　必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁 : 0 ～ 9,999,999,999)　登録（7 桁 : -999,999 ～ 9,999,999） 合計（10 桁 : -999,999,999 ～ 9,999,999,999）　リピート（6 桁 : -999,999 ～ 999,999） ノンアド（16 桁 : 0 ～ 9999999999999999） %レート（整数2桁+小数2桁 : 0.01 ～ 99.99%） 税率（整数2桁+小数4桁 : 0.0001 ～ 99.9999%） 乗算数量（整数4桁+小数3桁 : 0.001 ～ 9999.999）
電卓機能	加減乗除計算　最大計算桁数は置数 10 桁　答え 10 桁（負数のときは9桁）
ドロア	S モデル：紙幣3種・硬貨6種　ドロアロック錠付き、コイントレーは取り外し可 M モデル：紙幣 4 種・硬貨6種　ドロアロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差± 30 秒（通電状態 25℃において）　2088 年までフルオートカレンダ
メモリ保護	バナジウムリチウム充電式電池使用　記憶保持 約 90 日　電池寿命 約5年
電源・消費電力	AC 100V ± 10V　50/60Hz　10W
周囲温度・湿度	0℃～ 40℃　10%～ 95% RH
外形寸法	S モデル：幅 330mm 奥行 360mm 高さ 198mm（ドロア含む）　客用表示を出した高さ 240mm M モデル：幅 400mm 奥行 450mm 高さ 213mm（ドロア含む）　客用表示を出した高さ 256mm (TK-6500 は S モデル、本体色：白のみです)
質量	S モデル：約 5.5 Kg（ドロア含む） M モデル：約 10 Kg（ドロア含む）
オプション	電子店名スタンプ：RAC-13（店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用） 防水カバー：WT-90、タッチキーカバー：WT-91 ハンドスキャナ：HHS-18　マルチ決済端末：KT-10　モデム
消耗品	記録紙　TRP-5880-TW　（紙幅 58mm、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙） TRP-5880H-TW　（紙幅 58mm、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙）

●ウエルドラインについて
外観にスジのようにみえる箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

【ご注意】この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ VCCI ）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な処置を講ずるよう要求されることがあります。

高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品

本マニュアルの著作権、およびマニュアル中に記載されているソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しております。カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには本マニュアルおよびソフトウェアの一部または全部を問わず、複製し頒布することを禁じます。
本マニュアルおよびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。

PASMO や他の交通系 IC カードで支払いをうけた

PASMO などの交通系 IC カードで支払う場合は、PASMOキーを使用します。

例題

下記の商品をPASMOで売る

単　価	数 量	部門キー	預かり
¥2,100	1	部門 1	なし

手順

1 例に示した商品登録を行います。

2100 1 小計

2 PASMOキーを押します。

PASMO

印字例

2011 年　3 月　3 日　10:56
000123

部門 01		2,100
内税対象計		¥2,100
内税	5.0%	(¥100)
PASMO		**¥ 2, 1 0 0**

⚠注意 1．PASMO での支払いは、TE-6500（又は TK-6500）でのみご利用いただけます。
2．PASMO での支払いには、専用の決済端末や読み取り装置が必要です。

詳しくは、お買い上げの販売店または、カシオサービスセンターにお問い合せください。

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。必要に応じて参照してください。

●後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。

参照ページ 12, 43

●在高（ありだか）

ドロアの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

参照ページ 13, 32, 33, 53, 56, 58

●一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット１種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

参照ページ 51

●一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに１ずつ足されます。

参照ページ 20, 26, 90, 95, 97

●一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

参照ページ 29

●内税方式（内税方式レジスター）

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

参照 非課税方式レジスター、外税方式レジスター

参照ページ 18, 32, 68

●開設

レジスターやマルチ決済端末を情報センタに接続して使えるようにする操作です。一日一回の操作が必要です。

参照ページ 12, 21

●期間集計

長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

参照ページ 56, 57, 60

●客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

参照ページ 8, 14, 15

●キャラクタ

部門キーや PLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。

参照ページ 14, 73 ~ 89

●クレジットカード決済

クレジットカードなどで売り上げた場合、マルチ決済端末（KT-10）を利用し、情報センタを通して決済を行なうことができます。

参照 マルチ決済端末

参照ページ 13, 50

●券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくことも可能です。

参照ページ 13, 50

●さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違えを訂正することです。

参照ページ 48

●シート（メニューシート）

タッチキーの上に被せる、面状のシートです。シートを２枚作り、片方を昼、他方を夜メニューなどとして入れ替えて使うことができます。

参照ページ 10, 15

●ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。

参照 レシート

参照ページ 8, 12, 20, 27, 126, 128

用語集

●ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。

参照ページ 91

●出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアから出すことです。ドロア内の現金を回収するときなどにお使いください。

参照ページ 13, 45

●純売上

商品登録の合計で、値引きや割引きをした後の金額です。外税も含みます。

参照 総売上

参照ページ 32, 33

●乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の２種類の入力方法を選べます。

参照ページ 13, 25, 35, 36, 37, 39

●情報センタ

クレジット決済や売上集計管理サービスなどを行なうインターネット上の拠点です。

参照ページ 6, 12, 21

●シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。レジスターとマルチ決済端末や情報センタとの接続状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

参照ページ 14, 20, 89

●スキャニング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナで取り込んで、商品登録します。スキャニング PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。（使用するためには、情報センタとの契約が必要です）

参照ページ 33, 38, 39, 49, 58, 65

●精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

参照 点検、レポート

参照ページ 11, 32, 33, 56 ~ 61

●設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせたりすることです。

参照 単価設定

参照ページ 64 ~ 120

●外税方式（外税方式レジスター）

外掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

参照 非課税方式レジスター、内税方式レジスター

参照ページ 18, 70

●総売上

商品登録の合計で、値引きや割引きをする前の金額です。外税も含みません。

参照 純売上

参照ページ 32, 33

●タッチキー

キーボードの向かって右にある、面状になったキーシートです。お買い上げの状態では、タッチキーにはフラット PLU キーが設定されています。

参照 シートホルダ

参照ページ 8, 12, 13, 15

●単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

参照ページ 34, 65

●担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。

参照ページ 13, 20, 44, 60, 82, 92, 110

●置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

●訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

参照ページ 13, 29, 48

●点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

参照 精算、レポート

参照ページ 56 ~ 61

●電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、オリジナルの店名ロゴスタンプや領収書に印字する、社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなスティックです。別添の申込書でお申し込みください。

参照ページ 2, 130, 131

●登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

参照ページ 22 ~ 31, 34 ~ 55

●日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

参照ページ 32, 56, 60

●入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロア内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

参照ページ 13, 45

●値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

参照ページ 13, 33, 46

●背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

参照ページ 67

●パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

参照 割引き

参照ページ 47

● PLU（ピーエルユー）: Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

参照ページ 13, 34 ~ 40, 59

●非課税方式（非課税方式レジスター）

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

参照 内税方式レジスター、外税方式レジスター

参照ページ 18, 68, 70

●品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。

参照 PLU（ピーエルユー）

参照ページ 37

●不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

参照ページ 13, 42

さくいん

●部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品 / 雑貨品 / 日用品、鮮魚 / 精肉 / 青果、お食事 / お飲み物などの分類があります。

参照ページ 12, 13, 22 ~ 25, 32, 34, 35

●フラット PLU

個々の商品を PLU のようにコード指定するのではなく、一つ一つのキーに割り振ったものです。入力方式は異なりますが、フラット PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。

参照 PLU（ピーエルユー）

参照ページ 12, 13, 22 ~ 25, 34

●返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

参照ページ 13, 30, 31

●奉仕料

奉仕料の必要なお店では、奉仕料を自動計算することができます。

参照ページ 52, 111

●マルチ決済端末（KT-10）

クレジットカードや iD などの決済を行なうために磁気カードリーダや非接触 IC カードリーダを備えたこのレジスター専用の端末です。

参照 クレジットカード決済

参照ページ 2

●丸め（5 円丸め /10 円丸め）

合計金額の端数（5 円未満または 10 円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

参照ページ 49, 66

●万円キー（万券キー）

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

参照ページ 43

●呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

参照ページ 63

●リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押したりして、手軽に登録することです。

参照ページ 14, 24, 36, 37, 39

●両替

本来の両替（大きなお金を細かくする）ばかりでなく、商品取引以外にドロアを開ける必要ができたときに両替をします。

参照ページ 13, 25

●領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

参照ページ 20, 26, 27

●レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。

参照 ジャーナル

参照ページ 20, 27

●レポート

お店の売上金額や客数などを集計してレジスターから出力される帳票です。点検と精算の区別が有ります。

参照 レシート、点検、精算

参照ページ 32, 33, 56 ~ 61

●割引き

全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

参照ページ 47

あ・ア

圧縮印字、圧縮文字 ---------- 20, 77, 91
預かり金 ---------- (現金売り / 預かり金)
後レシート発行 ----------12, 43
在高(ありだか)申告 ---------- 13, 53, 113

い・イ

一連番号 ---------- 20, 90, 95, 97
一部入金 ---------- 51
一括訂正 ---------- (取引中止)
印字制御 ----------91, 93 ~ 95, 97, 98

う・ウ

内税扱い、内税方式 ---------- 18, 32, 68

え・エ

お・オ

オールクリア ----------13, 28
お客様相談センタ ----------裏表紙
オプション ---------- 133
オペレータ用鍵 ----------9, 11

か・カ

買い上げ点数 ----------20, 91
開設 ----------12, 21
回転表示窓 ---------- (客用表示窓)
貸し売り ---------- 113
課税方式 ----------18, 68 ~ 70
紙押さえ ---------- 8
仮締め ---------- 13, 54, 55, 113
感熱記録紙 ----------16, 27

き・キ

キーボード ----------8, 12
期間集計 1 , 2 ----------56, 57
客用表示窓 ----------8, 15
キャラクタの設定 ---------- (文字の設定)
強制解除 ----------13, 113, 121
強制操作 ---------- 92
金額キー ----------37, 113

く・ク

クリア ---------- (オールクリア)
グループ別集計 ----------59, 100, 103
グループリンク ---------- 100, 103
クレジットカード ----------13, 50

け・ケ

桁解除 ---------- 113
券売り ---------- 13, 50, 51
現金在高 ----------32, 33
現金売り・預かり金 ---------- 13, 22, 113

こ・コ

コールセンタ ----------(お客様相談センタ)
コイントレー ----------8
硬貨入れ ----------(コイントレー)
構成比 ---------- 33, 59, 91
5 円 /10 円丸め----------49, 66
固定キャラクタ ----------(取引シンボル)
ゴハサン ----------(オールクリア)
コマーシャルメッセージ ---------(レシートメッセージ)
混在 ----------(税金の混在)

さ・サ

在高(ざいだか) ----------(現金在高)
さかのぼり訂正 ---------- 48
差し込みプラグ ----------8
札押さえ ----------8
サーマル POP ---------- 98
サーマル用紙 ----------(感熱記録紙)

し・シ

時間帯別集計 ----------33, 56
時刻 ---------- 20, 44, 64
四則計算 ----------13, 62
紙幣入れ ----------8
締め ----------22, 50, 51, 107
ジャーナルスキップ ---------- 91
ジャーナル印字確認窓 ----------8
ジャーナル送りキー ----------12, 126, 128
ジャーナル巻き取りホルダ ----------8, 10, 126, 128
ジャーナル用紙 ---------- 8, 126, 128
収入印紙 ---------- 20, 26, 97

さくいん

出金キー ---------- 13, 45, 110, 113
純売上 ---------- 32, 58, 60, 61
小計キー ---------- 13, 22, 113
乗算登録 ---------- 13, 25, 35, 36, 37, 39
乗算 / 日時キー ---------- 13, 25, 44, 64, 113
消費税の計算 ---------- 18
商品券 ---------- 50, 51, 113
情報センタ ---------- 2, 16, 17, 21
信用売りキー ----------（クレジット）, 113

す・ス

数点売り ---------- 24, 25
スキャニングサービス ---------- 38
スキャニング PLU ---------- 38, 39

せ・セ

税関連の設定 ---------- 68 ~ 72
税金の混在 ---------- 18, 70
精算モード ---------- 11, 32, 56
精算・設定・オーナー用鍵 ---------- 9, 11
税率 ---------- 71
税率変更日 ---------- 71
設定モード ---------- 11, 64 ~ 120
設定単価 ---------- 65
設定点検 ---------- 115 ~ 120
全角文字 ---------- 77

そ・ソ

総売上 ---------- 32, 58, 60, 61
操作ガイド ---------- 12, 121
外税扱い、外税方式 ---------- 18, 70

た・タ

但し書き ---------- 20, 26, 67, 97
縦倍文字 ---------- 67, 77
タッチキー ---------- 8, 12, 15
単価×数量 ---------- 35, 109
単価設定 ---------- 65
担当者 ---------- 44, 60, 82, 92, 110
担当者キー ---------- 13, 44, 113
担当者番号 ---------- 44, 110
担当者別集計 ---------- 60
単品売り、単品登録 ---------- 22
単品現金売り ---------- 100, 104

ち・チ

置数キー ---------- 13
置数訂正 ---------- 28
直前訂正 ---------- 29
中止 ----------（訂正 / 中止）

つ・ツ

釣り銭計算 ---------- 22, 23

て・テ

停止 ----------（レシート発行停止）
訂正 / 中止 ---------- 13, 29, 113
点検モード ---------- 56 ~ 61, 114
電子店名スタンプ ---------- 2, 16, 130, 131
電卓機能 ---------- 62, 63
電卓モード ---------- 11
伝票番号 ---------- 13, 54, 55, 113

と・ト

登録モード ---------- 11, 22 ~ 29, 31
登録確認 ---------- 54, 113
取引中止 ---------- 29, 113
取引シンボル ---------- 89
トレーニング ---------- 114
ドロア ---------- 8
ドロアロック錠 ---------- 9, 121

な・ナ

に・ニ

日時 ----------（乗算 / 日時キー）
日計明細 ---------- 32, 33, 56, 60
入金 ---------- 13, 45, 110, 113

ぬ・ヌ

ね・ネ

値引き ---------- 46, 113

の・ノ

ノンアド ----------(不加算印字)

は・ハ

パーセント計算 ----------47, 66
背景印字 ----------67, 98
倍文字 ---------- 77
端数処理 ----------72, 111
半角文字 ---------- 77

ひ・ヒ

非課税キー ---------- 113
非課税扱い、非課税方式 ----------18, 68
引き出し ----------(ドロア)
日付 ----------44, 64
表示窓 ----------(本体表示窓)
品番 PLU----------37, 104

ふ・フ

不加算印字 ---------- 13, 42, 113
部門キー ---------- 13, 22 ~ 25, 34 ~ 35
部門リンク ---------- 103
プラテンアーム ----------(紙押さえ)
フラット PLU---------- 13, 22 ~ 25, 34 ~ 35
プリンタカバー ----------8
分割処理 ---------- 51

へ・ヘ

別々会計 ----------55, 113
変更日 ----------(税率変更日)
返品戻し ----------30, 31

ほ・ホ

防水カバー ----------5, 133
ボトムメッセージ ----------(レシートメッセージ)
ホルダ受け ----------(巻き取りホルダ受け)
本体表示窓 ----------8, 14

ま・マ

マイナス ----------(値引き)
マイナス単価 ---------- 101, 105
巻き取りホルダ ---------- (ジャーナル巻き取りホルダ)
巻き取りホルダ受け ---------- 126
マシン No.----------(レジ番号)
マルチ決済端末 ----------2
丸め ----------(5 円丸め /10 円丸め)
万円キー ----------43, 113

み・ミ

む・ム

め・メ

明細印字 ----------(ジャーナルスキップ)
メモリカセット ----------(電子店名スタンプ)
面切替 ---------- 13, 23, 113

も・モ

モード鍵 ----------9, 11
モードスイッチ ----------8, 11
戻しキー ---------- 13, 31, 113
戻しモード ----------11, 30
文字の設定 ---------- 73 ~ 87

や・ヤ

ゆ・ユ

よ・ヨ

四倍角文字 ---------- 77

ら・ラ

り・リ

リピート（回数、登録)---------- 14, 24, 36, 37, 39
両替 ---------- 13, 25, 113
領収書 ---------- 19, 26, 27
領収書一連番号 ----------(一連番号)
領収書発行 ----------13, 26, 27, 113
リンク ---------- (部門リンク、グループリンク)

さくいん

る・ル

れ・レ

レシート用紙 ----------8, 127
レシート送りキー ---------- 12
レシート発行停止 ---------- 12, 20, 43
レシート発行 / 停止スイッチ ---------- 12
レシート発行キー ---------- 12, 43, 113
レシートメッセージ ---------- 20, 84 ~ 87, 95
レシート用紙受け ---------- 127
レジ番号（レジスター番号）----------20, 90
レビュー ----------（登録確認）
レポート ---------- 32, 33, 56 ~ 61

ろ・ロ

ロールペーパー ---------- 9, 126, 127, 裏表紙
ロゴメッセージ ----------（レシートメッセージ）

わ・ワ

割引き ----------47, 113, 115
割引き率の設定 ---------- 66
割増し ----------47, 113, 115
割増し率の設定 ---------- 66

アルファベット

iD ----------13, 50
NON-PLU ---------- 40
OFF モード---------- 11
OP ----------（オペレーター用鍵）
PASMO---------- 13, 134
PGM---------- （精算・設定・オーナー用鍵）
PLU---------- 36 ~ 39, 59, 65
RAC ----------2, 7, 130, 131
TRP-5880TW ---------- 133, 裏表紙
TRP-5880HTW ---------- 133, 裏表紙

保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

保証書はよくお読みください

保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。
保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

まず 121 ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は·····
保証書の規定のとおり、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。
保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは·····
お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービスなどについて疑問なことは

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。
カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

TK-5500 / TK-6500 の消耗品	**ロールペーパー　：** **紙幅 58 mm × 外径 80 mm（感熱記録紙）** **普通タイプ TRP-5880-TW　　高保存タイプ TRP-5880H-TW**

お客様相談窓口

●製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
●修理の受付、お電話による問診をいたします。
また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

携帯電話・PHS などの場合は
048-233-7215 をご利用ください。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00 ～ PM5:30
（日曜・祝日・年末年始などを除く）

カシオサービスセンター

● 北海道 札幌	● 関東 多摩	● 近畿 神戸
● 東北 盛岡	横浜	● 中国 岡山
仙台	● 信越 新潟	広島
● 関東 宇都宮	長野	● 四国 高松
水戸	● 北陸 金沢	● 九州 福岡
高崎	● 東海 静岡	熊本
埼玉	名古屋	鹿児島
千葉	● 近畿 京都	※ その他、26 箇所の出張所があります
東京	大阪	

レジスターの回収再資源化について

● カシオ計算機では、2001 年 4 月よりご使用済みとなりましたレジスターの回収・再資源化を有償で行なっております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/info_recycle/pc/

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう　☎　（　　）　担当者

MA1011-D

TK-5500*JA3

TK-5500*JA3